

2024 年度 滋賀医科大学

# 学修・学生生活実態調査報告書

対象期間：2023 年度



医学・看護学教育センター

# CONTENTS

はじめに	_____	2
調査概要	_____	3
学生生活編	_____	4
I. 回収率	_____	5
II. 生活について	_____	6
III. 交友関係について	_____	21
IV. 学業について	_____	23
V. 図書館の利用について	_____	36
VI. 課外活動について	_____	38
VII. 卒業後の進路について	_____	42
学修状況編	_____	45
自由記述編	_____	87

## はじめに

本調査は、本学における学生生活のうち、「住居、経済生活、交友関係、学内施設の利用、課外活動、卒業後の進路」などについてその実情を把握し、学生生活の一層の向上及び修学上の支援、福利厚生改善等への参考資料とすることを目的として 2006 年度に始まり、今回で 19 回目の実施となりました。2019 年度調査から従来、医療人育成教育センター教育方法改善部門（医学・看護学教育センター内に包括）において実施していた「学習に関する実態調査」と統合し、学生の皆さんの様子を正課教育・正課外教育それぞれの側面から包括的に把握できるようにしました。

今回は、全体として約 38%の回答であり、コロナ禍で低下した回答率も徐々に回復しています。今後も、さらに学生の皆さんの意見をより多く集められるよう、調査方法などを改善していきたいと考えています。また、今回も本学の課題や改善方法について建設的なご提案を多数いただきました。寄せられた意見に対して、本学各部署でしっかりと検討し、対応を進めていきます。

本学は常に学生の皆さんの教育や支援を主軸として施設や各種制度の改善を行っており、今年度の開学 50 周年事業の 1 つである学内施設の改修については、学生の皆さんのご意見も取り入れながら実施しました。また、昨年度から原則対面型の講義形式に戻り、コロナ禍以前の学修環境や学生生活を取り戻しつつあります。

今後も、学生の皆さんからの様々な要望や意見を大学運営に取り込み、適切に学生支援に反映することで、修学上の支援や福利厚生改善、学生生活の向上をめざしていきます。

医学・看護学教育センター長

松浦 博

## 調査概要

本調査は、平成 16 年 7 月に医療人育成教育研究センター学生生活支援部門会議内に設置された専門委員会において検討を行い、平成 18 年度から開始した。以降、毎年実施し、滋賀医科大学における学生生活のうち、「住居・経済生活・交友関係・学内施設の利用・課外活動・卒業後の進路」などについてその実態を把握し、学生生活の一層の向上及び就学上の指導、福利厚生への改善等への参考資料とすることを目的としている。

また、2018 年度調査から、従来医療人育成教育研究センター教育方法改善部門において実施していた「学習に関する実態調査」と統合され、本学学生の実態を正課教育・正課外教育それぞれの側面から包括的に捉えることを可能とした。

### 調査期間

2024 年 4 月 1 日（月）～2024 年 5 月 8 日（水）

### 調査方法

調査は GoogleForms にて行い、4 月の在学生オリエンテーション時及びメールにより通知した。  
(昨年度までは、学生生活編はマークシート、学修状況編は回答用紙を配付し実施していた。)

### 調査対象

2024 年 4 月 1 日時点で在籍している学部学生（令和 6 年度新入生は除く）。

2024 年 4 月 1 日現在

調査対象	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年	計
医学科	109	110	100	110	132	648
看護学科	65	60	55			176
計	174	170	155	110	132	824

### 調査項目

次の 9 項目で構成

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| (1)基本項目            | (2)生活について                |
| (3)交友関係について        | (4)学業について                |
| (5)図書館の利用について      | (6)課外活動について              |
| (7)卒業後の進路について      | (8)「学修に関する実態調査」調査項目（記述式） |
| (9)大学への意見・要望（自由記述） |                          |

2024 年度

学修・学生生活実態調査

# 学生生活編

---

学生生活編では、「基本項目・生活について・交友関係について・学業について・図書館の利用について・課外活動について・卒業後の進路について」の学生生活に関連する7項目からなる選択式の設問を統計的に集計した結果を項目ごとに掲載しています。

## I. 回収率

今年度の調査票回収率は、37.9%（医学科 38.1%、看護学科 37.2%）であった。

学科	学年	学生数	総提出数	提出率
医学科	1年生	-	-	-
	2年生	109	53	48.6%
	3年生	110	60	54.5%
	4年生	100	54	54.0%
	5年生	110	13	11.8%
	6年生	132	34	25.8%
医学科計	小計	561	214	38.1%
看護学科	1年生	-	-	-
	2年生	65	21	32.3%
	3年生	60	27	45.0%
	4年生	55	19	34.5%
看護学科計	小計	180	67	37.2%
全体計		741	281	37.9%

(参考：入学区分別)

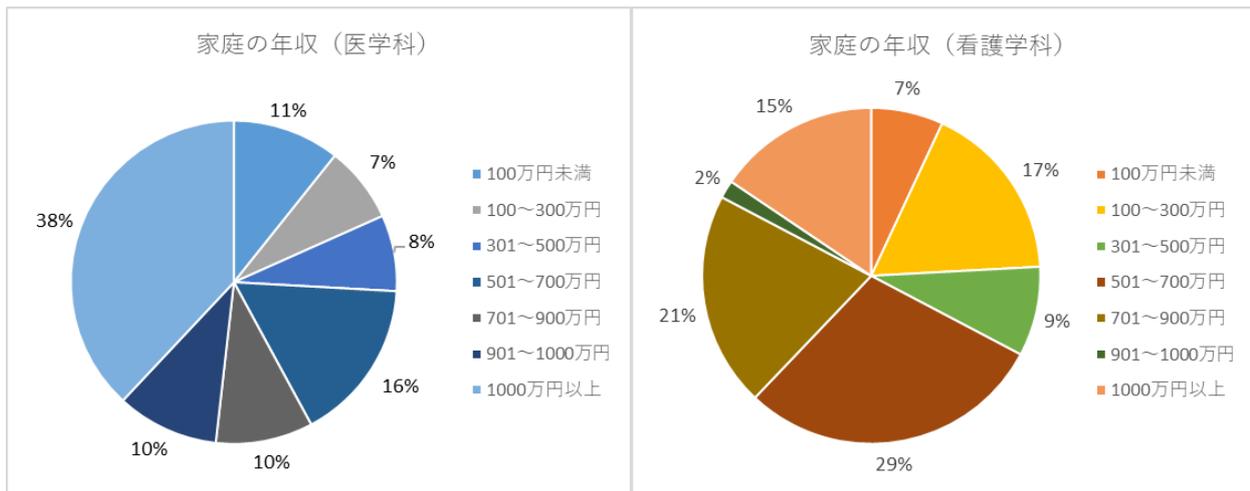
学科	学年	推薦		前期	編入	計
		一般	地域			
医学科	1年生	—	—	—	—	
	2年生	16	4	28	5	53
	3年生	19	4	26	11	60
	4年生	12	3	30	9	54
	5年生	5	1	4	3	13
	6年生	7	2	20	5	34
	小計	59	14	108	33	214
看護学科	1年生	—	—	—	—	
	2年生	5	0	16	0	21
	3年生	7	0	20	0	27
	4年生	5	0	14	0	19
	小計	17	0	50	0	67
全体計		76	14	158	33	281

## Ⅱ. 生活について

### <家庭の年収>

医学科は 1000 万円以上、看護学科は 501～700 万円の世帯が最も多かった。

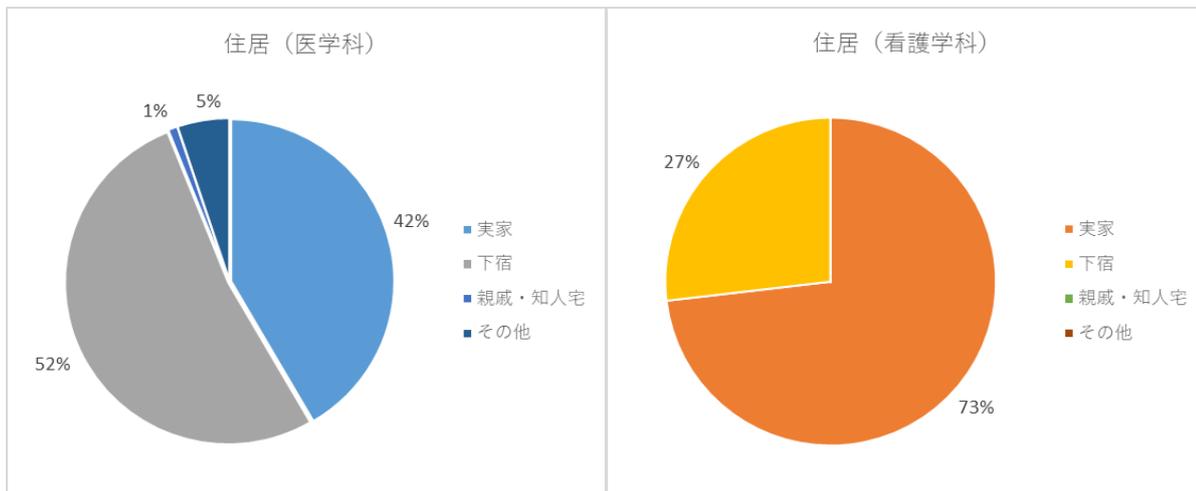
	医学科		看護学科		計	
100万円未満	21	10.7%	4	6.9%	25	9.8%
100～300万円	15	7.6%	10	17.2%	25	9.8%
301～500万円	15	7.6%	5	8.6%	20	7.8%
501～700万円	32	16.2%	17	29.3%	49	19.2%
701～900万円	19	9.6%	12	20.7%	31	12.2%
901～1000万円	20	10.2%	1	1.7%	21	8.2%
1000万円以上	75	38.1%	9	15.5%	84	32.9%
計	197	100.0%	58	100.0%	255	100.0%



### <住居>

医学科では半数以上の学生が下宿をしており、一方で看護学科では自宅通学が7割を超えていた。

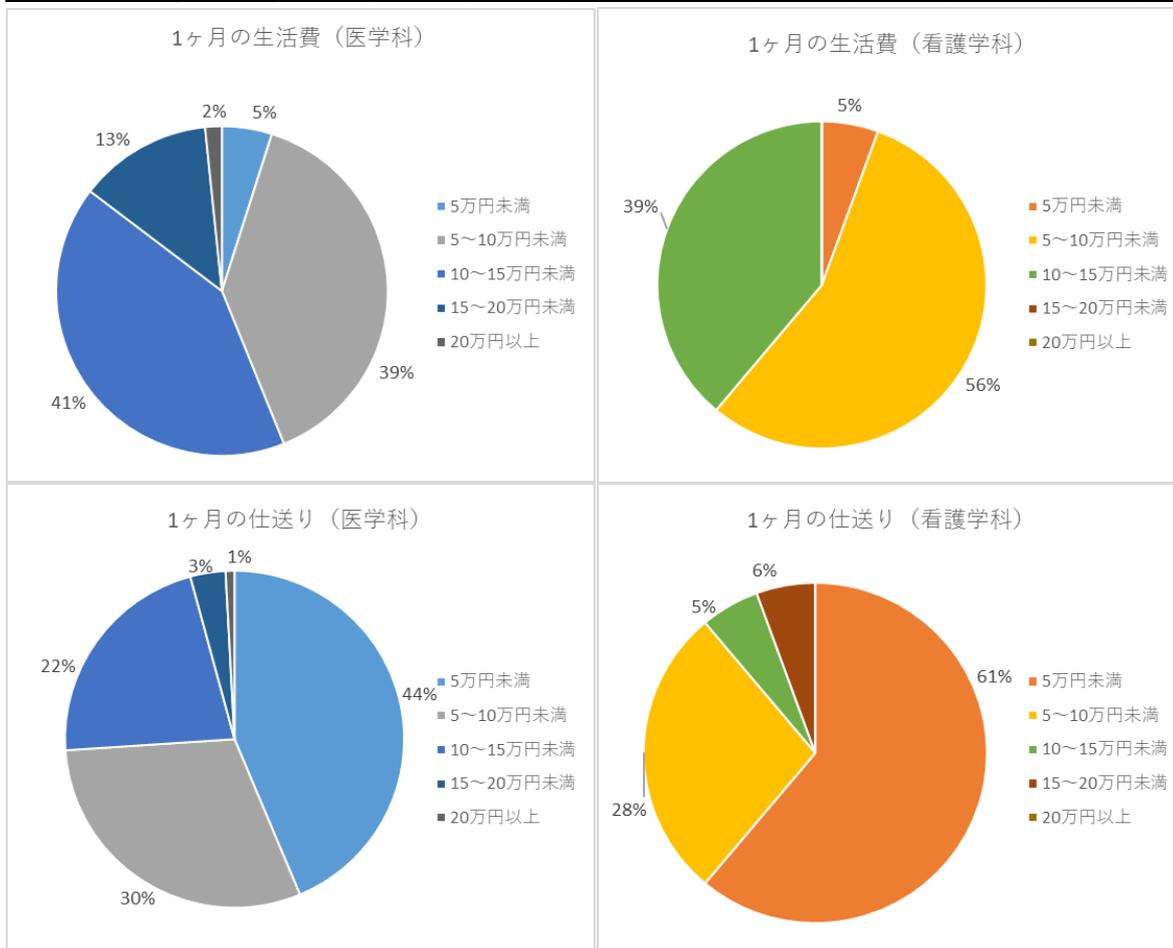
	医学科		看護学科		計	
実家	89	41.6%	49	73.1%	138	49.1%
下宿	112	52.3%	18	26.9%	130	46.3%
親戚・知人宅	2	0.9%	0	0.0%	2	0.7%
その他	11	5.1%	0	0.0%	11	3.9%
計	214	100.0%	67	100.0%	281	100.0%



### <生活費・仕送り>

実家以外で生活している学生において、1ヶ月の生活費は5～10万、10～15万円が大半であり、保護者からの仕送りは両学科ともに5万円未満が最も多い状況であった。

	1ヶ月の生活費					1ヶ月の仕送り						
	医学科		看護学科		計	医学科		看護学科		計		
5万円未満	6	4.9%	1	5.6%	7	5.0%	52	43.7%	11	61.1%	63	46.0%
5～10万円未満	48	39.0%	10	55.6%	58	41.1%	36	30.3%	5	27.8%	41	29.9%
10～15万円未満	51	41.5%	7	38.9%	58	41.1%	26	21.8%	1	5.6%	27	19.7%
15～20万円未満	16	13.0%	0	0.0%	16	11.3%	4	3.4%	1	5.6%	5	3.6%
20万円以上	2	1.6%	0	0.0%	2	1.4%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.7%
計	123	100.0%	18	100.0%	141	100.0%	119	100.0%	18	100.0%	137	100.0%

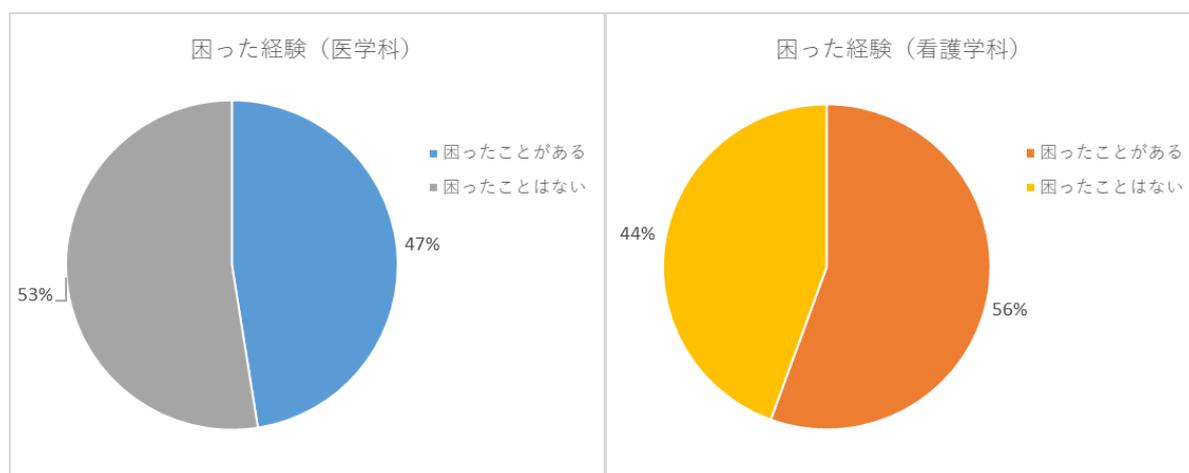


### <一人暮らしで困った経験と援助>

実家以外で生活している学生のうち、医学科では約 5 割、看護学科では約 6 割の学生が、病気等の時に困った経験があり、困った際に援助してもらった相手を尋ねると、両学科ともに約 7～8 割が家族や友人の援助を受けることができているようである。一方で、両学科ともに約 1～2 割の学生は援助を受けられていないようである。

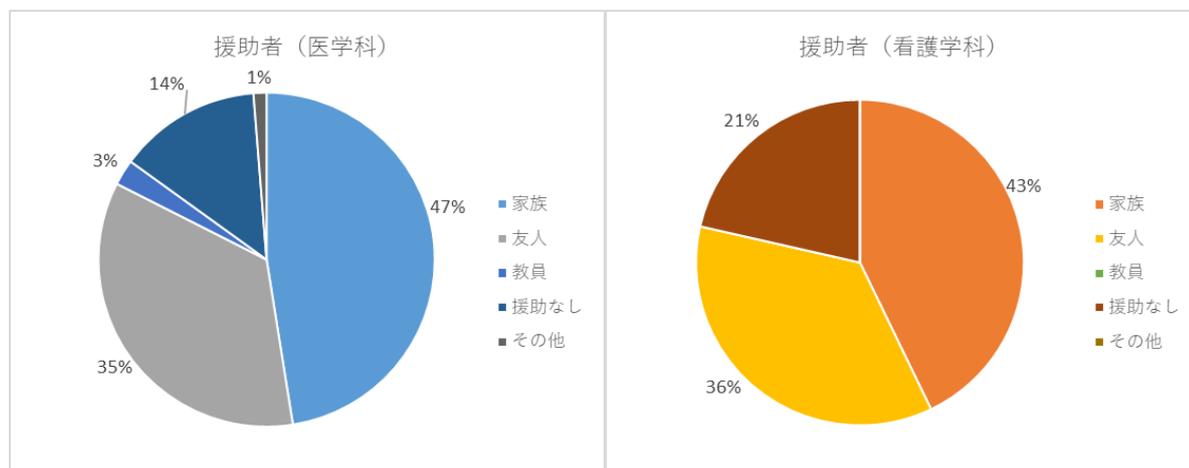
(困った経験)

	医学科		看護学科		計	
困ったことがある	57	47.5%	10	55.6%	67	48.6%
困ったことはない	63	52.5%	8	44.4%	71	51.4%
計	120	100.0%	18	100.0%	138	100.0%



(援助者) (複数回答)

	医学科		看護学科		計	
家族	38	47.5%	6	42.9%	44	46.8%
友人	28	35.0%	5	35.7%	33	35.1%
教員	2	2.5%	0	0.0%	2	2.1%
援助なし	11	13.8%	3	21.4%	14	14.9%
その他	1	1.3%	0	0.0%	1	1.1%
計	80	100.0%	14	100.0%	94	100.0%



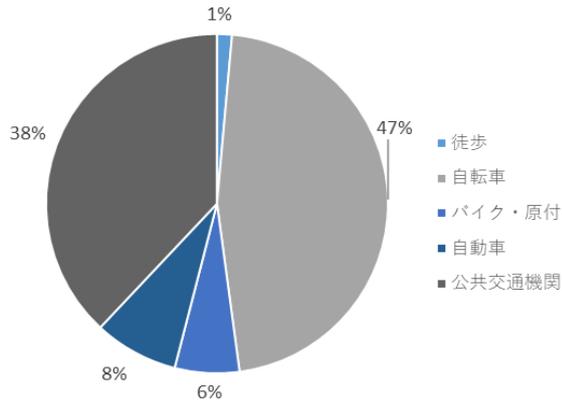
### <通学方法等>

通学方法については、医学科では「自転車」次いで、「公共交通機関」が多く、看護学科では「公共交通機関」が最も多い。なお、通学時間については医学科では「20分未満」の学生が多く、看護学科では「20～40分未満」が多い。

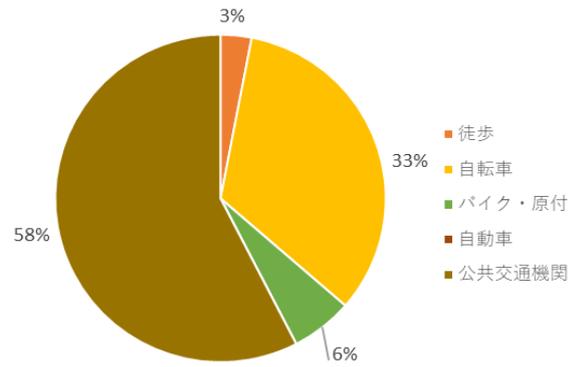
また、下校時間については、医学科では21時まで、看護学科では19時までほとんどの学生が下校していることが読み取れる。

		医学科		看護学科		計	
通学方法	徒歩	3	1.4%	2	3.0%	5	1.8%
	自転車	99	46.5%	22	33.3%	121	43.4%
	バイク・原付	13	6.1%	4	6.1%	17	6.1%
	自動車	17	8.0%	0	0.0%	17	6.1%
	公共交通機関	81	38.0%	38	57.6%	119	42.7%
	計	213	100.0%	66	100.0%	279	100.0%
通学時間	20分未満	96	45.1%	12	18.2%	108	38.7%
	20～40分未満	35	16.4%	16	24.2%	51	18.3%
	40～60分未満	31	14.6%	10	15.2%	41	14.7%
	60～90分未満	28	13.1%	16	24.2%	44	15.8%
	90～120分未満	15	7.0%	8	12.1%	23	8.2%
	120分以上	8	3.8%	4	6.1%	12	4.3%
	計	213	100.0%	66	100.0%	279	100.0%
下校時間	16時台	31	14.6%	17	25.8%	48	17.3%
	17時台	61	28.8%	25	37.9%	86	30.9%
	18時台	55	25.9%	19	28.8%	74	26.6%
	19時台	23	10.8%	3	4.5%	26	9.4%
	20時台	23	10.8%	2	3.0%	25	9.0%
	21時台	10	4.7%	0	0.0%	10	3.6%
	22時台	5	2.4%	0	0.0%	5	1.8%
	23時台	4	1.9%	0	0.0%	4	1.4%
	24時以降	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	212	100.0%	66	100.0%	278	100.0%	

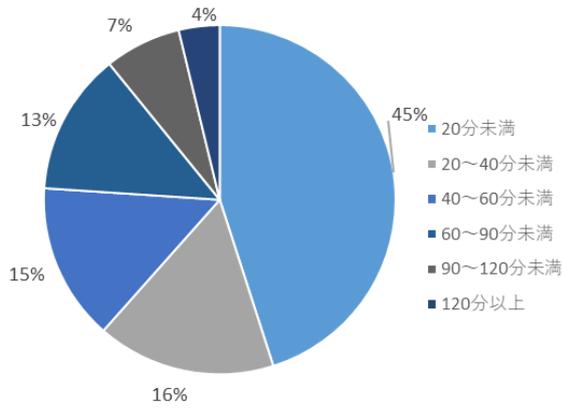
通学方法（医学科）



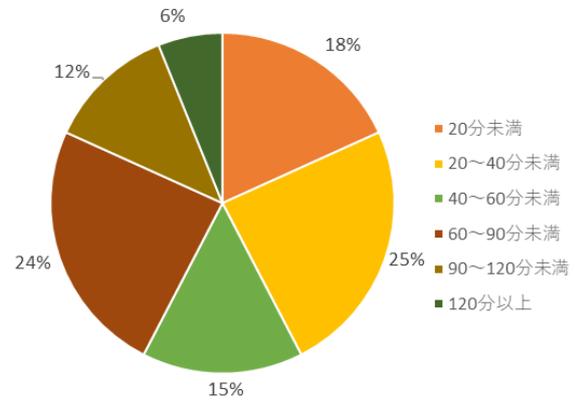
通学方法（看護学科）



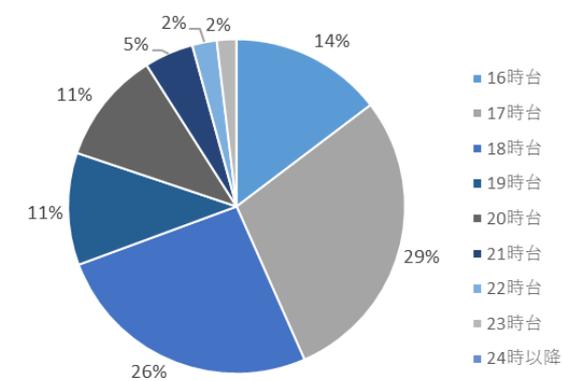
通学時間（医学科）



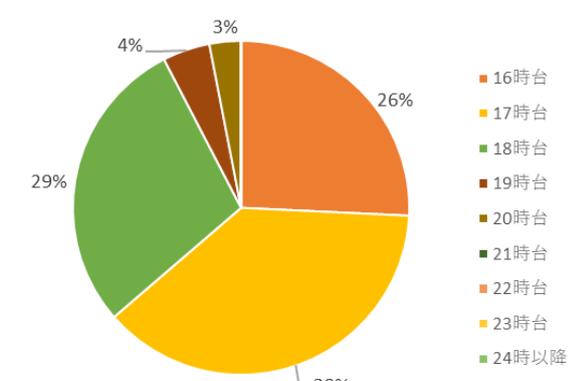
通学時間（看護学科）



下校時間（医学科）



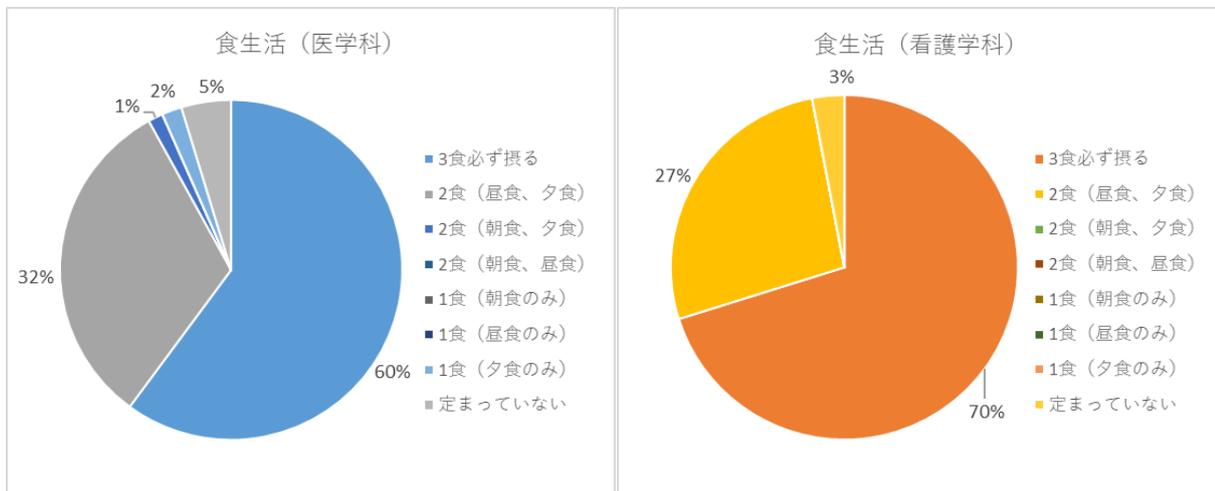
下校時間（看護学科）



## <食事>

両学科とも約6割の学生が3食摂取している一方で、わずかではあるが食事の回数が定まっていない学生が一定数いるとの結果であった。

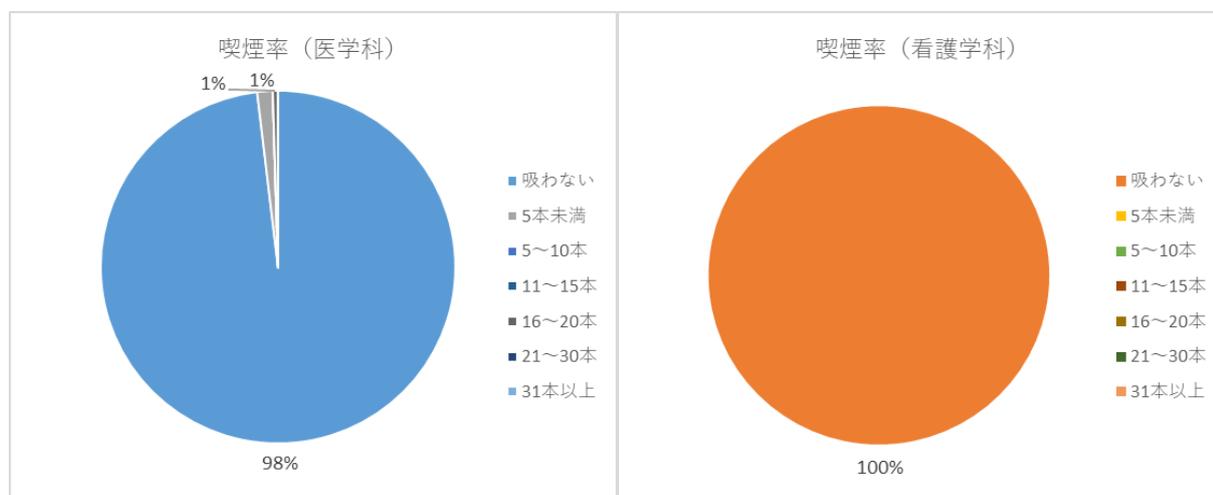
	医学科		看護学科		計	
3食必ず摂る	128	60.1%	47	70.1%	175	62.5%
2食（昼食、夕食）	68	31.9%	18	26.9%	86	30.7%
2食（朝食、夕食）	3	1.4%	0	0.0%	3	1.1%
2食（朝食、昼食）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1食（朝食のみ）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1食（昼食のみ）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
1食（夕食のみ）	4	1.9%	0	0.0%	4	1.4%
定まっていない	10	4.7%	2	3.0%	12	4.3%
計	213	100%	67	100.0%	280	100.0%



## <喫煙>

看護学科では100%、医学科においても100%に近い学生が喫煙していないとの結果であった。

	医学科		看護学科		計	
吸わない	208	98.1%	65	100.0%	273	98.6%
5本未満	3	1.4%	0	0.0%	3	1.1%
5～10本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11～15本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
16～20本	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
21～30本	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
31本以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	212	100.0%	65	100.0%	277	100.0%



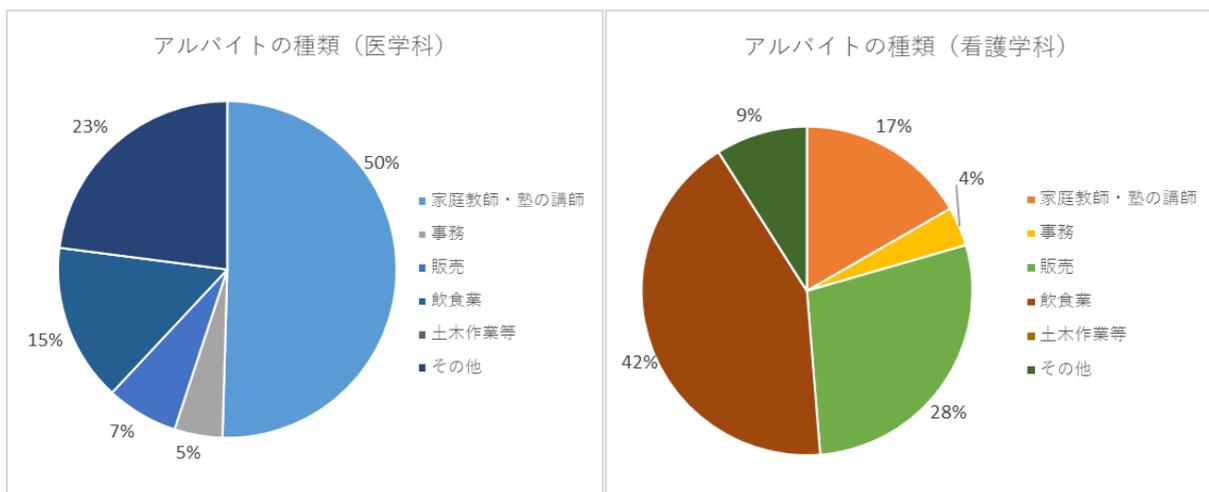
## <アルバイト>

アルバイトの職種は、医学科では「家庭教師・塾の講師」、看護学科では「飲食業」が最も多かった。1週間の労働時間については、医学科で「4～8 時間未満」、看護学科で「8～12 時間未満」が最も多かった。

また、両学科ともアルバイトの目的としては、課外活動等費用が多数を占めていた。

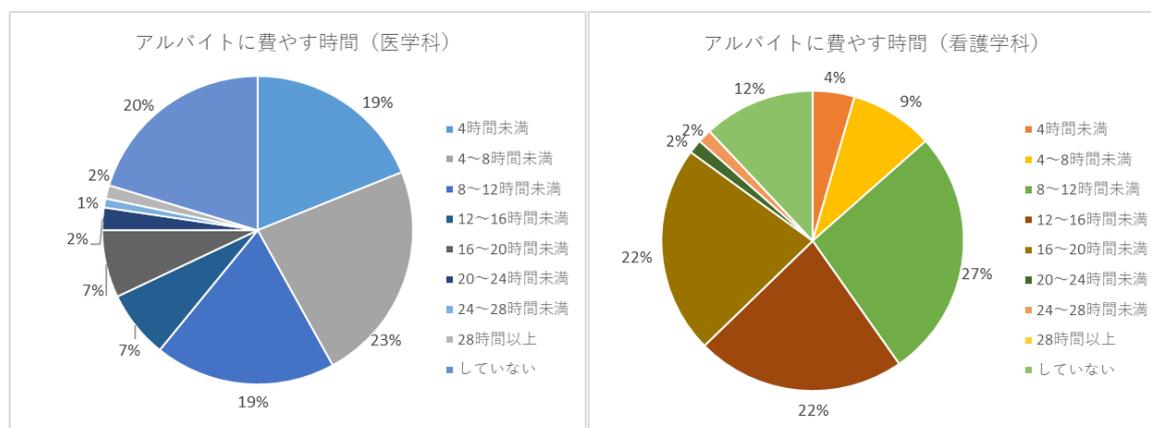
(アルバイトの種類) (複数回答)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
家庭教師・塾の講師	110	50.5%	13	16.7%	123	41.6%
事務	10	4.6%	3	3.8%	13	4.4%
販売	15	6.9%	22	28.2%	37	12.5%
飲食業	33	15.1%	33	42.3%	66	22.3%
土木作業等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	50	22.9%	7	9.0%	57	19.3%
計	218	100.0%	78	100.0%	296	100.0%



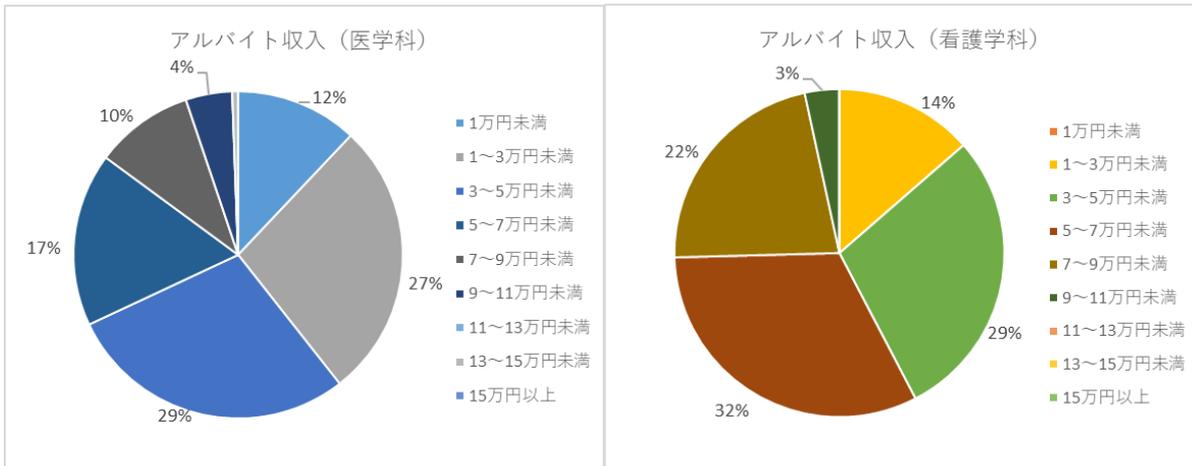
(1 週間の就業時間)

	医学科		看護学科		計	
4時間未満	40	18.9%	3	4.5%	43	15.4%
4～8時間未満	49	23.1%	6	9.0%	55	19.7%
8～12時間未満	40	18.9%	18	26.9%	58	20.8%
12～16時間未満	15	7.1%	15	22.4%	30	10.8%
16～20時間未満	15	7.1%	15	22.4%	30	10.8%
20～24時間未満	5	2.4%	1	1.5%	6	2.2%
24～28時間未満	2	0.9%	1	1.5%	3	1.1%
28時間以上	3	1.4%	0	0.0%	3	1.1%
していない	43	20.3%	8	11.9%	51	18.3%
計	212	100.0%	67	100.0%	279	100.0%



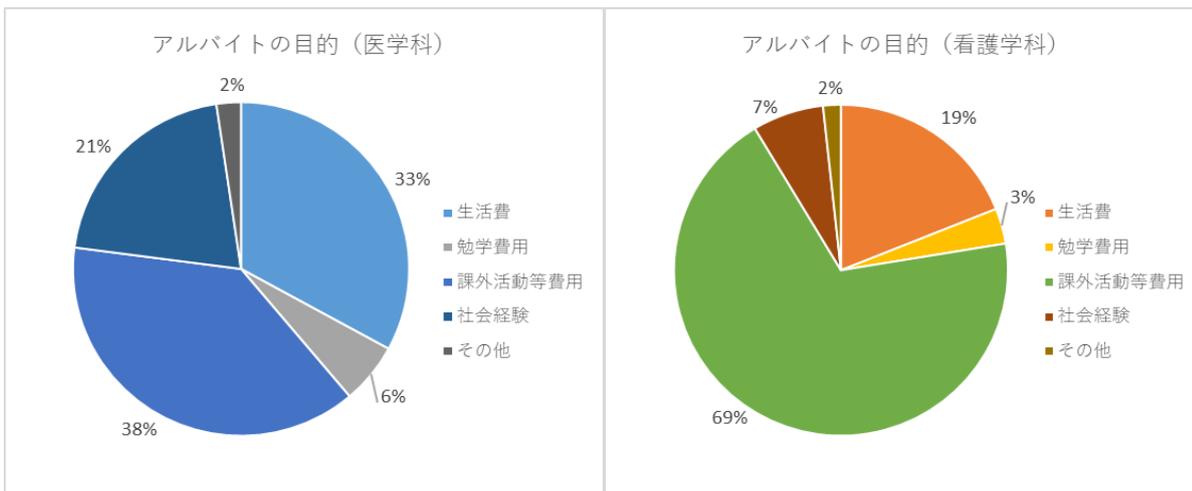
(1 ヶ月の収入)

	医学科		看護学科		計	
1万円未満	21	12.0%	0	0.0%	21	9.0%
1～3万円未満	48	27.4%	8	13.6%	56	23.9%
3～5万円未満	50	28.6%	17	28.8%	67	28.6%
5～7万円未満	30	17.1%	19	32.2%	49	20.9%
7～9万円未満	17	9.7%	13	22.0%	30	12.8%
9～11万円未満	8	4.6%	2	3.4%	10	4.3%
11～13万円未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13～15万円未満	1	0.6%	0	0.0%	1	0.4%
15万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	175	100.0%	59	100.0%	234	100.0%



(アルバイトの目的)

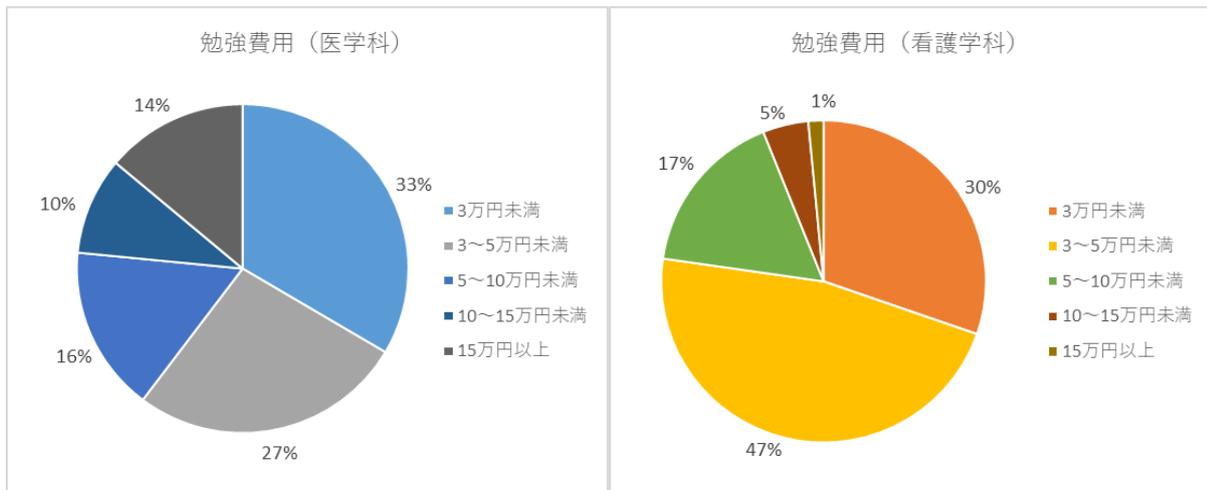
	医学科		看護学科		計	
生活費	56	32.9%	11	19.0%	67	29.4%
勉学費用	10	5.9%	2	3.4%	12	5.3%
課外活動等費用	65	38.2%	40	69.0%	105	46.1%
社会経験	35	20.6%	4	6.9%	39	17.1%
その他	4	2.4%	1	1.7%	5	2.2%
計	170	100.0%	58	100.0%	228	100.0%



## <勉強費用>

昨年度から1年間で教科書・参考書にかかった費用において、医学科では「3万円未満」、看護学科では「3～5万円未満」の回答が最も多かった。

	医学科		看護学科		計	
3万円未満	70	33.5%	20	30.3%	90	32.7%
3～5万円未満	56	26.8%	31	47.0%	87	31.6%
5～10万円未満	34	16.3%	11	16.7%	45	16.4%
10～15万円未満	20	9.6%	3	4.5%	23	8.4%
15万円以上	29	13.9%	1	1.5%	30	10.9%
計	209	100.0%	66	100.0%	275	100.0%



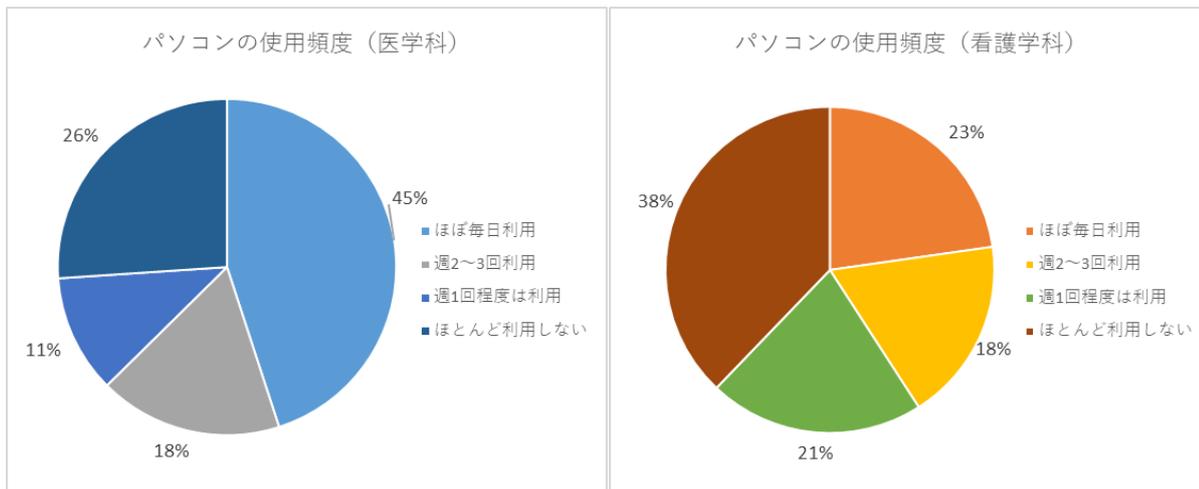
## <パソコン利用率・SNS>

医学科では「ほぼ毎日利用」を選択した学生が最も多く、パソコンの利用率は比較的高いが、看護学科では「ほとんど利用しない」を選択した学生が約4割を占め、医学科に比べるとパソコンの利用率は低い傾向にある。

また、利用しているSNSの種類に関する設問では、両学科ともに「X（旧 Twitter）」と「Instagram」を利用しているとの回答が最も多かった。

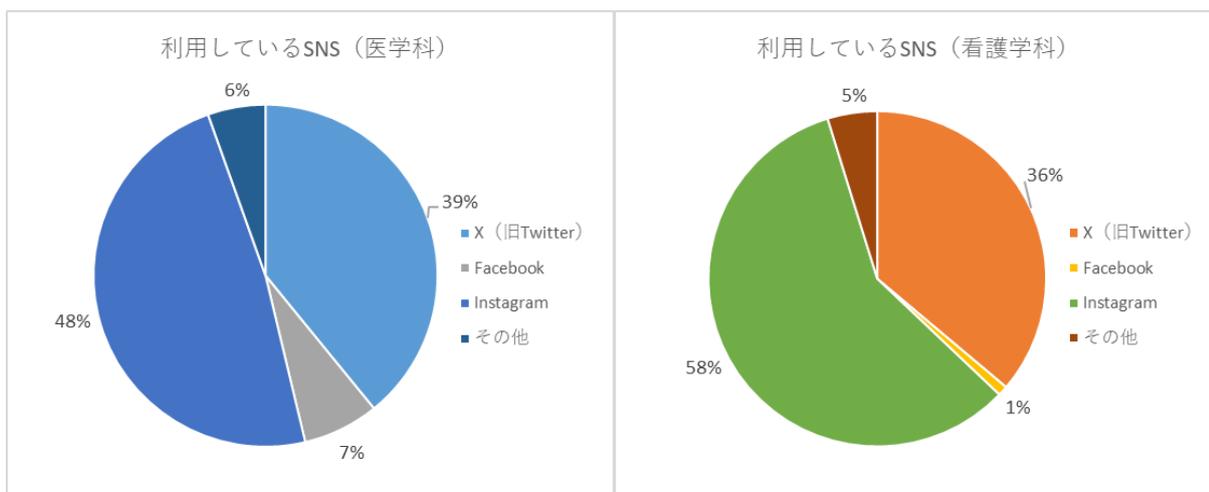
### (パソコン利用率)

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日利用	95	45.0%	15	22.7%	110	39.7%
週2～3回利用	37	17.5%	12	18.2%	49	17.7%
週1回程度は利用	24	11.4%	14	21.2%	38	13.7%
ほとんど利用しない	55	26.1%	25	37.9%	80	28.9%
計	211	100.0%	66	100.0%	277	100.0%



(利用している SNS) (複数回答)

	医学科		看護学科		計	
X (旧Twitter)	137	39.1%	38	36.2%	175	38.5%
Facebook	25	7.1%	1	1.0%	26	5.7%
Instagram	169	48.3%	61	58.1%	230	50.5%
その他	19	5.4%	5	4.8%	24	5.3%
計	350	100.0%	105	100.0%	455	100.0%

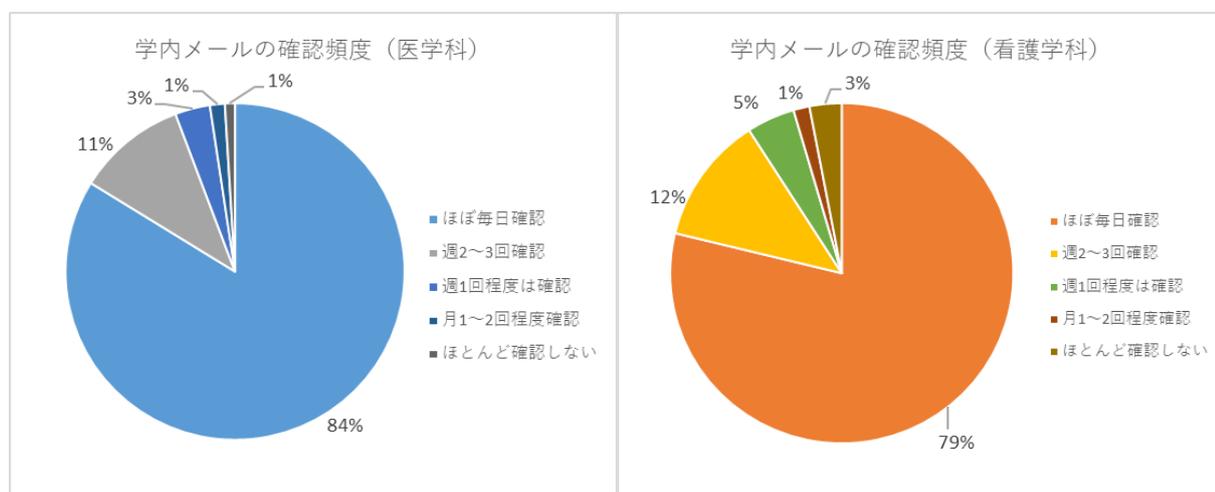


### <学内情報の確認頻度>

学内メールの確認頻度は両学科とも約8割が「ほぼ毎日」と回答した。一方で、約8割の学生が掲示板は「ほとんど確認しない」と回答した。

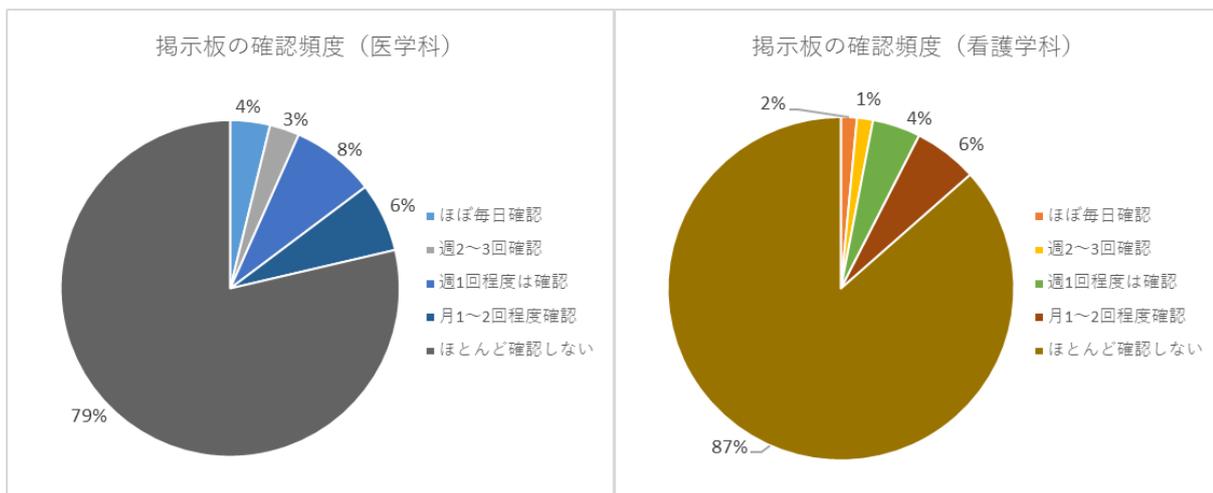
#### (学内メール)

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日確認	176	83.8%	52	78.8%	228	82.6%
週2～3回確認	22	10.5%	8	12.1%	30	10.9%
週1回程度は確認	7	3.3%	3	4.5%	10	3.6%
月1～2回程度確認	3	1.4%	1	1.5%	4	1.4%
ほとんど確認しない	2	1.0%	2	3.0%	4	1.4%
計	210	100.0%	66	100.0%	276	100.0%



#### (掲示板)

	医学科		看護学科		計	
ほぼ毎日確認	8	3.8%	1	1.5%	9	3.2%
週2～3回確認	6	2.8%	1	1.5%	7	2.5%
週1回程度は確認	17	8.1%	3	4.5%	20	7.2%
月1～2回程度確認	14	6.6%	4	6.0%	18	6.5%
ほとんど確認しない	166	78.7%	58	86.6%	224	80.6%
計	211	100.0%	67	100.0%	278	100.0%



### <福利棟の利用状況>

食堂については、医学科では約5割、看護学科で約3割の学生がほぼ毎日利用している。

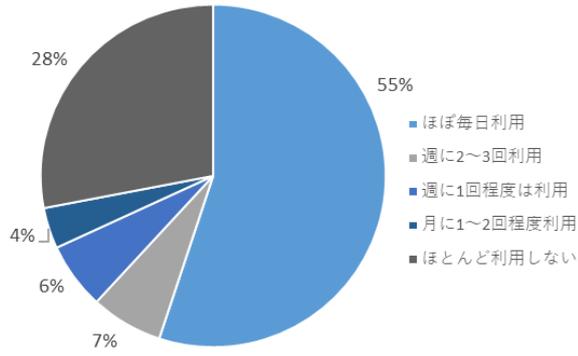
購買部については、両学科ともに学生の約半数が週2～3回以上利用している。

書籍部については、両学科の大半の学生がほとんど利用しないと回答した。

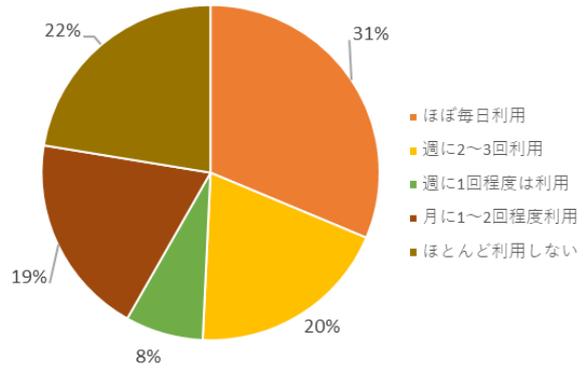
#### (生協利用頻度)

		医学科		看護学科		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
食堂	ほぼ毎日利用	114	55.1%	21	31.3%	135	49.3%
	週に2～3回利用	14	6.8%	13	19.4%	27	9.9%
	週に1回程度は利用	13	6.3%	5	7.5%	18	6.6%
	月に1～2回程度利用	8	3.9%	13	19.4%	21	7.7%
	ほとんど利用しない	58	28.0%	15	22.4%	73	26.6%
	計	207	100.0%	67	100.0%	274	100.0%
購買部	ほぼ毎日利用	62	29.2%	13	19.7%	75	27.0%
	週に2～3回利用	49	23.1%	21	31.8%	70	25.2%
	週に1回程度は利用	34	16.0%	13	19.7%	47	16.9%
	月に1～2回程度利用	40	18.9%	13	19.7%	53	19.1%
	ほとんど利用しない	27	12.7%	6	9.1%	33	11.9%
	計	212	100.0%	66	100.0%	278	100.0%
書籍部	ほぼ毎日利用	3	1.4%	0	0.0%	3	1.1%
	週に2～3回利用	1	0.5%	0	0.0%	1	0.4%
	週に1回程度は利用	3	1.4%	1	1.5%	4	1.4%
	月に1～2回程度利用	30	14.2%	6	9.0%	36	12.9%
	ほとんど利用しない	175	82.5%	60	89.6%	235	84.2%
	計	212	100.0%	67	100.0%	279	100.0%

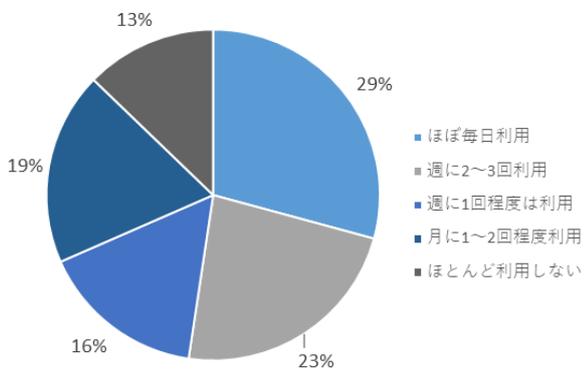
食堂の利用頻度（医学科）



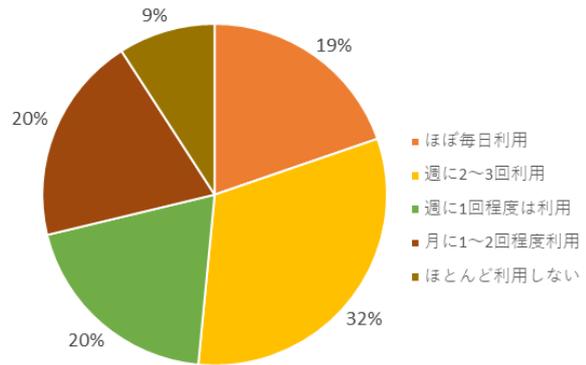
食堂の利用頻度（看護学科）



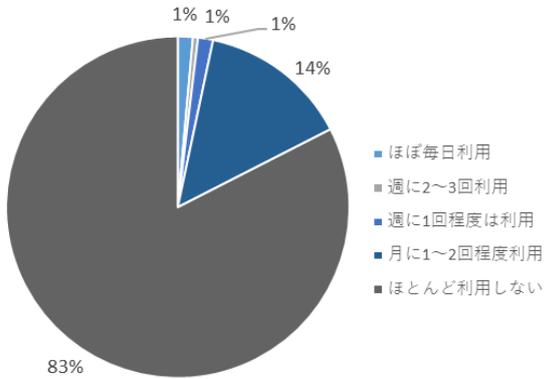
購買部の利用頻度（医学科）



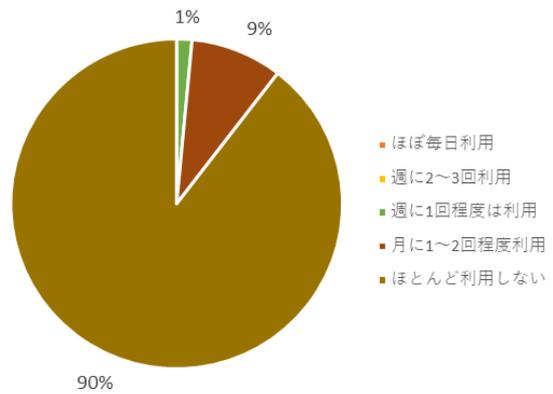
購買部の利用頻度（看護学科）



書籍部の利用頻度（医学科）



書籍部の利用頻度（看護学科）

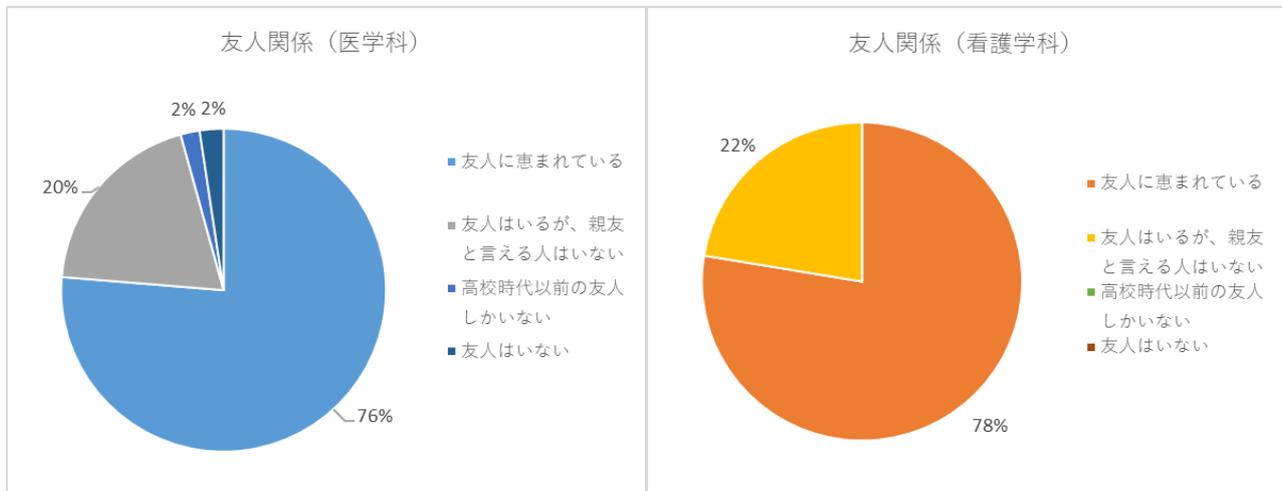


### Ⅲ. 交友関係について

両学科ともに約8割の学生が友人に恵まれていると回答しており、プライベートなことについて相談しやすい人は、「友人、恋人」が最も多く、次いで「家族」との回答が多かった。

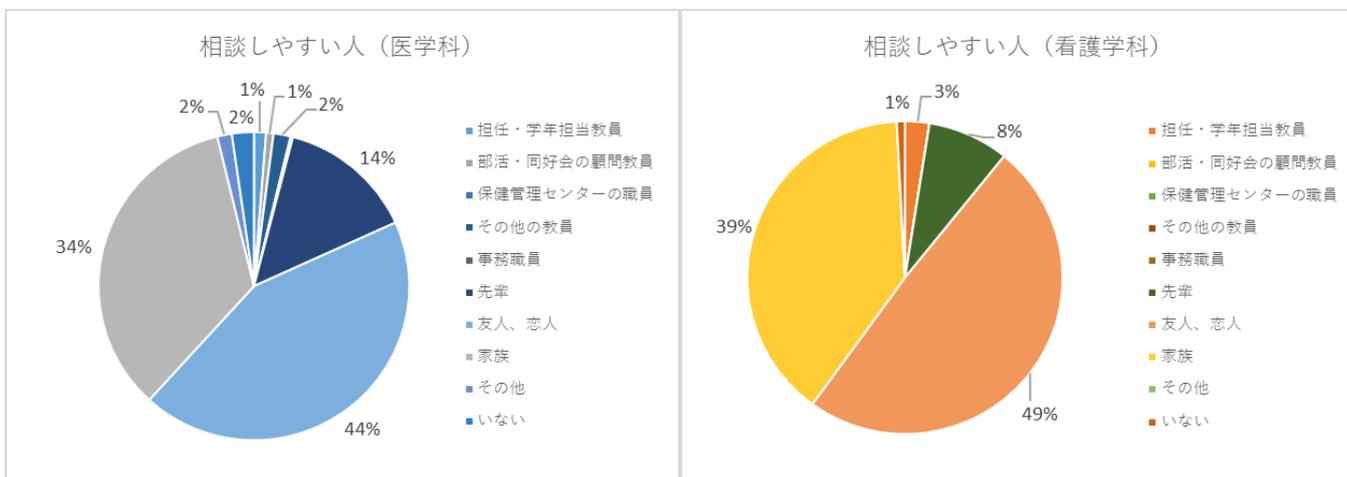
(友人の有無)

	医学科		看護学科		計	
友人に恵まれている	161	76.3%	52	77.6%	213	76.6%
友人はいるが、親友と言える人はいない	41	19.4%	15	22.4%	56	20.1%
高校時代以前の友人しかいない	4	1.9%	0	0.0%	4	1.4%
友人はいない	5	2.4%	0	0.0%	5	1.8%
計	211	100.0%	67	100.0%	278	100.0%



(相談しやすい人 (複数回答))

	医学科		看護学科		計	
担任・学年担当教員	5	1.3%	3	2.5%	8	1.6%
部活・同好会の顧問教員	3	0.8%	0	0.0%	3	0.6%
保健管理センターの職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他の教員	7	1.8%	0	0.0%	7	1.4%
事務職員	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%
先輩	56	14.2%	10	8.3%	66	12.8%
友人、恋人	172	43.5%	59	49.2%	231	44.9%
家族	136	34.4%	47	39.2%	183	35.5%
その他	6	1.5%	0	0.0%	6	1.2%
いない	9	2.3%	1	0.8%	10	1.9%
計	395	100.0%	120	100.0%	515	100.0%

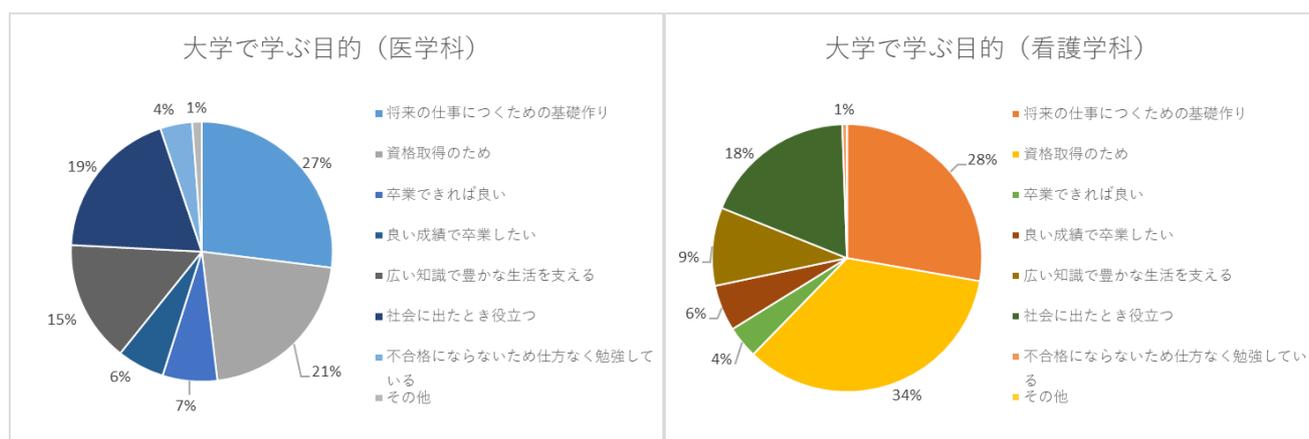


## IV. 学業について

### <大学で学ぶ目的> (複数回答)

大学で学ぶ目的を問う設問では、両学科とも「将来の仕事につくための基礎作り」「資格取得のため」の順に多かった。卒業後を見据え、明確な目的を持って学業に取り組む学生が多いようであった。

	医学科		看護学科		計	
将来の仕事につくための基礎作り	184	27.0%	50	27.8%	234	27.1%
資格取得のため	144	21.1%	62	34.4%	206	23.9%
卒業できれば良い	46	6.7%	7	3.9%	53	6.1%
良い成績で卒業したい	40	5.9%	10	5.6%	50	5.8%
広い知識で豊かな生活を支える	103	15.1%	17	9.4%	120	13.9%
社会に出たとき役立つ	130	19.1%	33	18.3%	163	18.9%
不合格にならないため仕方なく勉強している	27	4.0%	1	0.6%	28	3.2%
その他	8	1.2%	0	0.0%	8	0.9%
計	682	100.0%	180	100.0%	862	100.0%



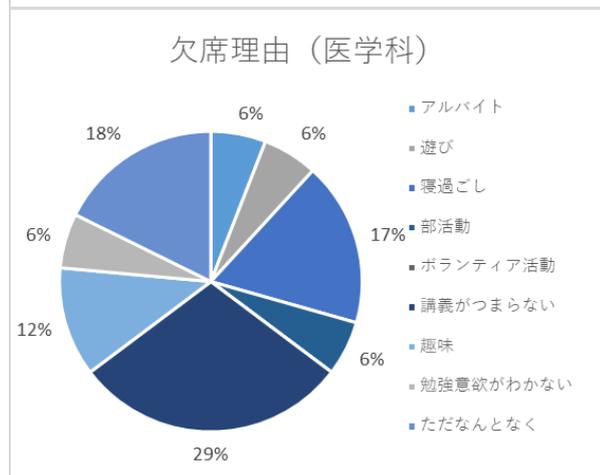
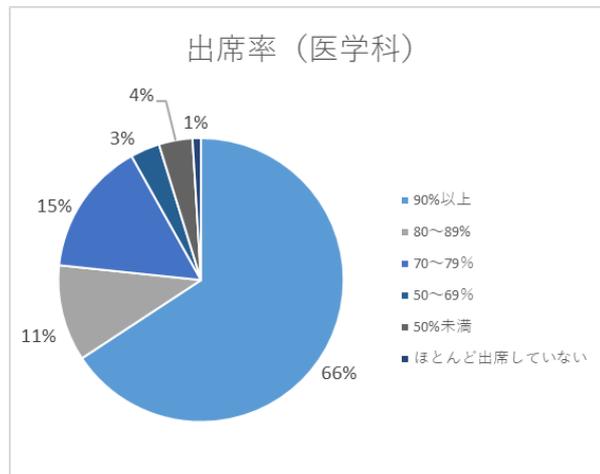
### <授業の欠席について>

医学科では約7割、看護学科では約9割の学生が90%以上授業に出席していると回答し、看護学科に比べて医学科の方が授業の欠席率は高いことがうかがえる。欠席理由は、医学科では「講義がつまらない」の割合が高くなっている。また、自らの欠席についてどう考えるかという問いに対しては、両学科とも「うしろめたい」「自分の責任」の合計が7割を超えた。欠席した授業のキャッチアップ方法としては、両学科とも「友人に聞く」との回答が最も多いが、「教員に聞く」の回答が非常に少ない。また、医学科では看護学科よりも「教科書等で自主学習」を行う割合が高かった。

		医学科		看護学科		計	
出席率	90%以上	138	65.7%	59	88.1%	197	71.1%
	80～89%	23	11.0%	8	11.9%	31	11.2%
	70～79%	32	15.2%	0	0.0%	32	11.6%
	50～69%	7	3.3%	0	0.0%	7	2.5%
	50%未満	8	3.8%	0	0.0%	8	2.9%
	ほとんど出席していない	2	1.0%	0	0.0%	2	0.7%
	計	210	100.0%	67	100.0%	277	100.0%
欠席理由	アルバイト	1	5.9%			1	5.9%
	遊び	1	5.9%			1	5.9%
	寝過ごし	3	17.6%			3	17.6%
	部活動	1	5.9%			1	5.9%
	ボランティア活動	0	0.0%			0	0.0%
	講義がつまらない	5	29.4%			5	29.4%
	趣味	2	11.8%			2	11.8%
	勉強意欲がわからない	1	5.9%			1	5.9%
	ただなんとなく	3	17.6%			3	17.6%
	計	17	100.0%			17	100.0%

※欠席理由における看護学科の回答はなかった。

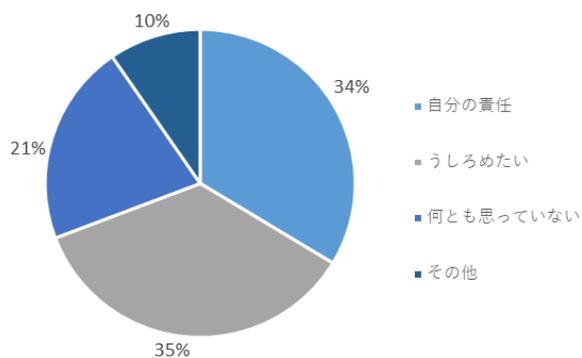
(出席率・欠席理由)



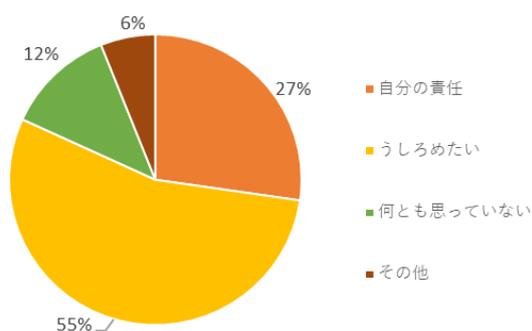
(欠席についての意識・キャッチアップ方法)

		医学科		看護学科		計	
欠席について	自分の責任	70	33.7%	18	27.3%	88	32.1%
	うしろめたい	74	35.6%	36	54.5%	110	40.1%
	何とも思っていない	44	21.2%	8	12.1%	52	19.0%
	その他	20	9.6%	4	6.1%	24	8.8%
	計	208	100.0%	66	100.0%	274	100.0%
キャッチアップ	友人に聞いた	99	48.5%	48	76.2%	147	55.1%
	教員に聞いた	2	1.0%	2	3.2%	4	1.5%
	プリントを読んだ	29	14.2%	7	11.1%	36	13.5%
	教科書等で自主学習	66	32.4%	5	7.9%	71	26.6%
	何もしなかった	8	3.9%	1	1.6%	9	3.4%
	計	204	100.0%	63	100.0%	267	100.0%

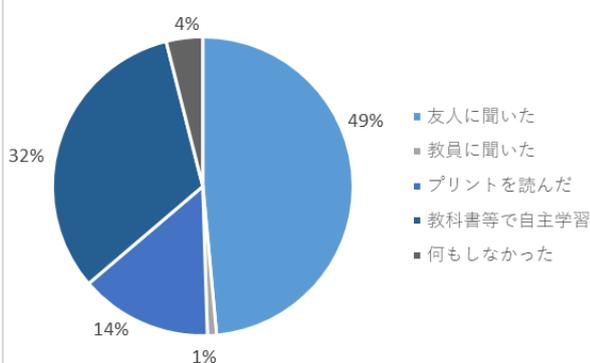
欠席についての所感 (医学科)



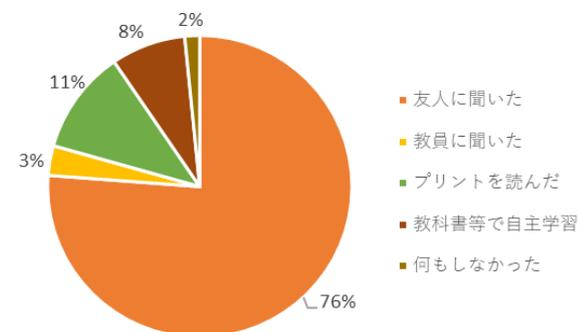
欠席についての所感 (看護学科)



キャッチアップ (医学科)



キャッチアップ (看護学科)

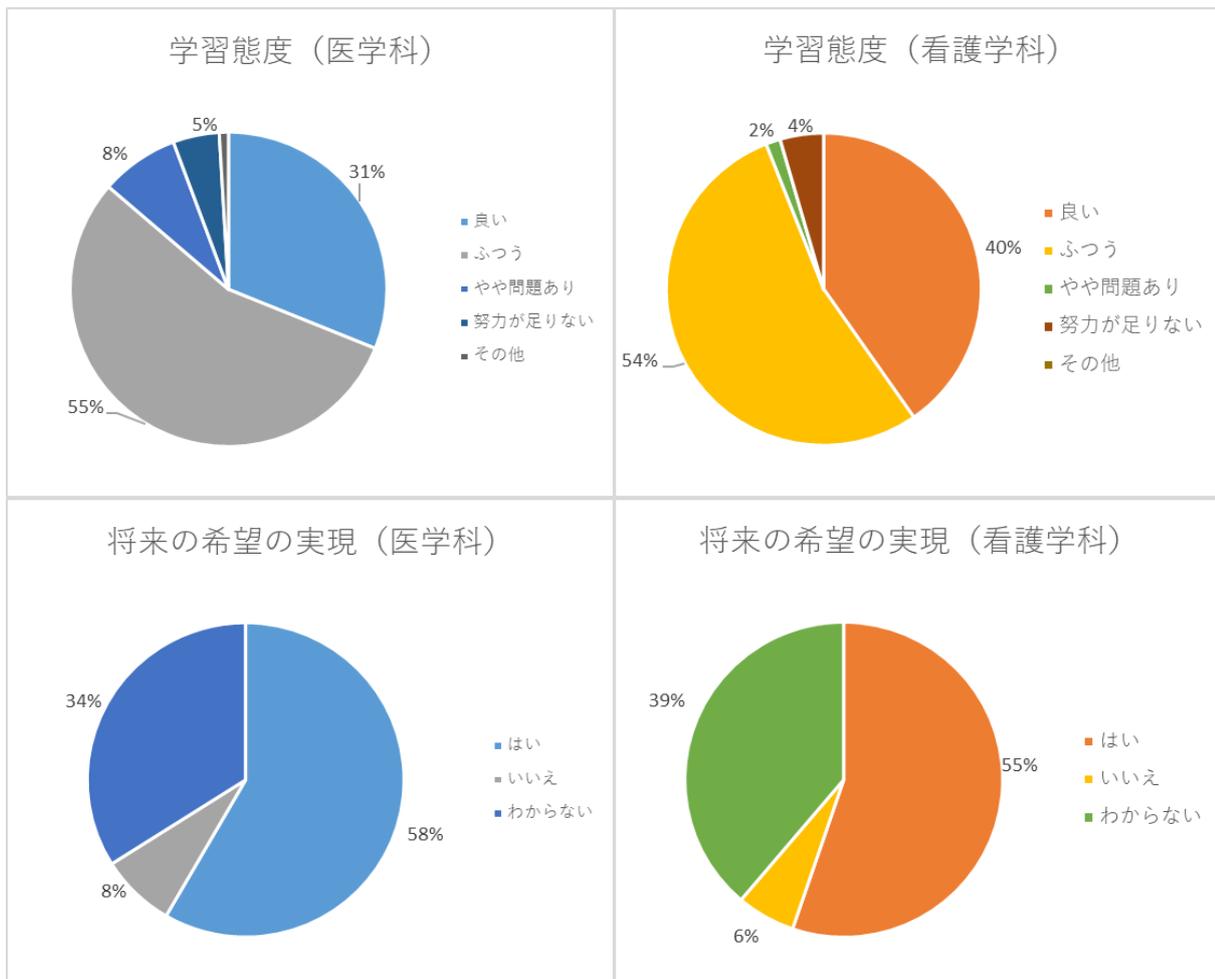


## <学習態度について>

自らの学習態度について自己評価を行う設問では、両学科とも「ふつう」が約5割、次いで「良い」が医学科では約3割、看護学科では約4割を占めている。一方で、現在の学習態度で将来の希望実現について、両学科の5～6割が「はい」と回答した。

(学習態度の自己評価・将来の希望実現)

		医学科		看護学科		計	
学習態度	良い	66	31.1%	27	40.3%	93	33.3%
	ふつう	117	55.2%	36	53.7%	153	54.8%
	やや問題あり	17	8.0%	1	1.5%	18	6.5%
	努力が足りない	10	4.7%	3	4.5%	13	4.7%
	その他	2	0.9%	0	0.0%	2	0.7%
	計	212	100.0%	67	100.0%	279	100.0%
希望実現	はい	122	58.4%	37	55.2%	159	57.6%
	いいえ	16	7.7%	4	6.0%	20	7.2%
	わからない	71	34.0%	26	38.8%	97	35.1%
	計	209	100.0%	67	100.0%	276	100.0%

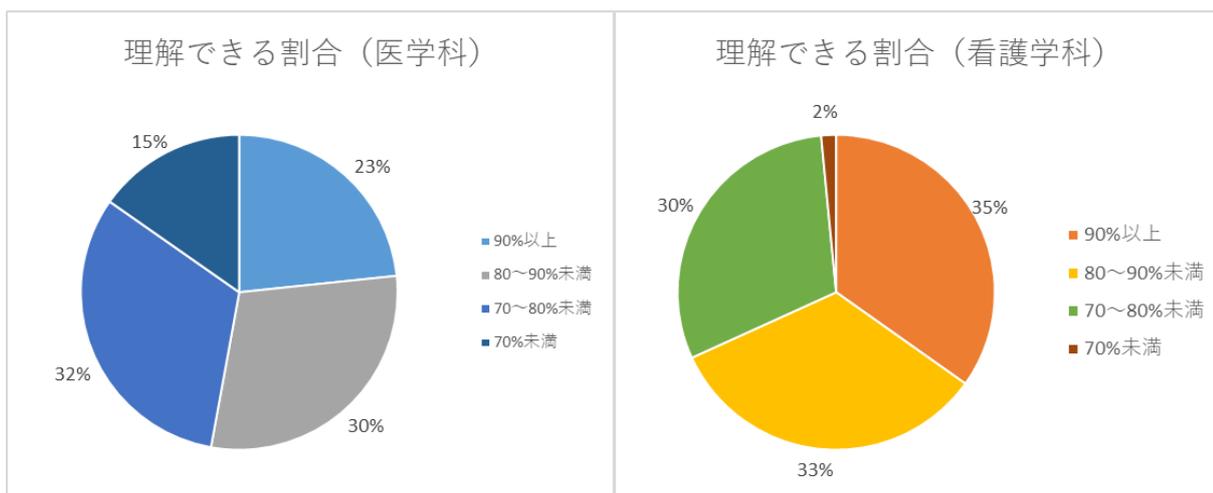


### <授業内容の理解>

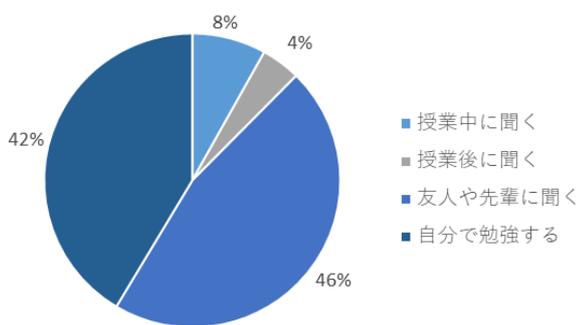
授業内容については、両学科とも大半の学生は理解できているようであるが、理解度は70%未満であると回答した学生が医学科では約2割、看護学科においてもわずかながら存在している。授業内容が理解できない場合には、「友人や先輩に聞く」「自分で勉強する」を合わせると両学科とも約9割を占めた。教員に質問しない理由としては「質問しにくい雰囲気」「聞きに行こうと思わない」が多く挙げられた。

(授業内容の理解等)

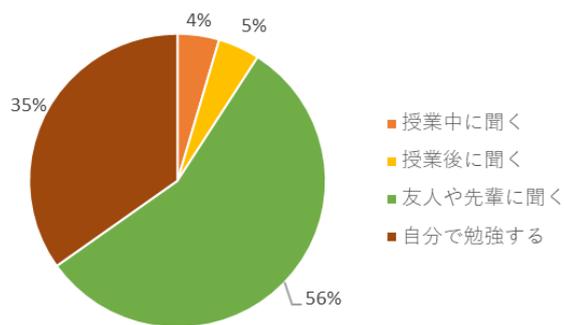
		医学科		看護学科		計	
理解 できる 割合	90%以上	49	23.3%	23	34.8%	72	26.1%
	80~90%未満	62	29.5%	22	33.3%	84	30.4%
	70~80%未満	67	31.9%	20	30.3%	87	31.5%
	70%未満	32	15.2%	1	1.5%	33	12.0%
	計	210	100.0%	66	100.0%	276	100.0%
理解 できない 場合	授業中に聞く	17	8.1%	3	4.5%	20	7.2%
	授業後に聞く	9	4.3%	3	4.5%	12	4.3%
	友人や先輩に聞く	97	46.2%	37	56.1%	134	48.6%
	自分で勉強する	87	41.4%	23	34.8%	110	39.9%
	計	210	100.0%	66	100.0%	276	100.0%
質問 しない 理由	忙しそう	57	30.0%	8	13.1%	65	25.9%
	質問しにくい雰囲気	60	31.6%	29	47.5%	89	35.5%
	質問すると怒られそう	5	2.6%	2	3.3%	7	2.8%
	連絡方法がわからない	3	1.6%	1	1.6%	4	1.6%
	聞きに行こうと思わない	65	34.2%	21	34.4%	86	34.3%
	計	190	100.0%	61	100.0%	251	100.0%



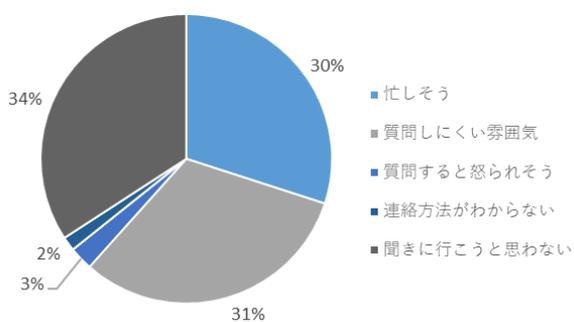
理解できない場合（医学科）



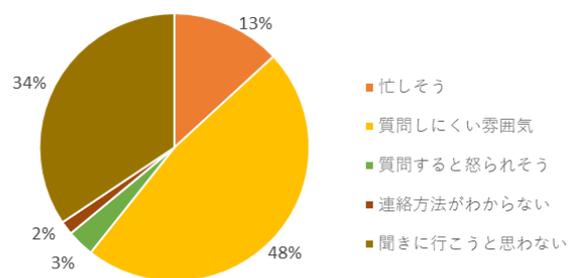
理解できない場合（看護学科）



教員に質問しない理由（医学科）



教員に質問しない理由（看護学科）



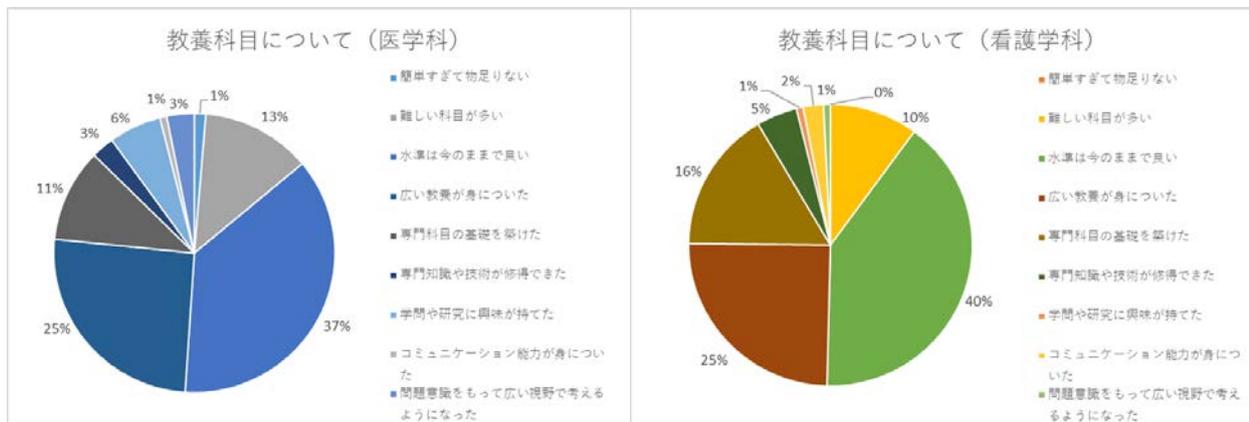
## <授業の水準>

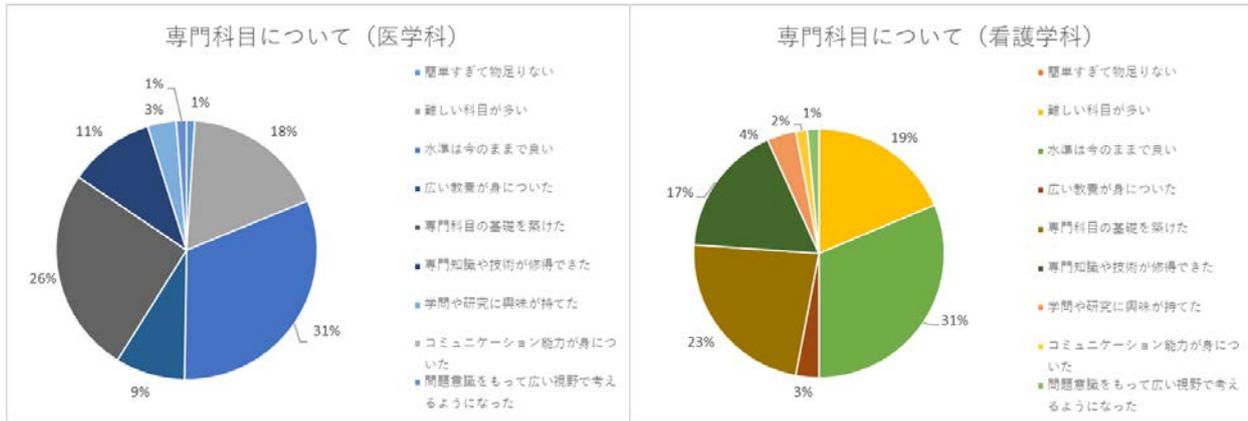
昨年度履修した教養科目について、「水準は今のままで良い」が両学科ともに約4割であり、次いで「難しい科目が多い」という回答が約1割であった。昨年度履修した専門科目についても、両学科とも「水準は今のままで良い」が最も多かった。

昨年度履修した科目で得られたものについては、教養科目では、両学科とも、「広い教養が身についた」が最も多く、専門科目では、「専門科目の基礎を築けた」の回答が最も多かった。

(昨年度履修した科目について (当てはまらない場合は回答無し)) (複数回答)

		医学科		看護学科		計	
教養	簡単すぎて物足りない	5	1.3%	0	0.0%	5	1.0%
	難しい科目が多い	48	12.6%	13	10.1%	61	12.0%
	水準は今のままで良い	141	37.1%	52	40.3%	193	37.9%
	広い教養が身についた	97	25.5%	32	24.8%	129	25.3%
	専門科目の基礎を築けた	41	10.8%	21	16.3%	62	12.2%
	専門知識や技術が修得できた	10	2.6%	6	4.7%	16	3.1%
	学問や研究に興味を持てた	23	6.1%	1	0.8%	24	4.7%
	コミュニケーション能力が身についた	3	0.8%	3	2.3%	6	1.2%
	問題意識をもって広い視野で考えるようになった	12	3.2%	1	0.8%	13	2.6%
	計	380	100.0%	129	100.0%	509	100.0%
専門	簡単すぎて物足りない	4	1.0%	0	0.0%	4	0.8%
	難しい科目が多い	70	17.8%	25	18.7%	95	18.0%
	水準は今のままで良い	124	31.5%	42	31.3%	166	31.4%
	広い教養が身についた	34	8.6%	4	3.0%	38	7.2%
	専門科目の基礎を築けた	101	25.6%	31	23.1%	132	25.0%
	専門知識や技術が修得できた	42	10.7%	23	17.2%	65	12.3%
	学問や研究に興味を持てた	14	3.6%	5	3.7%	19	3.6%
	コミュニケーション能力が身についた	0	0.0%	2	1.5%	2	0.4%
	問題意識をもって広い視野で考えるようになった	5	1.3%	2	1.5%	7	1.3%
	計	394	100.0%	134	100.0%	528	100.0%





### <自己学習>

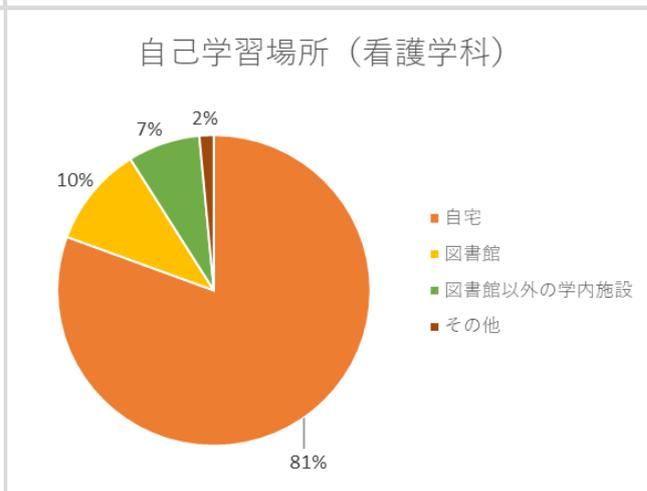
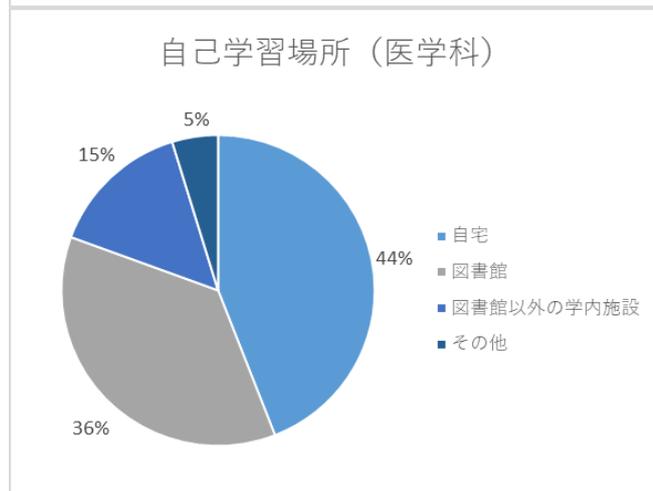
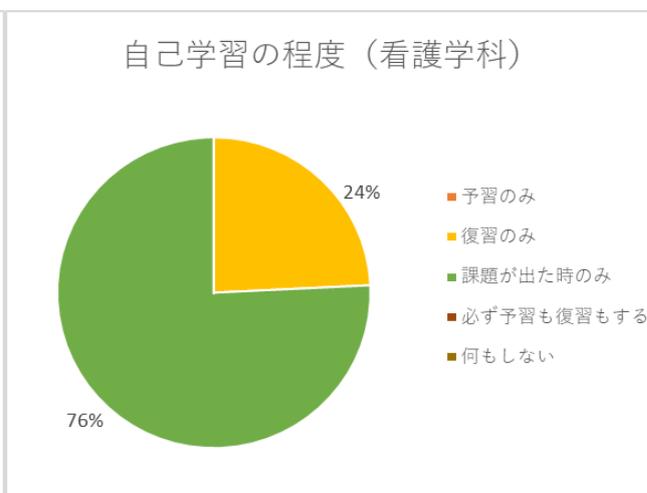
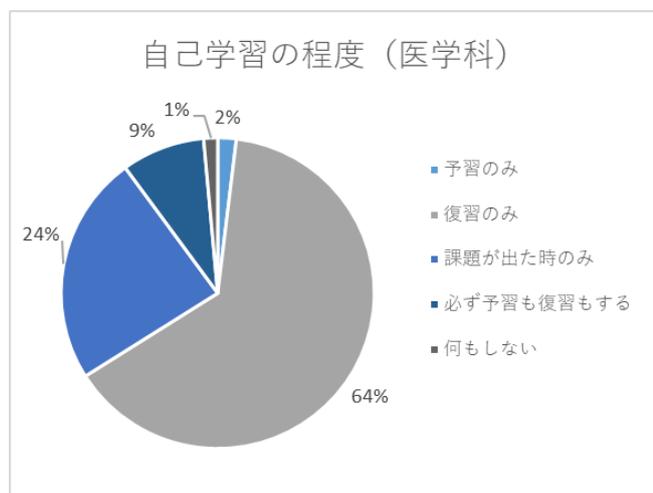
自己学習の程度については、医学科では「復習のみ」、看護学科では「課題が出た時のみ」の割合が高く、1日の自主学習時間では1時間以上勉強している割合が医学科の方で約6割、看護学科で約3割となった。なお、試験期間の1日の学習時間が「3時間以上」に割合は医学科が約9割、看護学科が約8割であった。

自己学習のために使用する場所については、「自宅」と回答した学生が医学科で約4割、看護学科で8割であり、「図書館」と回答した学生は医学科で約4割、看護学科では1割と、看護学科の学生は比較的自宅で学習する割合が高く、図書館の利用率はやや低いようである。

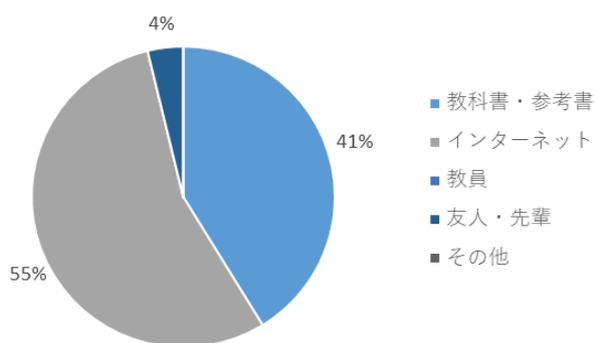
また、調べ物の情報源について、両学科とも「インターネット」の回答が最も多かった。さらに、1日のレポート作成時間を問う設問では、医学科よりも看護学科の方がレポート作成に時間を費やしている傾向があった。

(自己学習の程度・場所等)

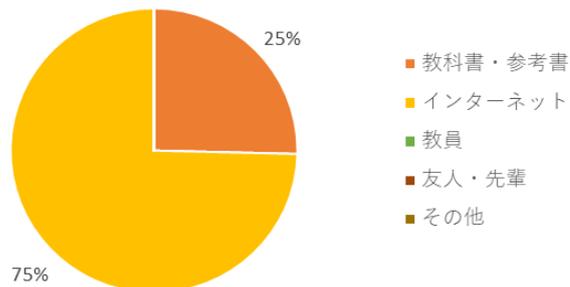
		医学科		看護学科		計	
自己学習 程度	予習のみ	4	1.9%	0	0.0%	4	1.5%
	復習のみ	134	64.1%	16	24.2%	150	54.5%
	課題が出た時のみ	50	23.9%	50	75.8%	100	36.4%
	必ず予習も復習もする	18	8.6%	0	0.0%	18	6.5%
	何もしない	3	1.4%	0	0.0%	3	1.1%
	計	209	100.0%	66	100.0%	275	100.0%
自己学習 場所	自宅	93	44.1%	54	80.6%	147	52.9%
	図書館	77	36.5%	7	10.4%	84	30.2%
	図書館以外の学内施設	31	14.7%	5	7.5%	36	12.9%
	その他	10	4.7%	1	1.5%	11	4.0%
	計	211	100.0%	67	100.0%	278	100.0%
調べ物 情報源	教科書・参考書	87	41.2%	17	25.4%	104	37.4%
	インターネット	116	55.0%	50	74.6%	166	59.7%
	教員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	友人・先輩	8	3.8%	0	0.0%	8	2.9%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	211	100.0%	67	100.0%	278	100.0%



調べ物の情報源（医学科）



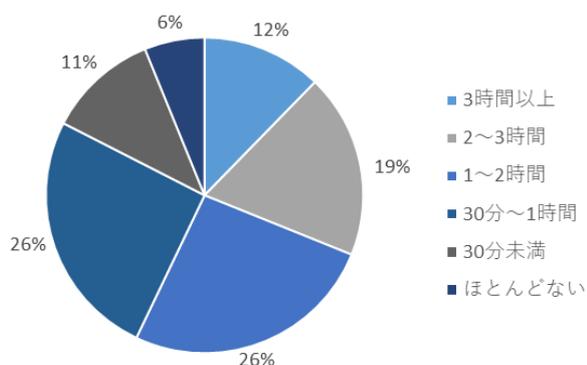
調べ物の情報源（看護学科）



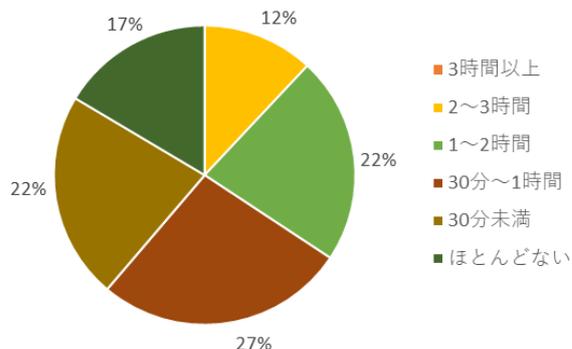
(授業以外の学習時間)

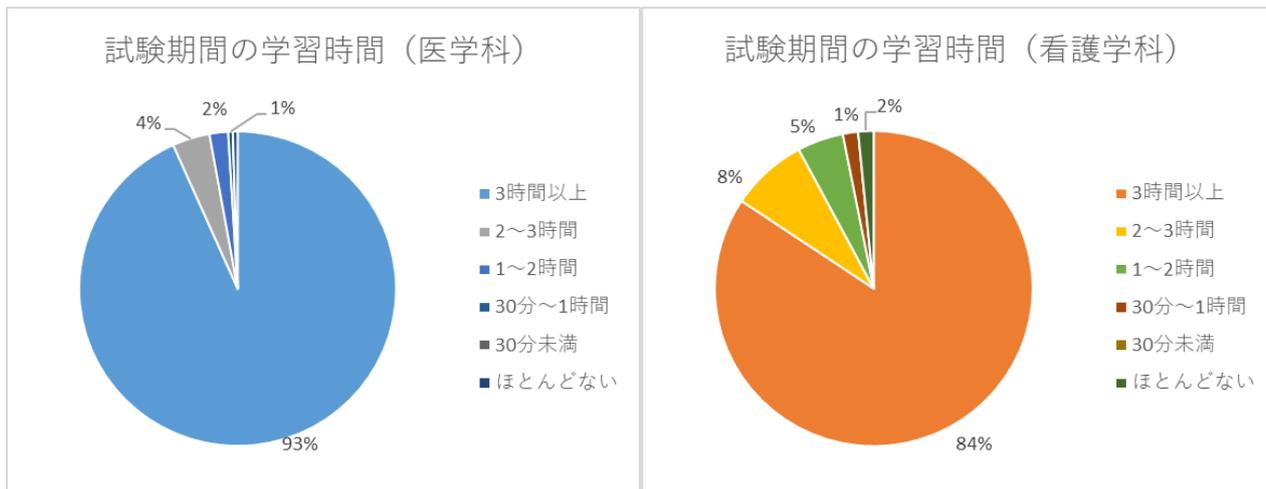
		医学科		看護学科		計	
授業以外	3時間以上	26	12.3%	0	0.0%	26	9.3%
	2～3時間	40	18.9%	8	11.9%	48	17.2%
	1～2時間	55	25.9%	15	22.4%	70	25.1%
	30分～1時間	54	25.5%	18	26.9%	72	25.8%
	30分未満	24	11.3%	15	22.4%	39	14.0%
	ほとんどない	13	6.1%	11	16.4%	24	8.6%
	計	212	100.0%	67	100.0%	279	100.0%
試験期間	3時間以上	196	93.3%	54	84.4%	250	91.2%
	2～3時間	8	3.8%	5	7.8%	13	4.7%
	1～2時間	4	1.9%	3	4.7%	7	2.6%
	30分～1時間	1	0.5%	1	1.6%	2	0.7%
	30分未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	ほとんどない	1	0.5%	1	1.6%	2	0.7%
	計	210	100.0%	64	100.0%	274	100.0%

授業以外の学習時間（医学科）



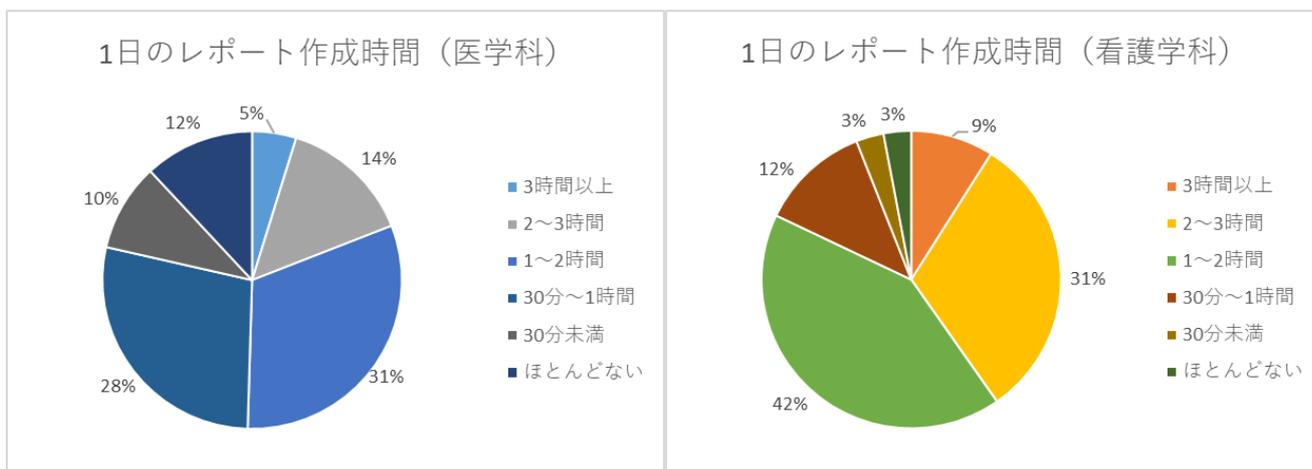
授業以外の学習時間（看護学科）





(1日のレポート作成時間)

		医学科		看護学科		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
レポート	3時間以上	10	4.8%	6	9.0%	16	5.8%
	2～3時間	30	14.3%	21	31.3%	51	18.4%
	1～2時間	66	31.4%	28	41.8%	94	33.9%
	30分～1時間	59	28.1%	8	11.9%	67	24.2%
	30分未満	20	9.5%	2	3.0%	22	7.9%
	ほとんどない	25	11.9%	2	3.0%	27	9.7%
	計	210	100.0%	67	100.0%	277	100.0%



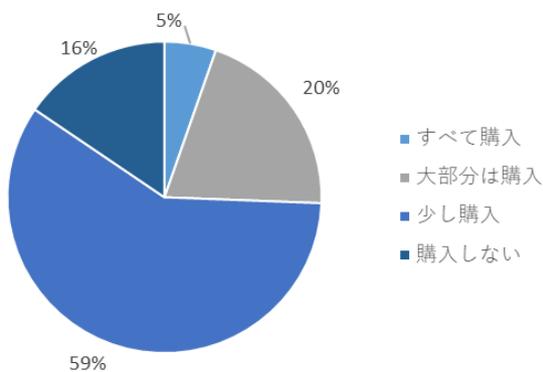
## <教材・参考書等の活用>

教科書の購入率は、医学科では「少し購入」回答が最も多く、看護学科では約4割の学生が「すべて購入」と回答していることから、医学科の教科書購入率は看護学科よりも低いことが分かる。教科書を購入しない理由として、医学科では「高価である」、看護学科では「なくても授業が理解できる」の回答割合が高かった。また、講義概要の使用状況について、両学科とも「授業日程等の確認に利用」が最も多かった。

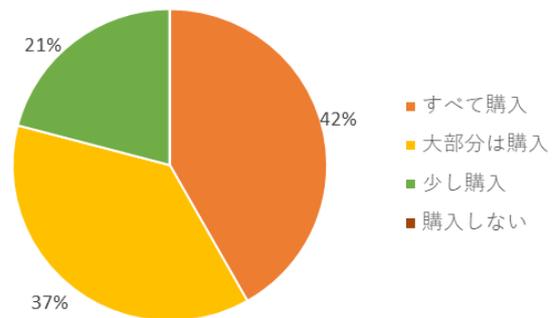
(教科書等の購入率)

		医学科		看護学科		計	
購入率	すべて購入	11	5.3%	28	41.8%	39	14.2%
	大部分は購入	42	20.3%	25	37.3%	67	24.5%
	少し購入	122	58.9%	14	20.9%	136	49.6%
	購入しない	32	15.5%	0	0.0%	32	11.7%
	計	207	100.0%	67	100.0%	274	100.0%
購入しない理由	高価である	88	47.8%	15	38.5%	103	46.2%
	なくても授業が理解できる	37	20.1%	16	41.0%	53	23.8%
	先輩や友人の本を利用	54	29.3%	8	20.5%	62	27.8%
	図書館等の本を利用	5	2.7%	0	0.0%	5	2.2%
	計	184	100.0%	39	100.0%	223	100.0%

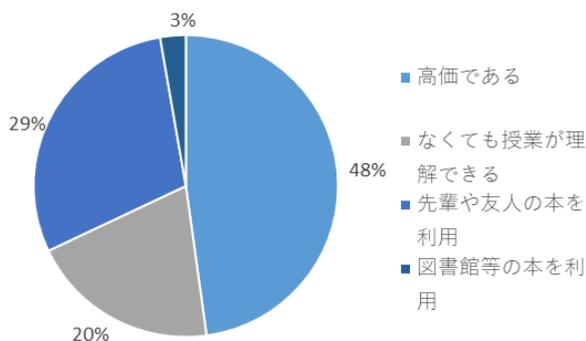
教科書等の購入率 (医学科)



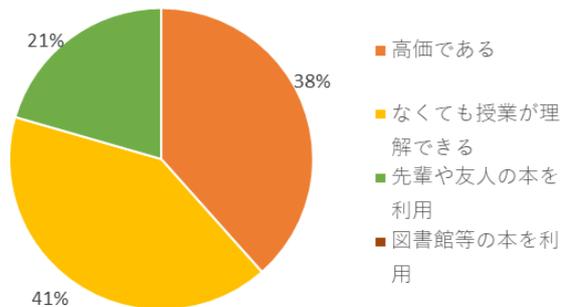
教科書等の購入率 (看護学科)



購入しない理由 (医学科)

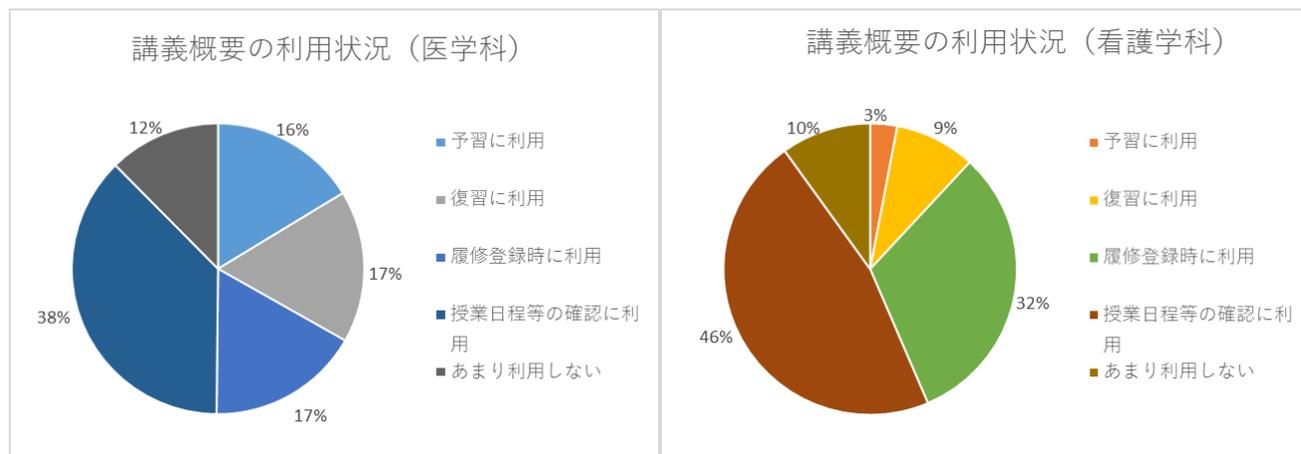


購入しない理由 (看護学科)



(講義概要の使用状況) (複数回答)

	医学科		看護学科		計	
予習に利用	50	16.3%	3	3.0%	53	13.0%
復習に利用	52	16.9%	9	8.9%	61	15.0%
履修登録時に利用	52	16.9%	32	31.7%	84	20.6%
授業日程等の確認に利用	115	37.5%	47	46.5%	162	39.7%
あまり利用しない	38	12.4%	10	9.9%	48	11.8%
計	307	100.0%	101	100.0%	408	100.0%



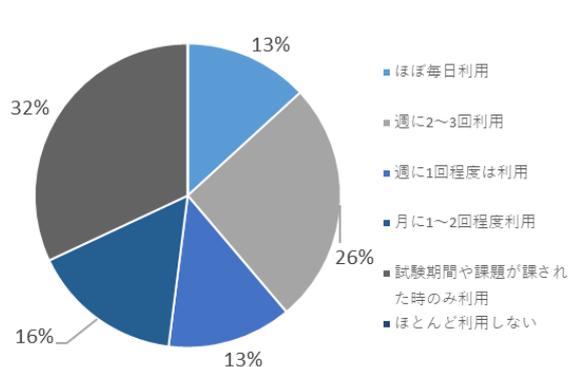
## V. 図書館の利用について

図書館の利用率は、月に1回以上利用している学生が医学科では約7割、看護学科では約3割となった。また、MMCの利用率は、月に1回以上利用している学生が両学科とも約3割となった。

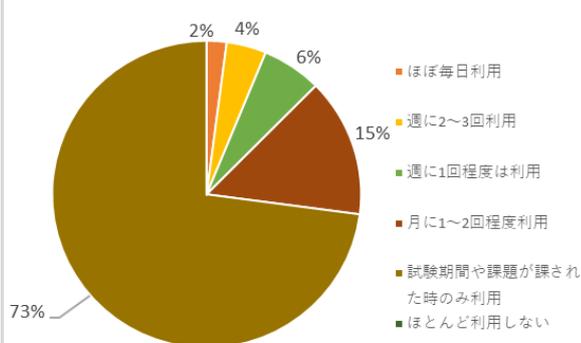
(図書館・MMC利用率)

		医学科		看護学科		計	
図書館	ほぼ毎日利用	23	13.1%	1	2.1%	24	10.8%
	週に2～3回利用	45	25.7%	2	4.2%	47	21.1%
	週に1回程度は利用	23	13.1%	3	6.3%	26	11.7%
	月に1～2回程度利用	28	16.0%	7	14.6%	35	15.7%
	試験期間や課題が課された時のみ利用	56	32.0%	35	72.9%	91	40.8%
	ほとんど利用しない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	175	100.0%	48	100.0%	223	100.0%
MMC	ほぼ毎日利用	7	3.3%	0	0.0%	7	2.5%
	週に2～3回利用	13	6.1%	3	4.5%	16	5.7%
	週に1回程度は利用	10	4.7%	4	6.0%	14	5.0%
	月に1～2回程度利用	33	15.6%	9	13.4%	42	15.1%
	試験期間や課題が課された時のみ利用	39	18.4%	17	25.4%	56	20.1%
	授業で利用するのみ	47	22.2%	25	37.3%	72	25.8%
	ほとんど利用しない	63	29.7%	9	13.4%	72	25.8%
	計	212	100.0%	67	100.0%	279	100.0%

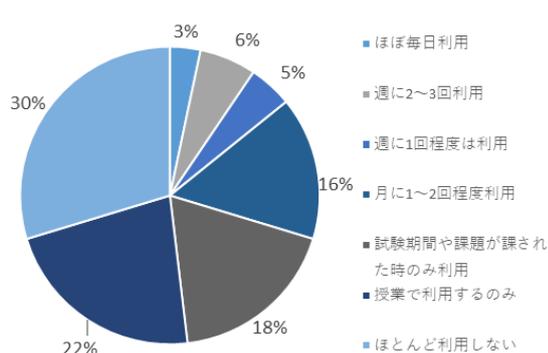
図書館利用率（医学科）



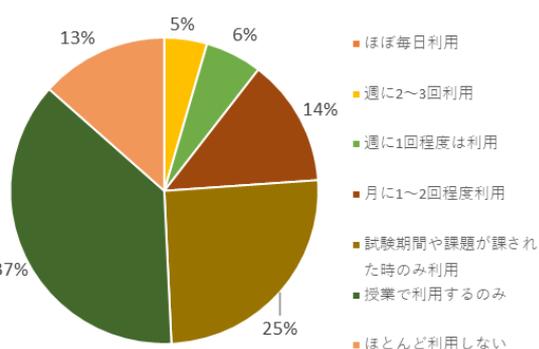
図書館利用率（看護学科）



MMC利用率（医学科）



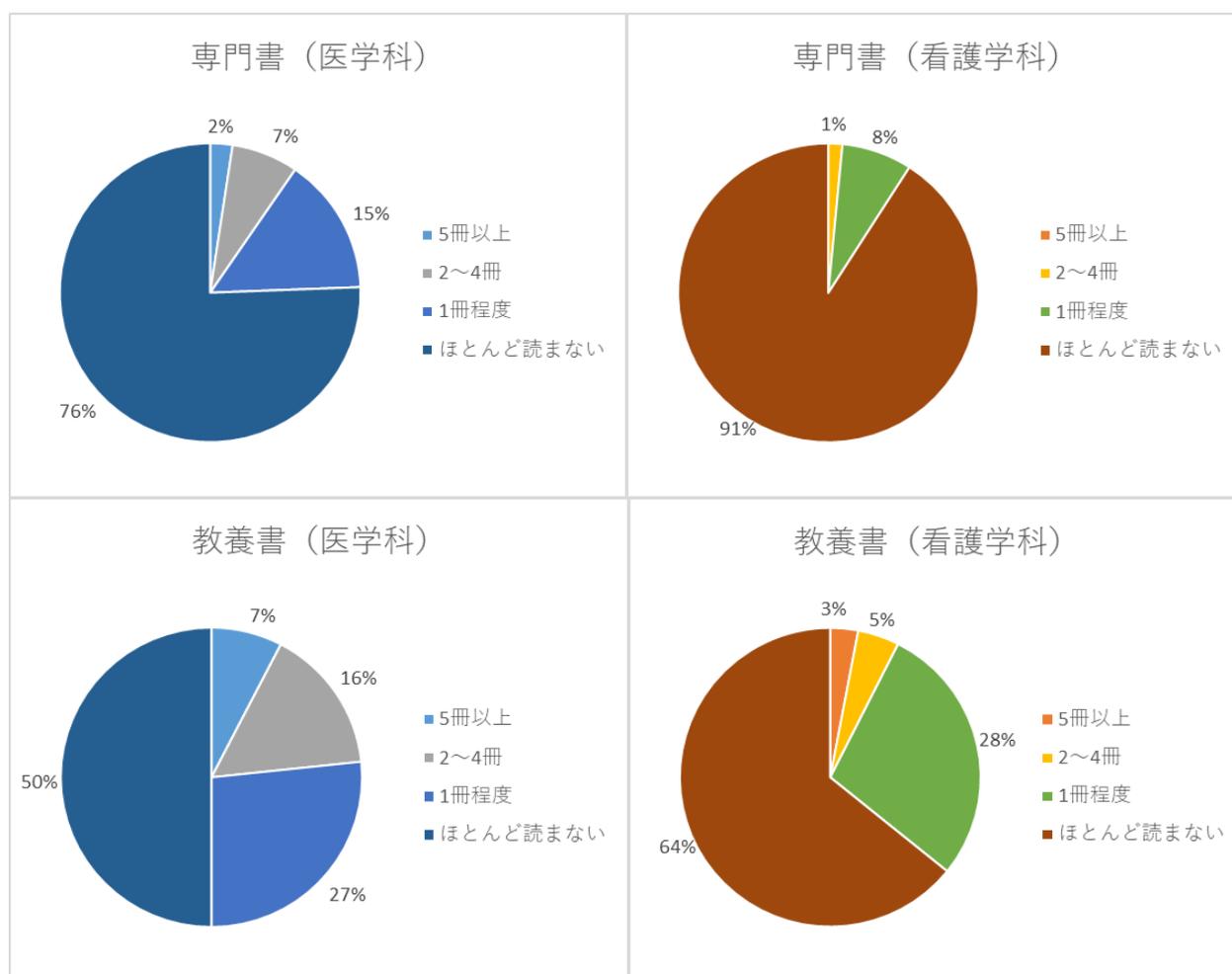
MMC利用率（看護学科）



### <読書習慣>

専門書は「ほとんど読まない」と回答した学生が医学科では7割を、看護学科では9割を超えており、教養書についても「ほとんど読まない」か、読んだ場合でも月に「1冊程度」の学生が医学科では約8割、看護学科では約9割の結果であった。

		医学科		看護学科		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
専門書	5冊以上	5	2.4%	0	0.0%	5	1.8%
	2～4冊	15	7.2%	1	1.5%	16	5.8%
	1冊程度	31	14.8%	5	7.6%	36	13.1%
	ほとんど読まない	158	75.6%	60	90.9%	218	79.3%
	計	209	100.0%	66	100.0%	275	100.0%
教養書	5冊以上	16	7.6%	2	3.0%	18	6.5%
	2～4冊	33	15.7%	3	4.5%	36	13.0%
	1冊程度	56	26.7%	19	28.4%	75	27.1%
	ほとんど読まない	105	50.0%	43	64.2%	148	53.4%
	計	210	100.0%	67	100.0%	277	100.0%



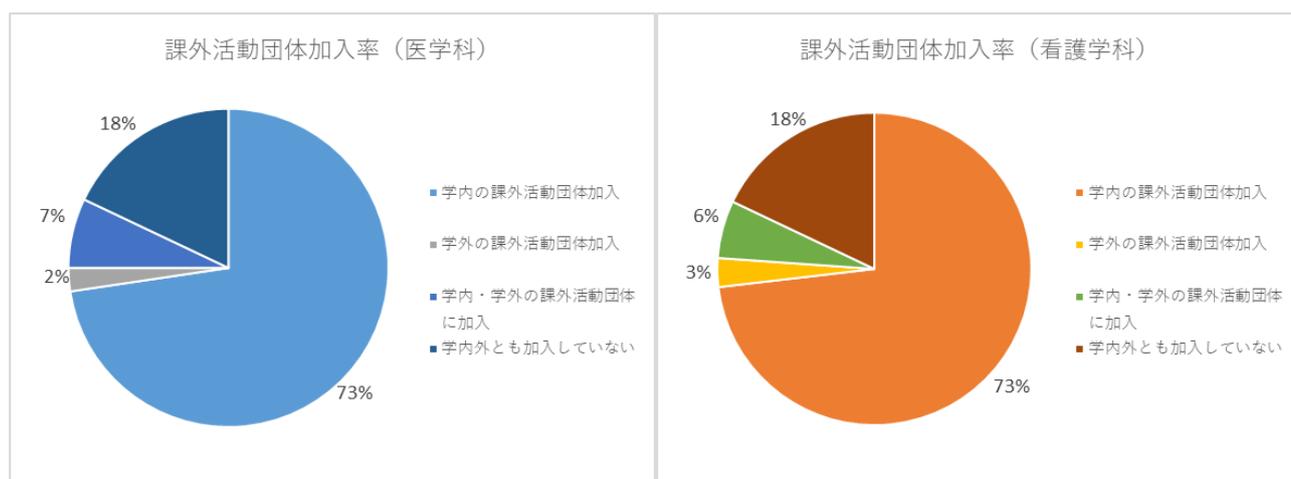
## VI. 課外活動について

### <課外活動団体について>

本学学生の課外活動団体加入率は両学科とも7割を超えている。所属理由の約半数は「活動内容に関心があった」ことである。一方、加入していない学生の主な理由としては、両学科ともに「時間がない」等の回答が多かった。

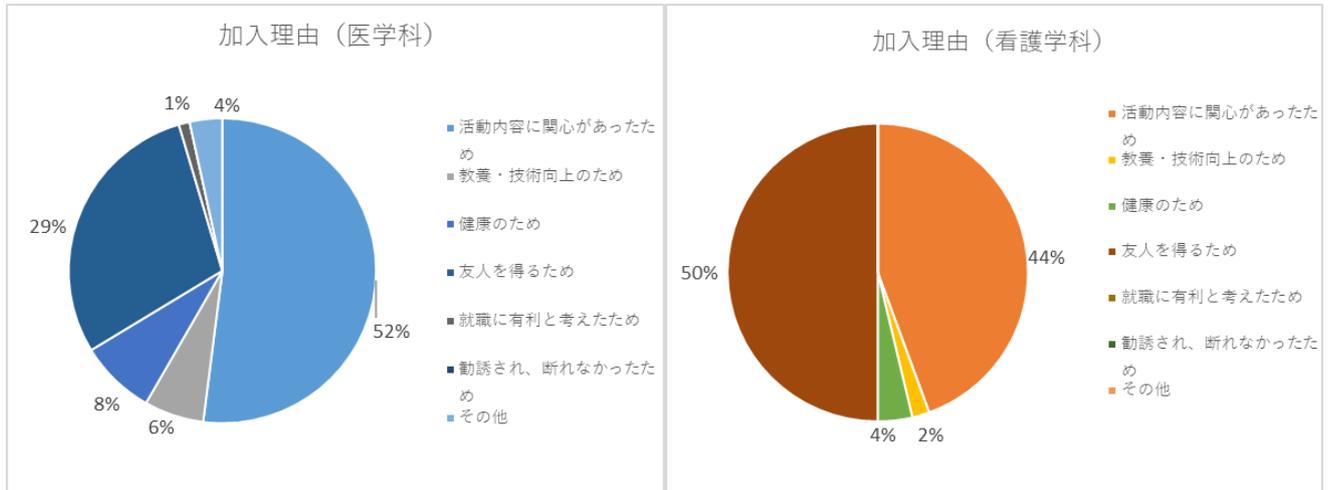
#### (課外活動団体加入率)

	医学科		看護学科		計	
学内の課外活動団体加入	154	72.6%	49	73.1%	203	72.8%
学外の課外活動団体加入	5	2.4%	2	3.0%	7	2.5%
学内・学外の課外活動団体に加入	15	7.1%	4	6.0%	19	6.8%
学内外とも加入していない	38	17.9%	12	17.9%	50	17.9%
計	212	100.0%	67	100.0%	279	100.0%



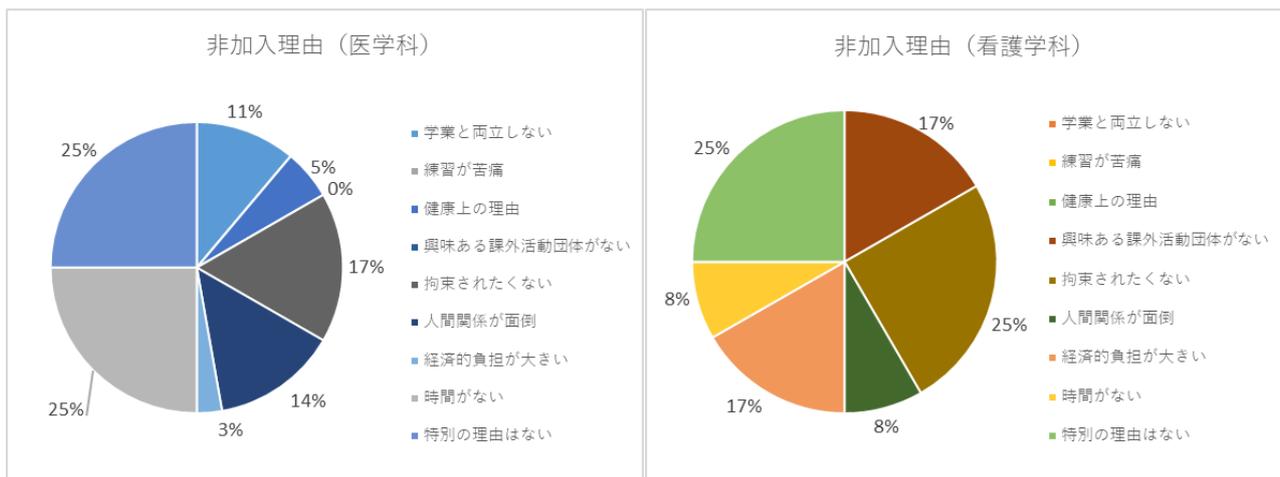
#### (加入の理由)

	医学科		看護学科		計	
活動内容に関心があったため	91	52.0%	24	44.4%	115	50.2%
教養・技術向上のため	11	6.3%	1	1.9%	12	5.2%
健康のため	14	8.0%	2	3.7%	16	7.0%
友人を得るため	51	29.1%	27	50.0%	78	34.1%
就職に有利と考えたため	2	1.1%	0	0.0%	2	0.9%
勧誘され、断れなかったため	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	6	3.4%	0	0.0%	6	2.6%
計	175	100.0%	54	100.0%	229	100.0%



### （非加入の理由）

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
学業と両立しない	4	11.1%	0	0.0%	4	8.3%
練習が苦痛	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
健康上の理由	2	5.6%	0	0.0%	2	4.2%
興味ある課外活動団体がない	0	0.0%	2	16.7%	2	4.2%
拘束されたくない	6	16.7%	3	25.0%	9	18.8%
人間関係が面倒	5	13.9%	1	8.3%	6	12.5%
経済的負担が大きい	1	2.8%	2	16.7%	3	6.3%
時間がない	9	25.0%	1	8.3%	10	20.8%
特別の理由はない	9	25.0%	3	25.0%	12	25.0%
計	36	100.0%	12	100.0%	48	100.0%

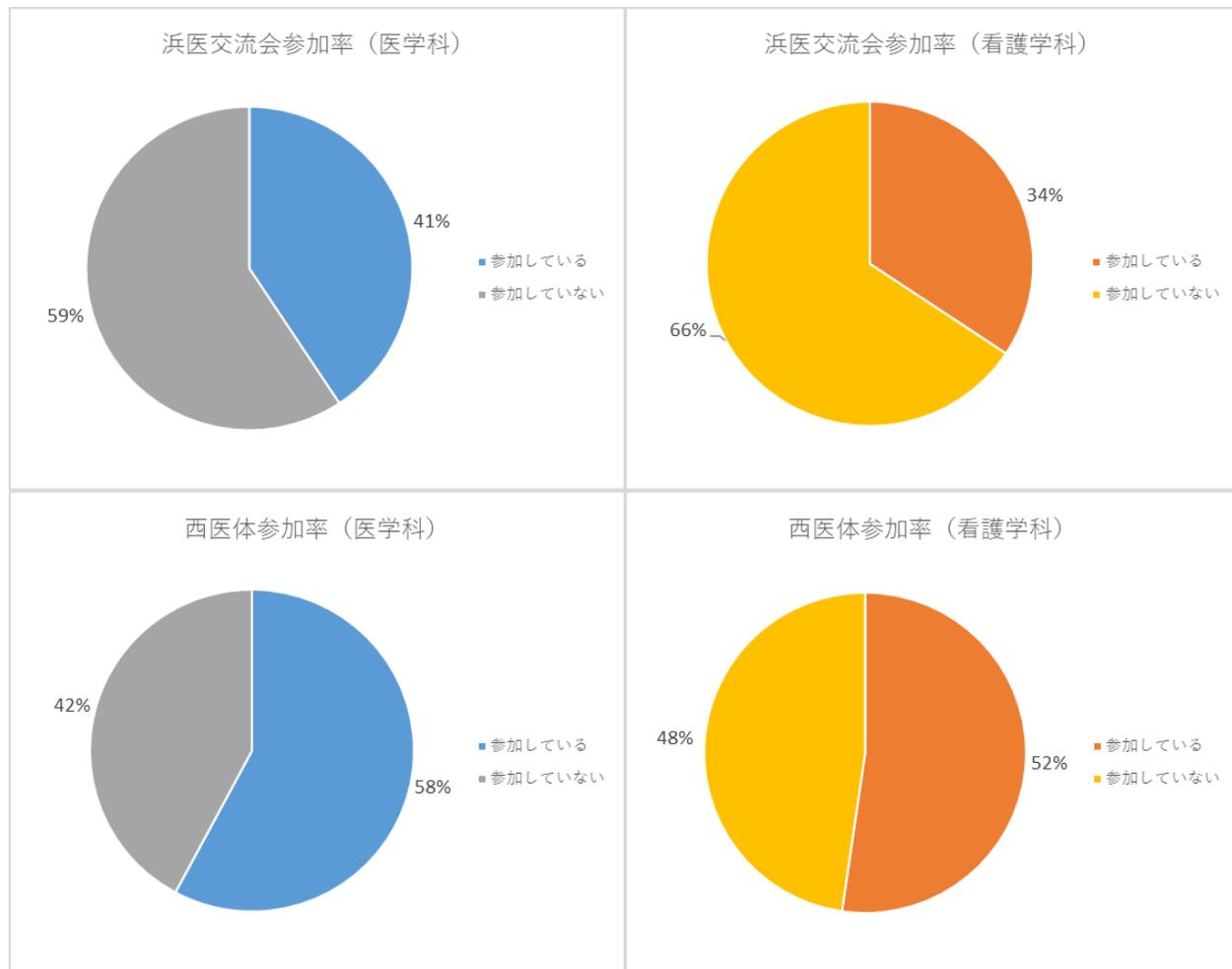


＜浜松医科大学との交流会・西医体・若鮎祭への参加率＞

浜医交流会の参加率は約 4 割に満たず、西医体の参加率は約 6 割となった。若鮎祭について、約 6 割の学生が参加している。

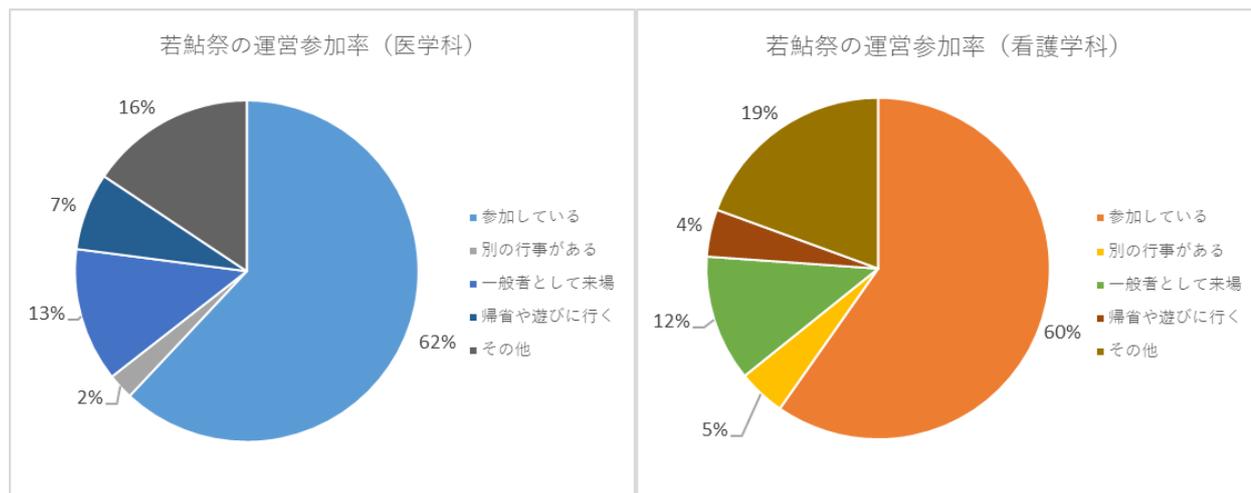
(浜医交流会・西医体参加率)

		医学科		看護学科		計	
浜医	参加している	83	40.7%	23	34.3%	106	39.1%
	参加していない	121	59.3%	44	65.7%	165	60.9%
	計	204	100.0%	67	100.0%	271	100.0%
西医体	参加している	118	57.8%	34	52.3%	152	56.5%
	参加していない	86	42.2%	31	47.7%	117	43.5%
	計	204	100.0%	65	100.0%	269	100.0%



(若鮎祭参加率)

	医学科		看護学科		計	
参加している	127	62.0%	40	59.7%	167	61.4%
別の行事がある	5	2.4%	3	4.5%	8	2.9%
一般者として来場	26	12.7%	8	11.9%	34	12.5%
帰省や遊びに行く	15	7.3%	3	4.5%	18	6.6%
その他	32	15.6%	13	19.4%	45	16.5%
計	205	100.0%	67	100.0%	272	100.0%

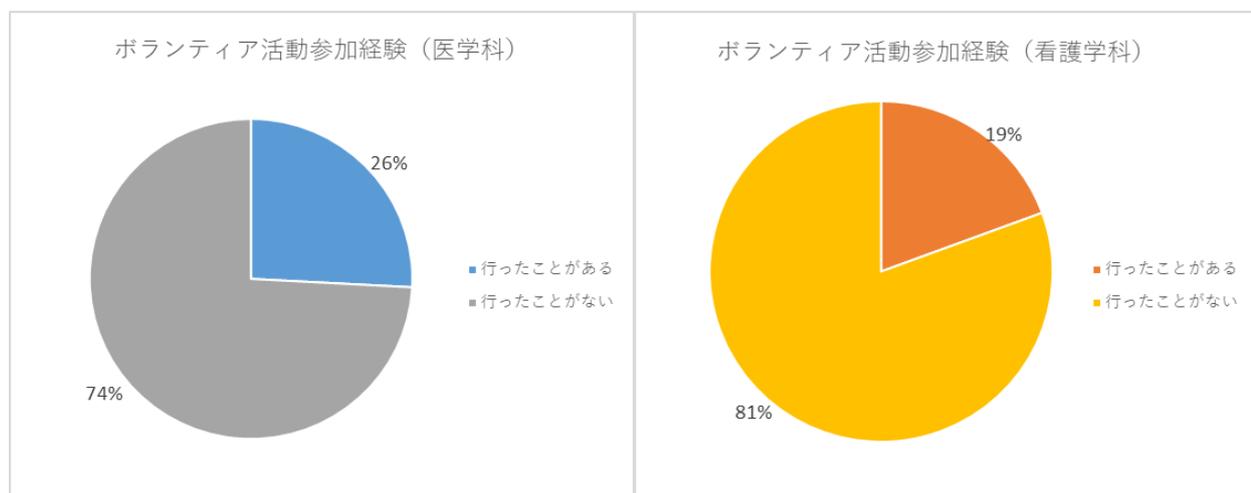


<ボランティア経験>

在学中にボランティアに携わったことがあると回答した学生は、両学科とも約 2 割であった。

(在学中のボランティア経験)

	医学科		看護学科		計	
行ったことがある	54	25.8%	13	19.4%	67	24.3%
行ったことがない	155	74.2%	54	80.6%	209	75.7%
計	209	100.0%	67	100.0%	276	100.0%



## Ⅶ. 卒業後の進路について

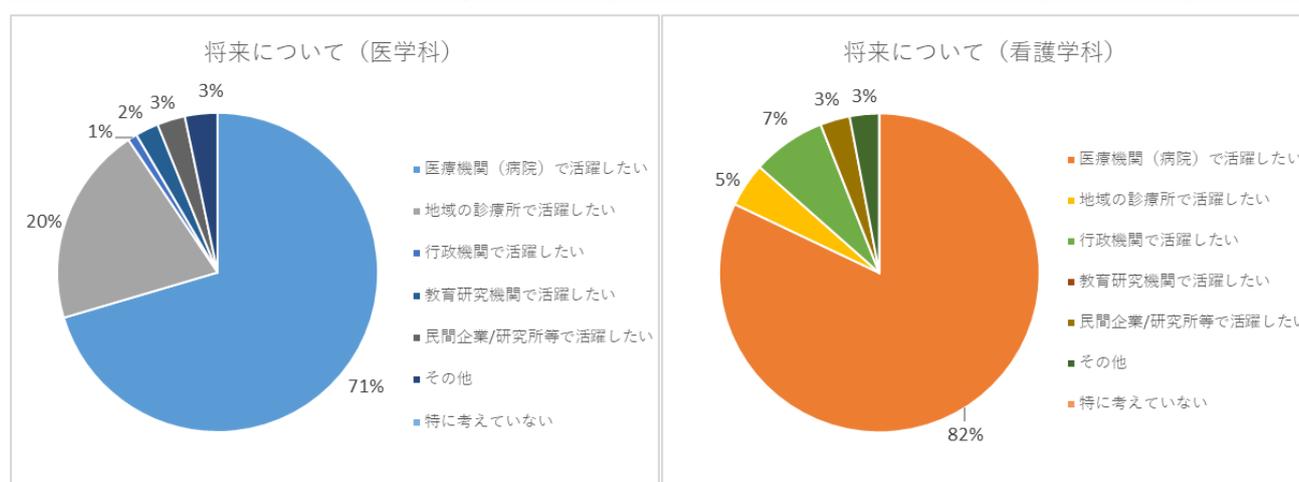
将来の理想像として、「医療機関（病院）で活躍したい」との回答が医学科では約 7 割、看護学科では約 8 割であった。

希望就職先は、医学科では県外の病院との回答が約 4 割、県内の病院との回答が約 2 割、本学附属病院への就職希望は 1 割、他大学附属病院への就職希望は約 1 割であった。看護学科では県外の病院との回答が約 2 割、県内の病院との回答は 1 割に満たず、本学附属病院への就職希望は最も多く約 4 割、他大学附属病院への就職希望は約 2 割であった。なお、大学院進学希望者は医学科にはいなかったが、看護学科には 1 名いた。

また、就職先を選ぶ基準において、医学科では「学んだ知識や技術が生かせる」「人間関係が良い」の 2 項目が多く、看護学科では、「人間関係が良い」の回答は約 4 割を占めた。

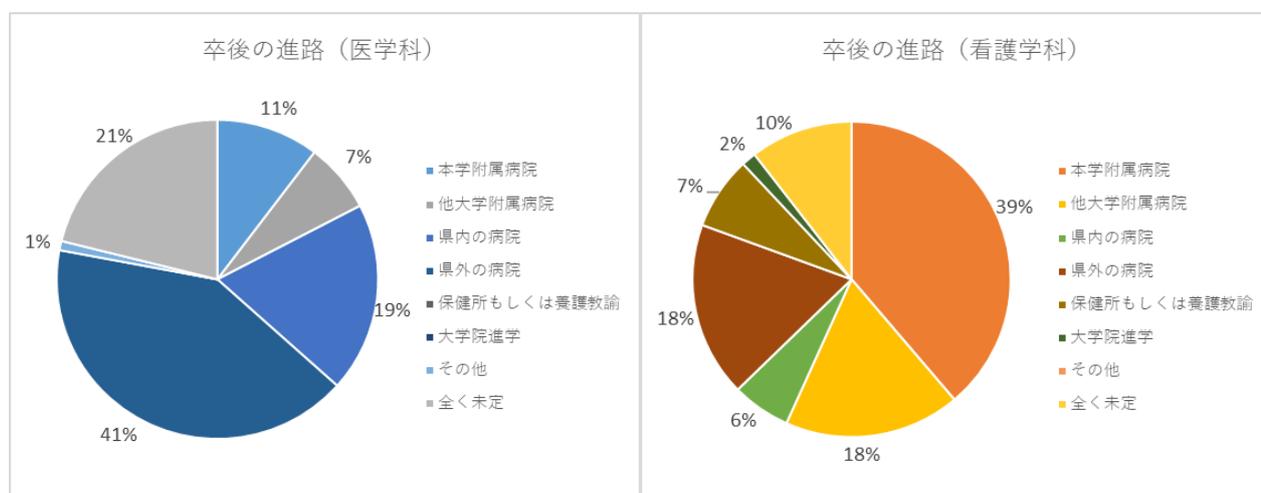
(将来の理想像)

	医学科		看護学科		計	
医療機関（病院）で活躍したい	150	70.4%	55	82.1%	205	73.2%
地域の診療所で活躍したい	43	20.2%	3	4.5%	46	16.4%
行政機関で活躍したい	2	0.9%	5	7.5%	7	2.5%
教育研究機関で活躍したい	5	2.3%	0	0.0%	5	1.8%
民間企業/研究所等で活躍したい	6	2.8%	2	3.0%	8	2.9%
その他	7	3.3%	2	3.0%	9	3.2%
特に考えていない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	213	100.0%	67	100.0%	280	100.0%



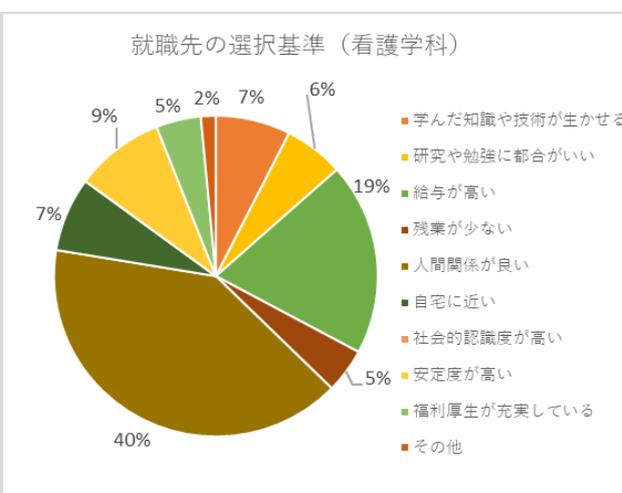
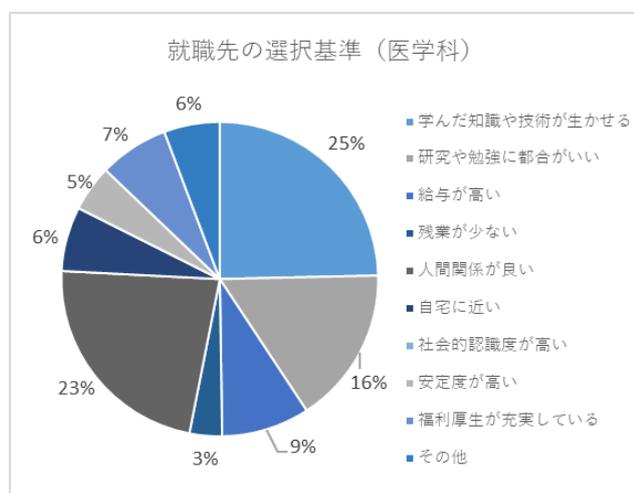
(希望就職先)

	医学科		看護学科		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本学附属病院	22	10.3%	26	38.8%	48	17.1%
他大学附属病院	15	7.0%	12	17.9%	27	9.6%
県内の病院	41	19.2%	4	6.0%	45	16.1%
県外の病院	88	41.3%	12	17.9%	100	35.7%
保健所もしくは養護教諭	0	0.0%	5	7.5%	5	1.8%
大学院進学	0	0.0%	1	1.5%	1	0.4%
その他	2	0.9%	0	0.0%	2	0.7%
全く未定	45	21.1%	7	10.4%	52	18.6%
計	213	100.0%	67	100.0%	280	100.0%



(就職先を選ぶ基準)

	医学科		看護学科		計	
学んだ知識や技術が生かせる	52	24.6%	5	7.5%	57	20.5%
研究や勉強に都合がいい	34	16.1%	4	6.0%	38	13.7%
給与が高い	19	9.0%	13	19.4%	32	11.5%
残業が少ない	7	3.3%	3	4.5%	10	3.6%
人間関係が良い	48	22.7%	27	40.3%	75	27.0%
自宅に近い	14	6.6%	5	7.5%	19	6.8%
社会的認識度が高い	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
安定度が高い	10	4.7%	6	9.0%	16	5.8%
福利厚生が充実している	15	7.1%	3	4.5%	18	6.5%
その他	12	5.7%	1	1.5%	13	4.7%
計	211	100.0%	67	100.0%	278	100.0%



2024 年度

学修・学生生活実態調査

# 学修状況編

---

学修状況編については、旧「学習に関する実態調査」において実施されていた設問のうち、記述式の設問（問 65～74）についての集計結果を設問ごとに掲載しています。

なお、試験問題や評価方法等について回答された科目は、その具体的な理由は掲載していませんが、講義担当教員へは個別に通知し、講義内容の改善を図っています。

設問 65 高校で履修していないために、理解が困難だった科目がありましたか。

【医学科】

医学科	回答者数	物理未履修		化学未履修		生物未履修		未記入	
2年	51	12	23.5%	1	2.0%	18	35.3%	20	39.2%
3年	61	11	18.0%	2	3.3%	11	18.0%	37	60.7%
4年	55	9	16.4%	1	1.8%	13	23.6%	32	58.2%
5年	13	6	46.2%	1	7.7%	2	15.4%	4	30.8%
6年	34	7	20.6%	0	0.0%	0	0.0%	27	79.4%
計	214	45	21.0%	5	2.3%	44	20.6%	120	56.1%

( ) 内の数字は科目を記入した人数を示す。

未履修科目	理解するのが困難だった科目名等
物理	物理学概論 (18)、物理学基礎 (14)、物理学実習 (5)、再生医学 (4)、物理 (4)、物理学 (3)、臓器生理学Ⅱ (2)、神経科学 (2)、基礎物理化学 (1)、臓器生理学Ⅰ (1)、物理学入門 (1)、細胞生物学 (1)、その他 (4)
化学	生化学序論 (4)、代謝生化学 (2)、自然科学入門 (1)、物理学基礎 (1)、物理学概論 (1)、物理学実習 (1)、核酸・病態生化学 (1)
生物	細胞生物学基礎 (24)、分子生物学基礎 (17)、核酸・病態生化学 (8)、臓器生理学 (4)、細胞生理学 (2)、免疫学 (2)、発生学 (2)、人体解剖学 (2)、生物 (1)、基礎人体機能構造学 (1)、生化学序論 (1)、再生医学 (1)、生物学実習 (1)、その他 (4)

【看護学科】

看護学科	回答者数	物理未履修		化学未履修		生物未履修		未記入	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
2年	26	12	46.2%	2	7.7%	4	15.4%	8	30.8%
3年	32	16	50.0%	2	6.3%	6	18.8%	8	25.0%
4年	19	2	10.5%			1	5.3%	16	84.2%
計	77	30	39.0%	4	5.2%	11	14.3%	32	41.6%

( ) 内の数字は科目を記入した人数を示す。

未履修科目	理解するのが困難だった科目名等
物理	生命活動の物理学 (30)、目良教授の物理の講義 (公式を覚えれば解けるものばかりだが、それを理屈として落とし込むのが困難だった) (1)
化学	生命活動の化学 (4)
生物	生物学 (5)、生物 (4)、生化学・栄養学 (1)、生命活動の物理学 (1)

設問 66 困難だった科目を理解するために、どのように学習しましたか。(複数回答可)

【医学科】

医学科	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合
大学が開講している「自然科学入門」等で学修した。	15	18	21	6	6	66	47.8%
個人的に、高校の教科書や参考書等で学修した。	14	15	16	4	10	59	42.8%
その他	6	3	2	2		13	9.4%
合計	35	36	39	12	16	138	

注) %は、未記入者を除いた回答者数を母数として算出した。

その他の主な意見

- わからないところを友人に聞いた。
- 自力で勉強した
- 大学の範囲を暗記した。
- 授業だけでよかった。

- 学士編入なので基礎は全て学修していた。
- 履修した1年生当時は理解しきれなかった。

【看護学科】

看護学科	2年	3年	4年	合 計	
大学が開講している「自然科学入門」等で学修した。	1		1	2	5.6%
個人的に、高校の教科書や参考書等で学修した。	10	17	3	30	83.3%
その他	1	2	1	4	11.1%
合計	12	19	5	36	

注) %は、未記入者を除いた回答者数を母数として算出した。

その他の主な意見

- 授業資料を用いて自己学習をした。
- 友人に聞いた。
- 授業をよく聞いた。

設問 67 成績評価に関する満足度とその理由

【医学科】

医学科	2年	3年	4年	5年	6年	合 計	
回答者数	45	57	53	13	31	199	100.0%
満足	6	12	9	3	4	34	17.1%
おおむね満足	35	34	37	8	21	135	67.8%
やや不満	2	7	4	1	6	20	10.1%
不満	1	4	2			7	3.5%
その他	1		1	1		3	1.5%

満足と回答した者が記載した主な理由

- 妥当な結果だから。
- 自分の感覚と一致しているから。
- 先生が質問にきちんと答えて下さったため。

- 講義の質が良かった。
- 正当な評価だから。
- 進級できたから。
- 努力量・手応えに相応の評価が行われていたと感じたから。
- 様々な幅広い知識や考え方が身に付いたため。
- 適切に評価されていると感じたから。

#### おおむね満足と回答した者が記載した主な理由

- 授業によってわかりやすいものとそうでないものがあったから。
- 出席率を重視しない一部の科目は評価が芳しくなかったこともあり、その点は不服だが、概ね自身の頑張りが反映されていると感じたから。
- 悪くはなかったが、もう少し頑張れた。
- 努力に相応の評価であったから。
- テストの手応えと概ね一致している。
- ある程度勉強量や提出率に応じた評価を得られたため。
- 最低限の目標は達成したため。
- 思っていた1つ下の評価をされた時があったから。ただ、自分に何かが足りなかったのだろうとは考えている。
- 出席数が成績にきちんと反映されるような成績評価を行なって欲しいから。
- 正当に評価されていたと思うから。
- しっかりと勉強の成果を出すことができたから。
- 成績評価に関して、少しわからない点があった。
- 結果の反映が早い。
- 再試験対象者が半数を超えることがあるのは授業に問題があるのではないかと思う。
- 点数の内訳を公表してくれた方が復習し易い。

- シラバスに提示された基準に沿って概ね評価されていたため。
- 真面目にやっていたら、評価された科目が多かったため。
- 満足しているが、答案の返却等がないためフィードバックできない。
- 試験の結果をもって成績をつけているため。
- 再試験にかからなかったから。
- 評価基準が不明瞭な科目がややあるから。
- 国家試験対策を念頭に授業が組まれていたから。

#### やや不満と回答した者が記載した主な理由

- 臨床実習の成績評価基準がよくわからない。
- 成績評価の基準が不透明であり、また、そもそも正当に行われているのか不明なため。
- 成績分布が開示されることが多くはないから。
- 実習で態度が悪い、不真面目な人などは進級できているのに、一般教養科目のテストで点が取れずに留年する人がいるのはおかしいと思う。
- 目標とする基準を満たしていないため。
- クリクラの成績は、真面目にしていたのに「可」がつけられていた診療科があったり、ほとんどの人に同じ評価をつける診療科が多かったりする。真面目な人と不真面目な人で実習態度に大きな差があるのに、成績上で正しく評価されていないように感じた。
- 私は医学部 5 年生の一人として、学外臨床実習の選抜基準について懸念を表明いたします。臨床実習オリエンテーションにて、協力病院以外の施設で実習を行える学生を GPA に基づき選出し、その上限を 10 名とする方針が伝えられました。しかし、この選抜方法と限定された人数には、いくつかの問題があると考えております。GPA を基準とする選抜方法については、学生が多様な教育機会を平等に享受する権利を制限するものです。GPA は学問の理解度を示す一側面に過ぎず、臨床現場で必要とされる対人スキルや臨機応変な判断力を反映していない可能性があります。したがって、これを唯一の基準とする

ことは、学生にとって最適な教育経験を得る機会を不公平に制限することに他なりません。ただ、これについては、客観的な評価指標の1つであることも理解しております。次に、選抜される人数を10名に限定する根拠についても疑問が残ります。学生課のキャパシティの問題との説明を受けましたが、あまりに限定された数ですし、なぜ10名なのか、その数字がどのように決定されたのかについての透明な説明が欠けています。全学生が公平に高い水準の教育を受ける権利が保障されるべきですが、この制限により多くの学生が価値ある学びの場から締め出されてしまうこととなります。さらに、このような重要な方針の変更が5年生になってから突然伝えられたことも問題です。学生が自らのキャリアパスを計画し、それに必要なスキルや知識を身につけるためには、事前に情報を知ることが不可欠です。進行中の学年でルールが変更されることは、私たちの学習計画やキャリアへの準備に影響を及ぼします。以上の点から、私たち学生は選抜基準の見直しと、その選抜人数の根拠となる明確な説明、そして将来的な方針変更がある場合は早期に情報提供することを強く求めます。教育の機会はすべての学生に平等に与えられるべきであり、私たちはその機会を公正に得ることができる環境を望んでいます。貴重な時間を割いてご一読いただき、誠にありがとうございます。この件についてのご対応を心よりお待ちしております。

#### 不満と回答した者が記載した主な理由

- 基準が不明瞭。
- 再生医学の内容のどのあたりが医学に直結したのかが、理解できない範囲が多いです。
- 試験で何を間違ったのかがわからない。
- 時間に対して試験範囲が広すぎて努力してもなかなか良い評価に繋がらない。記憶力の良い人などしか評価されないように感じる。
- 講義に出席せずに過去問研究をして優秀な成績を修める学生が多い。

### その他と回答した者が記載した主な理由

- どのように採点されたのかわからないので、何とも言えない。

#### 【看護学科】

看護学科	2年	3年	4年	合 計	
回答者数	21	26	17	64	100.0%
満足	6	2	6	14	21.9%
おおむね満足	10	21	11	42	65.6%
やや不満	4	3		7	10.9%
不満	1			1	1.6%
その他				0	

### 満足と回答した者が記載した主な理由

- 自分の成果と評価が合っていた。
- 概ね予想通りの成績であったため。
- 努力に応じた成績であるから。
- レポートや試験結果から適切に評価されていると感じるため。

### おおむね満足と回答した者が記載した主な理由

- 質問が的確だから。
- 正当な評価であったから。
- 不満を持つようなことがなかったから。
- もっと成績がよくてもいいはずだという科目があったから。
- 実習の評価が低かったため。
- 点数開示のない教科もあるため。
- 基準が明確である。

- テストがある教科は評価に納得できるが、レポートを提出する教科はどのように評価を付けられているか分からないから。
- 努力に見合った成績では無い科目が多くあった。
- 試験の点数が開示されないため、予想と異なった成績評価の場合がある。
- まだ上の評価を取れた授業科目もあったため。

#### やや不満と回答した者が記載した主な理由

- 順位を出して欲しい。
- 基準が不明な科目がある。
- 努力したが、思っていたよりも低かった。
- 自分の努力が足りず目標の GPA を取れなかったから。
- レポートのみの評価で配分がわからない。
- 出席率があまり反映されない。
- 試験の点数がわからないから。

#### 不満と回答した者が記載した主な理由

- 学校に来ていなくても出席になっている生徒がいるから。

設問 68 試験の範囲や問題の難易度（最も適切であった科目と改善を要する科目、その理由）

設問 69 レポートの課題や分量（最も適切であった科目と改善を要する科目、その理由）

設問 70 評価方法や評価基準（最も適切であった科目と改善を要する科目、その理由）

本報告書においては、上記 3 項目は科目名と人数のみを掲載した。

なお、回答科目は、回答者がこれまでに履修した科目全てを含む。

記載された理由は、それぞれ担当教員に通知した。

設問 68 試験の範囲や問題の難易度

数字は科目を選んだ人数を示す。

学年	最も適切であった科目	改善を要する科目		
<b>医学科</b>				
2 年	分子生物学基礎	9	数理科学 I（解析）	10
	基礎物理化学	4	数理科学 II（線形代数）	4
	基礎人体機能構造学	4	物理学概論	4
	細胞生物学基礎	3	基礎人体機能構造学	2
	物理学基礎	2	フランス語	1
	細胞生物学	2	ドイツ語 II	1
	英語 II	1	人文地理学	1
	物理学	1	文化人類学	1
	基礎有機化学	1	分子生物学基礎	1
	人文地理学	1		
	哲学概論	1		
	数理科学 II（線形代数）	1		
	解剖学	1		
	医学概論	1		
	中国語	1		
	3 年	核酸・病態生化学	15	発生学
臓器生理学 II		10	核酸・病態生化学	8
人体解剖学		5	臓器生理学 I	5
代謝生化学		3	神経科学	5
生化学序論		2	神経生理学	3

	中国語言語文化研究	1	医学英語	1
	臓器生理学 I	1	生化学序論	1
	細胞生理学	1	代謝生化学	1
	臓器生理学実習 II	1	生物学実習	1
	発生学	1	人文地理学	1
	医系物理学	1	神経形態学	1
	ドイツ語圏言語文化研究	1	芸術学	1
	薬理学	1	循環器系	1
	確率・統計	1	人体解剖学	1
	組織学	1		
	附属病院体験実習	1		
4 年	薬理学	5	再生医学	6
	循環器系	4	核酸・病態生化学	4
	血液と造血臓器系	3	医学英語	3
	代謝生化学	2	発生学	3
	核酸・病態生化学	2	歯科口腔系	2
	微生物学	1	耳鼻・咽喉系	2
	哲学入門	1	皮膚・結合組織系	1
	物理学実習	1	病態発生学 I	1
	内分泌・代謝系	1	行動科学応用	1
	腎・尿路系	1	行動科学基礎	1
	歯科口腔系	1	先端医科学	1
	研究室配属	1	精神系	1
	眼・視覚系	1		
	腫瘍学	1		
	免疫学	1		
5 年	腎・尿路系	2	成長・発達系	1
	消化器系	1	発生学	1
	OSCE	1	核酸・病態生化学	1
	救急・家庭医療学	1	精神系	1

6年	細胞生物学基礎	2	代謝生化学	1
	医学英語	1	発生学	1
	救急・家庭医療学	1	日本語表現法・アカデミックライティング	1
	循環器系	1	数理科学 I (解析)	1
	細胞生物学基礎	2	文化人類学	1
	医学英語	1	代謝生化学	1

注 1) 網掛けは「特に良かった科目」と「改善してほしい科目」の両方に掲げられている科目を示す。

数字は科目を選んだ人数を示す。

学年	最も適切であった科目	改善を要する科目		
<b>看護学科</b>				
2年	解剖生理学	5	生物学	4
	基礎看護技術	2	生命活動の物理学	2
	基礎看護技術演習 I	2	病理学	2
	感染症学・免疫学	2	情報科学	1
	中国語 a	1	ドイツ語	1
	医学概論	1	英語実習 I a	1
	生物学	1		
	フランス語	1		
	生命活動の化学	1		
看護過程演習 I	1			
3年	生化学・栄養学	2	診断と治療 I	3
	在宅看護学概論	2	地域保健看護学	2
	小児保健看護学各論	1	保健統計学	1
	母性看護学実践論	1	アカデミック・スキル	1
	中国語	1	母性看護学実践論	1
	地域ケアシステム論	1	環境保健学	1
	解剖生理学 I	1		
	老年保健看護学各論	1		

4年	基礎看護	1	薬物治療学	1
	精神保健看護学演習	1	哲学	1
	助産診断・技術学 I	1		
	成人保健看護学演習 II	1		
	解剖生理学 I	1		
	医療英語	1		
	基礎看護	1		

注 1) 網掛けは「特に良かった科目」と「改善してほしい科目」の両方に掲げられている科目を示す。

### 設問 69 レポートの課題や分量

数字は科目を選んだ人数を示す。

学年	最も適切であった科目	改善を要する科目		
<b>医学科</b>				
2年	哲学特論	4	文化人類学	8
	医学概論	3	医学概論	2
	人文地理学	3	数理科学 I (解析)	1
	数理科学 I (解析)	2	日本語表現法・アカデミックライティング	1
	文化人類学	2	基礎人体機能構造学	1
	物理学基礎	2	医学特論・医学・生命科学入門	1
	哲学入門	2	自然科学入門(生物)	1
	細胞生物学	1	医学概論 I	1
	中国語	1	数理科学 II (線形代数)	1
	物理学概論	1	化学実習	1
	情報科学	1	地域論	1
	哲学	1		
	分子生物学	1		
	医学特論・医学・生命科学入門	1		
3年	代謝生化学	9	神経科学	4
	代謝生化学実習	3	臓器生理学実習 I	3
	確率・統計	3	文化人類学	2
	臓器生理学 II	2	芸術学	2
	行動科学基礎	2	地域文化論	1

	生化学序論	2	発生学	1
	臓器生理学 I	1	臓器生理学実習 II	1
	附属病院体験実習	1	行動科学	1
	倫理学	1	情報科学	1
	医学概論	1	代謝生化学	1
	文学	1	神経解剖学	1
	哲学特論	1	核酸・病態生化学実習	1
	人体解剖学	1	生化学序論の前半	1
	核酸・病態生化学	1	生化学序論	1
	核酸・病態生化学実習	1	行動科学基礎	1
	法学	1	核酸・病態生化学	1
	解剖	1		
4 年	行動科学応用	7	研究室配属	3
	研究室配属	2	再生医学	2
	診断学序論	2	行動科学応用	2
	倫理学	1	医の倫理 I	2
	人体解剖学	1	薬理学実習	1
	文学	1	腫瘍学	1
	微生物学	1	医の倫理 III	1
	代謝生化学実習	1	医の倫理	1
	腫瘍学	1	病態発生学 I	1
	再生医学実習	1	先端医科学	1
	微生物学実習	1	発生学	1
	薬理学	1	病理学	1
	代謝生化学	1		
	薬理学実習	1		
5 年	脳神経内科	1	外科 A	1
	医の倫理 III	1	発生学	1
6 年	救急・家庭医療学	1	文化人類学	2
	核酸・病態生化学	1	公衆衛生学	1
	臨床実習(ローテーション)	1	基礎人体機能構造学	1
	細胞生物学	1	代謝生化学	1
	循環器系	1		

注 1) 網掛けは「特に良かった科目」と「改善してほしい科目」の両方に掲げられている科目を示す。

数字は科目を選んだ人数を示す。

学年	最も適切であった科目	改善を要する科目
<b>看護学科</b>		
2年	医療社会学 3	生涯発達論 4
	中国語 3	看護過程 1
	フランス語 1	基礎看護学 1
	運動科学実践 1	基礎看護学実習Ⅰ 1
	基礎看護技術演習Ⅱ 1	情報科学 1
	看護技術演習Ⅱ 1	基礎看護技術Ⅰ 1
	解剖生理学Ⅰ 1	基礎看護技術Ⅱ 1
	解剖生理学 1	生命活動の物理学 1
	アカデミック・スキル 1	アカデミック・スキル 1
	看護過程Ⅰ 1	
3年	看護技術 1	環境保健学 2
	病態生理学特論 1	社会福祉・社会保障論 1
	在宅看護学概論 1	地域保健看護学 1
	医療社会学 1	臨床心理学 1
	老年保健看護学各論 1	看護過程 1
	環境保健学 1	生涯発達論 1
	中国語 1	
	中国語 a 1	
4年	在宅看護学演習 1	中国語 a 1
	医療英語 1	

注1) 網掛けは「特に良かった科目」と「改善してほしい科目」の両方に掲げられている科目を示す。

設問 70 評価方法や評価基準

数字は科目を選んだ人数を示す。

学年	最も適切であった科目	改善を要する科目		
<b>医学科</b>				
2年	分子生物学基礎	7	数理科学 I (解析)	4
	細胞生物学基礎	5	情報科学	2
	中国語	2	数理科学 II (線形代数)	2
	人文地理学	2	情報	1
	英語 II	1	人文地理学	1
	基礎有機化学	1	英語実習	1
	英語実習	1	哲学	1
	医学概論	1	基礎物理化学	1
	物理学概論	1	全人的医療体験学習	1
	英語 I	1	英語実習 I	1
	物理学実習	1	物理学実習	1
	文化人類学	1	数理科学	1
			全人的医療体験学習 I	1
		医学特論・医学・生命科学入門	1	
3年	核酸・病態生化学	15	発生学	3
	代謝生化学	3	核酸・病態生化学	3
	人体解剖学	2	神経科学	2
	組織学	2	再生医学	1
	臓器生理学 II	2	行動科学	1
	確率・統計	2	臓器生理学 II	1
	薬理学	1	臓器生理学 I	1
	医学概論	1	人体解剖学	1
	ドイツ語圏言語文化研究	1	神経生理学	1
			生化学序論	1
		医学英語	1	
		数理科学 II (線形代数)	1	

4年	皮膚・結合組織系	4	筋・骨格系	4
	行動科学応用	2	再生医学	4
	核酸・病態生化学	1	発生学	2
	免疫学	1	耳鼻咽喉系	1
	眼・視覚系	1	臓器生理学 I	1
	薬理学	1	薬理学	1
	医の倫理 I	1	歯科口腔系	1
	腫瘍学	1	医学英語	1
	循環器系	1		
	人体解剖学	1		
	呼吸器系	1		
5年	救急・家庭医療学	2	発生学	1
6年	細胞生物学基礎	2	日本語表現法・アカデミックライティング	1
	臨床実習(ローテーション)	1	早期体験学習	1
	耳鼻・咽頭系	1	歯科口腔系	1
			核酸・病態生化学	1

注 1) 網掛けは「特に良かった科目」と「改善してほしい科目」の両方に掲げられている科目を示す。

数字は科目を選んだ人数を示す。

看護学科				
2年	解剖生理学 II	2	中国語 b	1
	解剖生理学 I	2	生涯発達論	1
	解剖生理学	2	基礎看護技術	1
	生命活動の化学	2	スポーツ科学実践	1
	看護過程	1	歴史学	1
	スポーツ科学実践	1	基礎看護学	1
	中国語	1	看護学概論 II	1
	英語 I b	1	アカデミック・スキル	1
			看護学概論 I	1

3年	診断と治療 I	1	地域保健看護学	1
	地域ケアシステム論	1	保健統計学	1
	疫学	1	環境保健学	1
	生化学・栄養学	1		
4年	解剖生理学 I	1	薬物治療学	1
	助産診断・技術学 I	1	ランダム現象の数理	1
	成人保健看護学演習 II	1		

**設問 71 特に、印象に残っている科目は何ですか。**

特に印象に残っている科目および理由は、上位2あるいは3科目のみ本報告書に掲載した。

回答のあったすべての科目および理由は、それぞれ担当教員に通知した。

特に良かった科目として上位に挙げられた科目および主な理由

医学科	
科目名	「核酸・病態生化学」、「人体解剖学」、「医学概論」
理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幅広い知識が身に付いた。</li> <li>● 試験が難しいと聞いていたため学修の習慣がついた。</li> <li>● 量が多く理解に時間がかかる内容だったため、大変だったから。</li> <li>● 他の科目でしっかり扱われなかった分野のキャッチアップが充実していたから。</li> <li>● 一番学んだ量が多かったから。</li> <li>● 難しい科目ではあったが、全ての科目の基礎になっているから。</li> <li>● 人体について詳しく学ぶことができたから。</li> <li>● 初めての体験で時間もかけた分、印象に残った。</li> <li>● 入学してすぐに人体の神秘、素晴らしさを目の当たりにした授業であった。</li> <li>● 貴重な経験だった。</li> <li>● 医師になる上で役に立ったから。</li> <li>● 医学の基礎となる部分をしっかり学べたから。</li> <li>● 向所先生の話が面白かった。</li> <li>● 日々のレポートを評価してもらったため。</li> <li>● 医療のことに対する知見が深まったから。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 専門家の方たちから、様々な分野の知識を教えていただいたから。</li> <li>● 様々な職種の人の話を聴くことが出来た。</li> </ul>
	<b>看護学科</b>
科目名	「医療社会学」、「スポーツ科学実践」
理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この先の人生の糧になる考え方を学べた。</li> <li>● 授業が楽しかった。</li> <li>● 授業が面白かった。</li> <li>● 授業中の話が非常に印象に残っているため。</li> <li>● 色々なスポーツが体験できて楽しかったから。</li> </ul>

改善してほしいとする科目の主な理由

<b>医学科</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● それが何の役に立つ? と思ってしまった。</li> <li>● 講義の内容とレジュメが分かりにくかった。</li> <li>● あまりよくわからない形で終了した気がしたから。</li> <li>● ほとんど説明がされていない範囲から出題されたり、重要な部分がよくわからないため。</li> <li>● 評価が曖昧かつ理不尽だった。</li> <li>● 内容がほとんど再生医学に関係がなく、全体を通して担当教員により内容が全く異なりまとまりがなかった。</li> <li>● テストで授業でやっていない物理の知識を要求される問題が出た。物理選択の人は解けていたようだが、類似の問題を1年次の物理でやっていないので生物選択にはどうしようもなかった。せめて授業でやっているものを出して欲しい。</li> </ul>

- 難易度が高い。
- 余りにも短期間に、大量の知識を覚えることを強要される。講義を隔週にして欲しい。

#### 看護学科

- レポートが分かりづらい。
- 教員の態度が気になった。
- 課題の条件が細かくとても大変だったから。
- 先生の言い方によって萎縮してしまうときがある。こちらができる、知識がある前提で進む。また、できない人が多くいると思われるが、授業ペースや内容は変わらない。

**設問 72 特に、印象に残っている教員は誰ですか。**

印象に残っているとして挙げられた教員および理由の詳細は、本報告書には掲載しないが該当教員には通知した。

印象に残っている主な理由としては、以下のとおりである。

医学科
<ul style="list-style-type: none"><li>● 熱心に教育いただけ、わかりやすかった。</li><li>● しっかり生徒を見てくださっていた。</li><li>● 研究室配属や医学英語の発表準備で、とても丁寧にご指導いただき、大変お世話になりました。</li><li>● 解剖学、医学英語などでお世話になったが、わかりやすく優しく教えていただいたから。また先生方の中でも質問しやすい雰囲気を出してくださっていたから。</li><li>● 質問に丁寧に答えていただけるから。</li><li>● 授業の目的が明確でわかりやすかった。</li><li>● 授業とレジュメがとてもわかりやすく、勉強になったから。</li><li>● 系統だった論理的かつ明快に生理からの病理に繋げて講義をされていた。言葉遣いも丁寧であつた。</li><li>● 再試験前に丁寧に対応していただいたから。</li><li>● どこまでも学生想いの先生で、授業も熱がこもっていて、この先生なら信頼できると感じた。</li><li>● 留年した際に親身に相談に乗ってくださったから。</li><li>● 医療観に影響を受けた</li><li>● 学生の気持ちに寄り添い、モチベーションが上がるような言葉をたくさんかけてくださったから。</li><li>● 講義が丁寧でわかりやすかったから。</li><li>● 学生が発言しやすい雰囲気を意識的に作ってくださったから。</li></ul>

- 学生を一人一人覚えている。
- トラブル時に助けてくださった。
- 実習中の講義で、学生の苦手なところを理解した上で、基礎的な機序から病気のことを教えていただき、非常にわかりやすかった。
- 難しい範囲にも関わらず、授業内容が理解しやすかったため。
- 講義内容・授業が非常に興味深かった。
- 講義がわかりやすく、質問に対する回答も丁寧ですばらしい。
- 厳しいけど優しい。
- 授業がわかりやすいので、テストが大変でも頑張ろうと思ったから。
- 授業内容がわかりやすかった。試験が厳しかった。
- 留年者を毎年輩出している。
- 知識も豊富で、質問に対してもわかりやすい回答を得られたから。
- 講義が明瞭で軽快だった。
- 授業がわかりやすく、また医師としての考えに感銘を受けたからです。
- 講義中に語る追加の情報が興味深い。
- 単なる知識ではなく生理学の考え方を教えてくださったから。
- 黒板を用いた講義は、非常に教育的なものだった。ほぼゼロから講義を説き起こす様子はさながら名人芸だった。
- 実際に先生が見られたことを交えて教えていただけた。
- 臨床の経験をわかりやすく話してくれたため。
- 実習や授業後に分からない点を質問すると丁寧に教えてくださったから。
- 常に柔らかい物腰で生徒らに接していたのが印象的だったから。

## 看護学科

- 優しく教えてくれた。
- 試験が難しすぎる。
- 生徒への注意の仕方がその人を傷つける言い方だと感じる。自分も指摘を受けたことがあるが、他の言い方がなかったのかと思う。
- 実習や授業で支えてくださったから。
- 授業や実習、個別の相談など様々な場面でサポートを受けたため。
- 実習の担当の先生だったが、私と患者さんの両方のことを熱心に考えてくれる先生だったから。
- とにかくわかりやすい上に、授業が面白かった。
- 実習時、相談しやすい的確なアドバイスをくださったため。
- 話が印象に残っている。興味深い話をされていた。
- すごく良い話をたくさん聞かせてくださったから。
- 考える引き出しが増える授業だったから。
- 毎回とてもおもしろく、ためになる授業であったから。もう一度受けたいと思うほど。
- 助産師として必要な知識だけでなく必要な態度や声の掛け方、寄り添い方まで学ぶことができるから。
- レジメに沿った授業の中でもご自身の経験や考え、女性という性別への理解や課題などといった話があり、興味を持って集中して講義を聞くことができたため。
- 講義が非常に面白く助産の魅力が伝わってくるから。

### 設問 73 本学に対する満足度と主な理由

#### 【医学科】

医学科		2年	3年	4年	5年	6年	合 計	
回答者数		53	60	54	13	34	214	100.0%
教 育 内 容	満足	10	12	13	2	3	40	19.1%
	おおむね満足	33	39	33	10	26	141	67.5%
	やや不満	4	6	4	1	5	20	9.6%
	不満		2	2			4	1.9%
	わからない	2	1	1			4	1.9%
	未記入	4		1			5	

医学科		2年	3年	4年	5年	6年	合 計	
回答者数		53	60	54	13	34	214	100.0%
共 学 用 修 施 環 境	満足	17	5	10	2	4	38	18.4%
	おおむね満足	19	37	19	3	19	97	47.1%
	やや不満	10	13	17	6	11	57	27.7%
	不満	2	5	4	1		12	5.8%
	わからない			1	1		2	1.0%
	未記入	5		3			8	

医学科		2年	3年	4年	5年	6年	合 計	
回答者数		53	60	54	13	34	214	100.0%
学 生 支 援	満足	13	12	13	4	2	44	21.2%
	おおむね満足	26	29	23	5	25	108	51.9%
	やや不満	3	4	10	2	2	21	10.1%
	不満		1	2	1	3	7	3.4%
	わからない	6	14	5	1	2	28	13.5%
	未記入	5		1			6	

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。

## 【教育内容】

### 満足と回答した者が記載した主な理由

- 大学側から学生に働きかけようとしてくれていることが伝わるから。
- 勉強する環境が整っているため。
- バランスが良く、分かりやすい講義が比較的多いから。また、試験範囲以外でも経験談などを話してくださる教員の方も多く、楽しんで講義を受けられているため。
- 全ての科目が対局的には、「全人的な医療を患者さんに提供する」という一貫した目的に向かっていながら、それぞれが多様な価値観を醸成する方向性を持っていて、受講するにあたって安心感があった。
- 他の大学に行きたい、滋賀医大を辞めたいと思わないからです。
- 出席を強要するような授業が少ないため。
- カリキュラムが充実しているし、先生方も熱心に教えてくれている。
- 想像通りの学生生活を送れているから。
- 復習するときに講義録画を再視聴することで、理解が深まる教育環境を整えているから。
- やり方が不明な場合もあるが、試行錯誤でどうにかなるから。
- 内容がとても興味深いため。

### おおむね満足と回答した者が記載した主な理由

- 少し分かりにくいところがある。
- 医師になるのに必要な事項について勉強しているという実感があるから。
- 重要なものとそうでないものの濃淡がついているとありがたいです。
- 講義のバランスが取れているため。
- 概ね学びたい事項を学べている。

- 試験勉強が過去問ありきで行わないと追いつかない状況はつまらないとは思いますが、特別問題は感じないから。
- 教育に関しては手厚いと思う。
- 基礎をしっかり学べるから。
- 一部厳しすぎる先生がいるから。
- ある程度、学修について学生に委ねてくれているから。
- 少しずつ専門的な知識が身に付き、医師に近づけているように感じます。
- 授業のシステムなどにおいて、他の大学の話を聞いてもこの大学で良かったなと感じることが多いから。
- 授業の録画があるため、自由な時間を持てる。
- 知りたいことがあれば大抵は解決するから。
- 適度に他の活動もできて、勉強にも集中できたから。
- 5年通じて医学を満遍なく学べたから
- 教育熱心な先生方が多く、いつも感謝しておりますが、カリキュラムや日程が改善されるとありがたいと思う箇所が少しあるからです。
- 少し基礎教養科目の割合が多く、負担も大きかったが、新たな学びを得る楽しみが多くあったから。
- ほとんどストレスなく楽しく学校生活を送ることができているから。
- 全体的にはいいと感じているが、教員の授業レベルに差が大きいと感じているため。
- 勉強の習慣が身に付いたから。
- 学力だけでなく、精神的な成長も促すような教育がされていると感じるため。
- 一般教養に費やす時間(1年生)が多すぎて、2年生以降大変だった。テストスケジュールも無理があるところがあったように思う。

- 実習の班の決め方が不平等であると感じる。同じ班になりたくない人を学生課に言って、実際にその通りにしてもらった人がいると聞いているが、そのようなシステムがあるのならば学年全員に平等に機会が与えられるべきだと思う。また、人間性の部分で医師になるべきではないと思われる学生が実習をしている件について、大学側が対応をしてこなかったのはおかしいと感じる。低学年から同学年にメッセージアプリで罵詈雑言を送りつけるような人間が、実習で患者さんに何をするかかわからないと不安である。また、芸能活動をしている学生がいるが、仕事だからという理由で実習をずる休みしたり、他の班員に迷惑をかけたりしていると聞く。将来の就職活動のためにも実習の休みがほとんどなく苦勞しているというのに、そのようなずる休みが許されているということに不平等さを感じる。
- 国家試験を念頭に適切な質・量の内容であったから。
- 授業については、先生方が熱心に教えてくださり、また、友達同士で勉強をする環境（多目的室）や、自習環境（図書館）が整っていると感じる。しかし、臨床実習の期間が遅いこと、実習期間中の長期休みが短いため、初期研修先を考えるための病院見学に行く時間がとりづらいこと、学外臨床実習で協力病院以外に行ける人数が非常に限られていること、などについては不満を感じる。また、臨床実習において、海外の大学との連携がないことも、やや残念に感じる。他大学において、1カ月～2か月の長期休みが5年生にあること、海外研修において連携校があることなどと比較して、学生がよりよいキャリアを築けるようシステムを改善すべきだと考える。

#### やや不満と回答した者が記載した主な理由

- カリキュラムや講義内容に混乱があるから。
- 出席を取る科目が多い。

- 参加型授業、体験型授業を増やしていただけるとありがたい。
- ペースが早すぎる。
- カリキュラムが他大学と比べ厳しすぎる。
- プログラムの構成が官僚主義的で柔軟性がない。最も怠惰な学生に合わせたプログラムになっており、やる気のある学生の自学自習を損ねる。ただやっておけば良いと言う有名無実なプログラムが多い(面談など)。外病院の時期や実習中の春休み、夏休みの設定など、学生目線のプログラムになっていない。
- 教員によって差が激しい。
- テストによって成績が決まった方が、勉強モチベーションが上がると思う。
- 専門科目の講義がわかりにくかった。先生方は教育者ではないので仕方ない部分もあることはわかっているが、パワポが見にくかったり、理解重視というよりは単純暗記するしかない内容だったりするので、外部教材が無かったら知識を深めることはできなかったと思う。

#### 不満と回答した者が記載した主な理由

- 詰め込みすぎ。
- 一個一個の授業というよりスケジュールに対して非常に不満がある。専門科目が詰め込まれすぎでバランスが悪い印象がある。
- 効果的な医学教育となるように授業をデザインする気がないのではないのかと思うことが多々ある。

## 【学習環境・共用施設】

満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"><li>● 綺麗だから。</li><li>● 規模が小さいにも関わらず非常に整っている。</li><li>● 図書館が 24 時間使用可能だから。</li><li>● トイレが綺麗。</li><li>● 勉強するのに適切な環境(施設やサークルなど)が整っているから。</li><li>● 復習するときに講義録画を再視聴することで理解が深まる教育環境を整えているから。</li><li>● パソコンが多かったり図書館が夜も開いているのがいいと思うから。</li><li>● 図書館や多目的室など、自習環境が整っている。</li></ul>
おおむね満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"><li>● 図書館が 24 時間使えるから。</li><li>● 学修できる環境が多いため。</li><li>● 日常の学修に対して十分な設備であると感じる。</li><li>● 多目的室や図書館等、多様な学習スペースがある。</li><li>● 今改修工事中なので完成に期待しているため。</li><li>● 比較的授業も受けやすい環境だから。しかし、トイレなどが綺麗ではない場所も多く、場所によって差が大きいので、その部分は少し変わってくれたら嬉しいと思います。</li><li>● 食堂の工期が非常に長い。</li><li>● 休憩場所、自販機、勉強スペース、必要なものはおおむね揃っている。ただ食堂や購買の利用時間が短く、値段や質に対する満足感は薄い。食堂や広場がしばらく使えないのは満足感を下げている。</li><li>● Wi-Fi が繋がりにくいことがある。</li></ul>

- 課外活動に関連する共用施設などについては、老朽化しており危険なところも一部あるように感じます。
- 様々な勉強場所を提供していただいているが、もっと簡単に使える勉強場所や学年ごとに割り振った部屋、勉強場所が欲しいから。
- 共用施設が不十分。
- 臨床実習中の学生に行き場がない。
- OSCE 練習期間の実習で備品が足りない時があったので、補充していただけるとありがたいなと思ったからです。
- ラウンジのように友人と会話しながら勉強できる場所もあれば、図書館のように自分で静かに集中できる場所もあるため。
- 現在工事でとても不便になっているが、工事終了後に期待。

#### やや不満と回答した者が記載した主な理由

- 食堂の改装により、気軽に使えるスペースが減るのではないかと懸念がある。
- 学修できる場所が少ない。
- 必要な施設が不足しているから。
- 基本的には満足だが、今後食堂が使えないことに対する対策はもっと良くしてほしいです。
- 図書館の蔵書数や勉強スペースの制限など、あまり良くないところがある。
- ラウンジのスペースが狭い。
- 食堂など使いにくい。
- 授業の教室が狭く、大変不便。食堂の座席が少ない。改装中、中庭が通れず不便。
- 中庭・食堂の修繕工事をもう少し早く行なって欲しかった。
- 工事中ということもあり、移動がしにくく、リラックスできるスペースが少ないから。
- 敷地が水平方向に広く、移動にやや苦勞するから。

- 自主学习できるスペースが少ない。
- 食堂が空いていない期間が多いから。
- グラウンドの整備、グラウンドのトイレの整備をしてほしい。
- コロナ禍で入学したため施設を使えない期間が長かったのに加え、クリクラがはじまっていざ大学の施設を使用できると思ったら食堂中庭改修工事がはじまった。施設使用機会が少なすぎるため。
- 仕方がないが、工事が多すぎる。
- 静かに勉強できる場所が少ない。
- 学習室の不足、課外活動等で利用できる部屋の不足。
- 自習場所の種類が、少し少ないと感じるため。
- 図書館の自習スペースが少ない。テスト期間は混んでいて勉強する場所がない。実習生(5年)の昼食を食べる場所が欲しい。
- Wi-Fiの繋がりが遅い。
- 建物が汚い。

#### 不満と回答した者が記載した主な理由

- 食堂、トレーニング設備、シャワーがない。
- 設備が汚い。テニスコートを全て修繕して欲しい。怪我人が出る。
- 生協食堂がひどすぎます。いつまで人手不足を言い訳にしているのか、理解に苦しみます。適切な食堂運営ができていなくとも学生相手だから別に構わないと考えているのではないかと感じます。あまりに酷く、昼食を食べない習慣ができました。
- とにかく狭い。あと色々と融通の効かないことが多い。
- 臨床講義棟と福利棟が遠い。
- お昼ご飯の選択肢が少なく、楽しみがないから。
- 設備が充実していない。

## 【学生支援】

満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"><li>● 学生をサポートしようとしてくれているから。</li><li>● 非常に融通を利かせて様々な事項に対応してくださっているから。</li><li>● 給付型奨学金を承認してくれたから。</li><li>● 色々支援していただいていると思います。</li><li>● 学生課の方が丁寧に対応してくださるから。</li><li>● 学修しやすい環境だと考えるため。</li><li>● 学生一人ひとりに手厚い支援をされているから。</li><li>● 学生課の方が非常に親切である。</li><li>● カウンセリングを利用した。</li></ul>
おおむね満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"><li>● 福利棟なども使うから。</li><li>● 学生課に行けば、おおよそのことはわかるようになっているため。</li><li>● 設備やサポートが十分であると感じる。</li><li>● 時々連絡が遅いこともあるが、しっかりと学生支援してくださっている。</li><li>● 少し対応の遅い時がある。</li><li>● 相談できる場所の提示がされているから。</li><li>● 奨学金の学内選抜制度が不明瞭に感じる人が多いです。</li><li>● 学割など色々な面で対応が早いから。</li><li>● Q アシストを安くしてくれる。</li><li>● テスト期間が不適切なところがあったから。</li><li>● メールでお知らせしてくれるから。</li><li>● 満足であるがそこまで学生支援を利用しておらず、そこまで知らないから。</li></ul>

- 学生を支援するための取り組みについて、メールなどで積極的に呼びかけているから。
- 課外活動の支援は手厚いが、学業の支援には不十分なところがあるため。
- 聞きたいことがある場合に聞けばすぐ対応していただけるから。
- 一部対応に不満を感じることもあるため。
- 分からないことがあれば、気さくに教えていただけるため。
- 困ったことがあった際に概ね迅速に対応してくださったから。

#### やや不満と回答した者が記載した主な理由

- 具体的に良い対応や支援を受けられた記憶がないから。
- 連絡が遅いと感じる時がある。
- 学生課の職員の対応が悪いことがある。
- 職員と接していて、学生相手だから適当なのでは？と思う時がある。
- 学生課と連携が取れていないように思う。
- 支援がわかりにくいため。
- 病院実習や課外活動への金銭的支援がもっと欲しい。
- 講義録画を再視聴できる状況になるまで時間を要するから。
- 先輩から、大学の教育活動の中で困っていることがあり大学側に相談しているのに有効な対応をしてもらえないという話を聞いており、今後自分がそういう状況になっても対応してもらえないと思うと、不安ですし残念です。大学は、態度が悪い人に甘い印象ですが、そのせいで真面目な人が不利益を被っていることをわかってほしいです。
- 学生に対しての個別の面談などが行われていない。健康診断でメンタルの面のものが行われていない。
- 病院見学に行けない。
- 臨床実習や学外臨床実習のシステムにおいて、複数の改善の余地があると思う。

### 不満と回答した者が記載した主な理由

- 給付型奨学金の少なさや、高等教育の就学支援新制度の対象外者に対する支援がないため。
- 成績評価に関してミスがあったから。
- 6年の学外臨床実習は必修の実習であるにもかかわらず、交通費・宿泊費等の補助が無いのは納得がいかない。実習先の決定作業を学生サイドに丸投げにしているのもどうかと思う。

【看護学科】

看護学科		2年	3年	4年	合 計	
回答者数		21	27	19	67	100.0%
教 育 内 容	満足	5	2	6	13	20.0%
	おおむね満足	12	23	13	48	73.8%
	やや不満	1			1	1.5%
	不満	1	1		2	3.1%
	わからない	1			1	1.5%
	未記入	1	1		2	

看護学科		2年	3年	4年	合 計	
回答者数		21	27	19	67	100.0%
共 学 用 修 施 環 設 境	満足	8	4	3	15	23.8%
	おおむね満足	6	13	9	28	44.4%
	やや不満	3	8	6	17	27.0%
	不満	1			1	1.6%
	わからない	1		1	2	3.2%
	未記入	2	2		4	

看護学科		2年	3年	4年	合 計	
回答者数		21	27	19	67	100.0%
学 生 支 援	満足	7	4	6	17	26.6%
	おおむね満足	8	15	5	28	43.8%
	やや不満		2	2	4	6.3%
	不満					
	わからない	5	4	6	15	23.4%
	未記入	1	2		3	

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。

【教育内容】

満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 丁寧で内容の濃い指導をしていただいたから。</li> <li>● 国家試験に向けてだけでなく、看護師として働く上でのスキルや大切なことを十分に学ぶことができているから。</li> <li>● 救済措置も手厚く指導も充実していたと思うから。</li> </ul>

- 多くのことを学ぶことができた。
- 専門知識を身に付けることができると感じるため。

#### おおむね満足と回答した者が記載した主な理由

- 理念を知らずに勉強していたから。
- 先生によって授業への参加態度が左右されることがある。
- 専門科目の水準が高いと感じるため。
- 教員の情報共有をもう少ししてほしい。
- 一部の評価に不満があったから。
- 教員の質にばらつきがある。
- 1年生では、看護に関する専門的なこととともに、言語や物理など一般教養も一緒に学ぶことができたから。
- 成績評価がよくわからないものがある。
- 海外留学制度もないし、もっと自由な授業でも良いと思ったから。
- 看護師となるために必要なことを学んでいると感じているため。
- 内容は素晴らしいと感じるが、講義が淡々としていて興味がわからないから。
- 講義の受講順序を見直して欲しい。講義の中で知らない知識を求められることが何度かあった。
- 良い雰囲気を感じているから。
- 授業だけでなく試験を実施することで、自分の理解度も測れるため。

#### やや不満と回答した者が記載した主な理由

- つまらない。

#### 不満と回答した者が記載した主な理由

- 単位を1つ落としたり、出席していても留年になるのは酷い。

## 【学習環境・共用施設】

満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"><li>● 図書館で勉強しやすい。</li><li>● 学修できるラウンジや図書館の環境が良い。</li><li>● 綺麗に保たれているため。</li><li>● それぞれが好きに過ごせる。</li></ul>
おおむね満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"><li>● 周りにお店などが無さすぎる。</li><li>● 購買をもっと充実させてほしい。</li><li>● 看護棟が狭くて、暗いから。</li><li>● 看護棟も一般教養棟のように綺麗だったらいいなと思ったから。</li><li>● 不便なことなく、過ごせているから。</li><li>● 基本的には満足しているが、工事期間が長く利用可能な範囲に制限があるため。</li><li>● たまに周りがうるさくて勉強に集中出来ない時があるから。</li><li>● 多目的室が良い。</li><li>● B棟が全体的に暗く、特に勉強後や部活後など夜間に帰宅する際に電気が付くまで真っ暗な状態であるため、少し怖く感じます。</li></ul>
やや不満と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"><li>● 学食が今使えない。</li><li>● コピーのポイントが少ない。</li><li>● 換気されすぎていて寒い。</li><li>● 食堂の席数が足りていない。</li><li>● B棟は薄暗いから。</li><li>● 図書館が看護棟から遠すぎる。</li></ul>

- 自転車置き場やラウンジ、学食が学生数に対して狭いと感じるため。
- ほとんどの施設が B 棟から遠い。
- 食堂が使えない、1 つしかないため値段が高い。
- 工事で不便。
- 設備が不十分な部分がある。
- 生協以外も欲しい。
- 看護棟 1 階の設備が古い。

**不満と回答した者が記載した主な理由**

- 看護棟が暗いし、A に向けた設備が充実してる。

## 【学生支援】

満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"><li>● 手厚く、真摯に対応して下さるため。</li><li>● 質問しやすいから。</li><li>● 必要な手続きについて丁寧に対応してくださっているため。</li><li>● 奨学金で経済的に助かっているから。</li><li>● 必要な情報は随時メールで確認することができるため。</li></ul>
おおむね満足と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"><li>● 学生課の人が少し怖いから。</li><li>● 一人一人をちゃんと見てくれるから。</li><li>● 良いと感じるため。</li><li>● 学生を支援する制度をもう少しわかりやすく具体的に教えてほしい。</li></ul>
やや不満と回答した者が記載した主な理由
<ul style="list-style-type: none"><li>● 就職活動に対する支援があまり無い。</li><li>● コピーのポイントを増やして欲しい。</li><li>● 就職支援が少ない(キャリアセンターのようなものがないのでどこに相談したらよいかわからない)。日程を通知するのが遅い(就活講座などスクールカレンダーに載っていないイベントはもっと早く教えてほしい。可能ならバイトのシフトを出す前に知りたいので、1ヶ月半～2ヶ月前には通知してほしい)。</li></ul>

## 設問 74 「授業評価実施報告書」

医学科	2年	3年	4年	5年	6年	合 計	
回答者数	53	60	54	13	34	214	100.0%
印刷物で読んだ	2	1	2	1	3	9	4.4%
ホームページで見た	3	8	8	1	5	25	12.1%
知っているが内容は見ていない	13	19	14	5	11	62	30.1%
知らない	30	31	29	6	14	110	53.4%
未記入	5	1	1		1	8	

看護学科	2年	3年	4年	合 計	
回答者数	21	27	19	67	100.0%
印刷物で読んだ					0.0%
ホームページで見た		3		3	4.5%
知っているが内容は見ていない	2	7	5	14	20.9%
知らない	17	15	14	46	68.7%
未記入	2	2		9	13.4%

注) %は、回答者数から未記入者を除いたものを母数として算出した。

### 感想・意見

- 存在を知らなかった。
- 学生ではなく、先生方が閲覧するためのものという認識である。
- 実際は先輩などに聞く方がはるかに役にたつ。授業改善にどう活かされたかについて、教員から話があれば興味を持つかもしれない。
- 見たことがないので見ようと思った。
- 評価基準や評価の目標が抽象的すぎる。評価者の能力や医学教育に関する実績についても不明瞭。形骸化して官僚主義的な「仕事のための仕事」に成り下がる可能性が高いと思う。  
しかし、教育内容に関して外部からの視点があることは大事だと思う。形骸化しないような仕組みづくりが重要と考える。
- 成績にしめるテストの割合を増やして欲しい。
- 良い仕組みだと思います。
- 流出がまずいのはわかるが、もっと見やすいところに置いて貰えないと読もうと思わない。
- 受験大学の選定に参考になった。

- 他の人も同じことを思っているのだなと思った。
- 授業評価自体、学生が本当に授業に対して感じていることを汲み上げられていないと思う。  
期待感はない。
- 存在を知らない学生が多いためもっと広報したほうが良いと思う。
- テスト（定期試験）終了後に授業評価アンケートを行って欲しい。試験の出題内容が講義  
内容と一致していないことが多々ある。

2024 年度

学修・学生生活実態調査

# 自由記述編

---

自由記述編については、学生から提出された大学への意見・要望と、関係部署からの回答を掲載しました。今回提出された意見・要望は、大学の改善についての真摯な提案が数多く見受けられました。学生諸君からは今後ともボトムアップ型の組織改革に繋がるような、建設的で積極的な意見を期待しています。

<b>1 講義（出席の扱い）について</b>
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出席を取る科目が多い。</li> </ul>
回答：学務課
<p>全ての授業について言えることとして出席は単位認定を受けるうえで、当然の前提となっています。成績評価が最終の試験で決まる授業もありますが、成績評価に影響がないからといって授業に出なくてもよいということではないことをご理解ください。</p>

<b>2 カリキュラム、授業科目、時間割について</b>
学生からの意見
<p><b>【医学科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般教養に費やす時間(1年生)が多すぎて、2年生以降大変だった。テストスケジュールも無理があるところがあったように思う。</li> <li>● 試験日程を調整するなど、カリキュラムに対して学生の意見を反映させることができればいいと思います。</li> <li>● カリキュラムや講義内容に混乱があるから。</li> <li>● 参加型授業、体験型授業を増やしていただけるとありがたい。</li> <li>● ペースが早すぎる。</li> <li>● 一個一個の授業というよりスケジュールに対して非常に不満がある。専門科目が詰め込まれすぎてバランスが悪い印象がある。</li> <li>● 専門科目の講義がわかりにくかった。先生方は教育者ではないので仕方ない部分もあることはわかっているが、パワーが見にくかったり、理解重視というよりは単純暗記するしかない内容だったりするので、外部教材が無かったら知識を深めることはできなかったと思う。</li> </ul> <p><b>【看護学科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 講義の受講順序を見直して欲しい。講義の中で知らない知識を求められることが何度かあった。</li> </ul>
回答：学務課
<p>本学では、第2学次編入制度との関係上、第1学年に多くの基礎医学系授業科目を開講することが難しく、導入科目として「細胞生物学基礎」「分子生物学基礎」「基礎人体機能構造学」を配置しているところです。</p> <p>皆さんの意見をもとに教育課程の改善に努めたいと考えていますので、カリキュラム専門委員会の学生委員を通じて意見の集約を行い、具体的な改善策を模索したいと思います。</p> <p>授業の内容は担当教員の専門分野に依存する可能性があることはご理解いただきたい</p>

と思います。そのうえで授業内容改善に関するご意見は授業評価アンケートにご記載いただけましたら教員とともに改善へ向けて検討を行います。

### 3 単位認定について

#### 学生からの意見

- 学士編入は教養課目の単位を取得したのものとして、英語や第二外国語の単位を改めて取得する必要がないにもかかわらず、再受験入学者において数年（学則で規定する年限）以上前に英語や第二外国語の単位を取得したを本学での単位として認めないということには納得がいきません。50代の学士編入生は英語や第二外国語の単位を取得する必要がなく、30代の再受験入学者には英語や第二外国語の単位を取得する必要があるということになっています。これは不公平極まりないと思います。是正してください。

#### 回答：学務課

再入学者においても、他の大学、短期大学又は大学以外の教育施設において修得した単位等を5科目 10単位までの範囲で卒業に必要な単位として認定できる制度があります。

ただし、申請年度の前5年間に取得した単位に限るなど様々な要件があります。

### 4 遠隔授業について

#### 学生からの意見

- やむを得ない事情などにより対面授業を受けられなくなっても、ズームでも授業が受けれるようにしてほしい。
- せっかく講義を録画しているので他の学年の講義を見たりできるようにしてほしい。

#### 回答：学務課

コロナ禍を経て、遠隔授業のあり方については多々議論があるところです。

「Zoomの方が講義資料を見やすい」、「録画視聴（オンデマンド）が可能だと復習やメモを取りきれなかった所の再度学習がしやすい」などは遠隔授業のメリットであると考えますが、一方で「学生間・学生教員間における同時双方向性が失われやすい」ことは、遠隔授業を運営するうえでの難しいポイントです。そして、同時双方向性が失われた授業は学修効果に悪影響を及ぼす可能性が想定されるほか、学生間の交流が限定的になったり、1日の多くの時間を自宅での学修時間に費やすようになったりすることで、精神的な不調を来す事例が全国的に報告されています。

これらの状況を受け、本学としては、遠隔授業のメリットを主に自主学修に活用した教育体制を構築・提供しているところです。ご理解いただけますと幸いです。

ただ、個別の修学相談にはその都度対応させていただきますので、特別の事情がある場合には学務課までご相談ください。

他学年の講義視聴に関しては検討させていただきます。

## 5 臨床実習等について

### 学生からの意見

- 実習の班の決め方が不平等であると感じる。同じ班になりたくない人を学生課に言って、実際にその通りにしてもらった人がいると聞いているが、そのようなシステムがあるのならば学年全員に平等に機会が与えられるべきだと思う。また、仕事だからという理由で実習をずる休みしたり、他の班員に迷惑をかけたりしていると聞く。将来の就職活動のためにも実習の休みがほとんどなく苦労しているというのに、そのようなずる休みが許されているということに不平等さを感じる。
- 臨床実習の期間が遅いこと、実習期間中の長期休みが短いため、初期研修先を考えるための病院見学に行く時間がとりづらいこと、学外臨床実習で協力病院以外に行ける人数が非常に限られていること、などについては不満を感じる。また、臨床実習において、海外の大学との連携がないことも、やや残念を感じる。他大学において、1カ月～2か月の長期休みが5年生にあること、海外研修において連携校があることなどと比較して、学生がよりよいキャリアを築けるようシステムを改善すべきだと思う。
- OSCE 練習期間の実習で備品が足りない時があったので、補充していただけるとありがたいなと思ったからです。
- 病院実習の期間、実習中の長期休み、学外臨床実習において協力病院以外に行ける学生の人数制限について、改善を求めます。より、学生が病院見学に行きやすく、自分のキャリアについて考えることができる機会を作ることで、より良い人材育成につながると考えます。
- 6年の学外臨床実習は必修の実習であるにもかかわらず、交通費・宿泊費等の補助が無いのは納得がいかない。実習先の決定作業を学生サイドに丸投げにしているのもどうかと思う。
- 臨床実習や学外臨床実習のシステムにおいて、複数の改善の余地があると思う。

回答：学務課

実習の班に関しては公平に決めているところであり、学務課に言えばそのとおりにしてもらえないことはありません。いただいたご意見にあるような行動を取っている学生へ対しては、学生間で注意や指導をしていただいているのでしょうか。同一実習班の一員が医学生として望ましくない行動や振る舞いを行っている場面に遭遇した場合、見て見ぬふりをしたり単に糾弾したりするのではなく、互いに注意をしあい高め合っていることも確固たる倫理観を有する医のプロフェッショナルであると考えます。

もちろん、学生間では手に負えないと感じた場合などは身近な指導教員等へ助けを求めていただければと思います。

長期休みが短いという意見があったことから 2024 年度から夏休みを 1 週間増やすこととなりました。

備品が足りない場合は学務課まで連絡するよう掲示をしておりました。不足しないよう備品を補充するように努めていきます。

学外臨床実習において協力病院以外に行ける学生の人数制限がないことで、協力病院に行く学生が少なくなるという反面があることから制限を設けています。

実習に係る交通費については、大学全体の予算の関係もあり、基本的には受益者負担の原則により、自己負担とさせていただいています。一部は後援会からの支援を受けて交通費の補助を実現していますが、すべての実習において支援をいただくことが難しくなっています。なお、実習に際して交通費等が必要になることは、入学の段階で事前にお伝えするようにはさせていただいております。ご理解いただけますと幸いです。

## 6 成績評価について

### 学生からの意見

- テストによって成績が決まった方が、勉強モチベーションが上がると思う。
- 成績評価がよくわからないものがある。
- 出席を重視ではなくテスト重視に改善するべき。登校しても寝てたり、内職している人がほとんどで出席に意味がないと考える。

### 回答：学務課

成績の評価方法はシラバスに掲載されています。

不明な点は各授業担当教員にお問い合わせください。

また、シラバスへ明記されていないが教員からも説明がなく、また問合せをしても適切に対応されないなどの場合は学務課へ直接お知らせください。

## 7 定期試験について

### 学生からの意見

- 定期テストの難易度が明らかに違和感を感じる科目があるため、再試験者が多い、留年者が多い科目についてきちんと第三者が確認してほしい。

回答：学務課
試験問題の難易度や量が適切であったかについては、今後、学内の委員会等で調査できるかについて検討していきます。

<b>8 アンプロフェッショナルな学生への対応</b>
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人間性の部分で医師になるべきではないと思われる学生が実習をしている件について、大学側が対応をしてこなかったのはおかしいと感じる。</li> </ul>
回答：学務課
<p>本学では、入学試験で個人面接やグループワークを実施して厳格な審査を実施するほか、在学中にも倫理について改めて考える機会を複数有しています。</p> <p>それらを経てもなお倫理観を十分に修得できていない学生については、授業担当教員や実習担当教員との情報共有のうえで再教育の機会を持つようにしています。</p>

<b>9 コピーポイントについて</b>
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>● コピーのポイントが少ない。</li> <li>● コピーのポイントを増やして欲しい。</li> </ul>
回答：情報課
<p>コピー枚数について、1人当たり500ポイント（白黒1ポイント、カラー4ポイント使用）付与されています。学生1人あたりのポイント利用状況を確認しても、不足している状態ではないため、申し訳ありませんが、ポイントの追加は考えておりません。</p> <p>印刷ポイントがなくなった場合は、図書館2階または福利棟1階のコピー機をご利用いただけたらと思います。図書館2階のコピー機でしたら、USBメモリからのプリントも可能です。なお、USBメモリの使用を原則禁止しておりますが、暗号化可能なUSBメモリを情報課で貸し出すことも可能なので、必要に応じてご活用ください。</p>

<b>10 相談体制について</b>
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生に対しての個別の面談などが行われていない。健康診断でメンタル面のものが行われていない。</li> </ul>
回答：学務課
<p>現在 CBT 成績が概ね6段階評価のうち評価3以下に位置する学生をスロースターターに区分し、アドバイザーを担当する教員を配置し面談を実施しています。また、医学科第6学年に対しては全員と面談を実施しています。</p>

入学時には保健管理センターの医師・看護師による個別面談を実施しています。また、臨床心理士によるカウンセリングは、毎週金曜日の午後実施しています。ホームページやメールでの案内も行っていますので、ご確認をお願いします。どこに相談すればいいのかわからない場合は、何でも相談室 (hqsoudan@belle.shiga-med.ac.jp) へご連絡ください。

## 11 奨学金・経済的支援について

### 学生からの意見

- 奨学金の学内選抜制度が不明瞭に感じる人が多いです。
- 給付型奨学金の少なさや、高等教育の就学支援新制度の対象外者に対する支援がないため。
- 昨年、私が自分で調べて大学を通じて出す準備をしていた奨学金があったのですが、締め切り直前で学内公募の発表がありました。学内公募のずいぶん前に学生課の方に提出書類のご準備などをしていただいております。こういった経緯で学内公募があったのかは分かりませんが、このような対応をされたのは少し残念でした。今年度はこのような不明瞭なことがないことをお願いしたいです。
- 病院実習や課外活動への金銭的支援がもっと欲しい。

### 回答：学務課

各奨学金の推薦においては、募集要項に基づき、学生生活支援部門会議で審議し、選考を行っています。成績や経済状況等は数値化して厳正に選考を行っていることをご理解ください。

高等教育修学支援新制度の実施以後、財源の状況により、本学独自の授業料免除は、原則、大学院生を対象としています。学部学生の皆さんには、民間の奨学金を案内しつつ、応募申請書類のサポート等を行っています。

奨学金については、各団体等からの大学への連絡をもって学内の公募を行っています。事前に準備していただいた場合も、学内選考の対象となることご理解願います。課外活動への金銭的支援は、大学予算及び後援会から行っています。予算配分上、増額は困難な状況です。

実習に係る交通費については、大学全体の予算の関係もあり、基本的には受益者負担の原則により、自己負担とさせていただいています。一部は後援会からの支援を受けて交通費の補助を実現していますが、すべての実習において支援をいただくことが難しくなっています。なお、実習に際して交通費等が必要になることは、入学の段階で事前にお伝えするようにはさせていただいております。ご理解いただけますと幸いです。

## 12 課外活動施設について

### 学生からの意見

- 課外活動に関連する共用施設などについては、老朽化しており危険なところも一部あるように感じます。
- グラウンドの整備、グラウンドのトイレの整備をしてほしい。
- グラウンドの除草の検討をお願いします。音楽棟にトイレの設置をお願いします。
- トレーニング設備、シャワーがない。
- トレーニングルームの改修をお願いしたいです。器具が老朽化して、怪我のリスクが高くなっています。また、トレーニングルームを、3倍の広さをお願いします。トレーニングルームで生まれる上下の学年の関係はとても深いです。そして、西医体の優勝を叶えるためによりしくお願いいたします。
- 設備が汚い。テニスコートを全て修繕して欲しい。怪我人が出る。
- ゴルフ部の練習場をつくってほしい。
- 体育館にエアコンをつけて欲しい。

回答：学務課

課外活動施設全般の老朽化については把握しており、マスタープランを作成し長期的な改修計画は立てていますが、財源不足により計画どおりに進んでいないのが現状です。引き続き、マスタープランに基づき、改修ができるよう努力していきますのでご理解願います。

ゴルフ部の練習場やトレーニングルームの拡張、音楽棟のトイレの設置等は、財源及び場所の確保の観点から、非常に難しいかと思えます。音楽棟のトイレについては、学生ラウンジ横トイレを利用願います。

トレーニングルームの器具については、予算の状況を見ながら、順次、更新できればと考えています。

グラウンドのトイレについては定期的に清掃を行っています。シャワーについても、特別清掃等を行っていますので、利用者による整理整頓等にご協力をお願いします。また、今後、状況を見ながらマスタープランへにおける改修も検討していきます。

体育館のエアコンについては、現在、設置の予定はありませんのでご了承ください。

### 13 就職支援について

学生からの意見

#### 【看護学科】

- 就職活動に対する支援があまり無い。
- 就職支援が少ない(キャリアセンターのようなものがないのでどこに相談したらよいかわからない)。日程を通知するのが遅い(就活講座などスクールカレンダーに載っていないイベントはもっと早く教えてほしい。

回答：学務課

看護学科棟4階に就職コーナーを設け、就職や国試に関する情報を閲覧していただけるようにしています。また、インターンシップの案内等も行っています。個別の相談や要望等に関しては、学生支援係にご相談ください。

令和6年度から、就活講座の日程もスクールカレンダーに掲載しています。ご確認ください。

#### 14 学生への対応について

##### 学生からの意見

- 少し対応の遅い時がある。
- 連絡が遅いと感じる時がある。
- 学生課の職員の対応が悪いことがある。
- 職員と接していて、学生相手だから適当なのでは？と思う時がある。
- 学生課の連絡を迅速にしていきたい。具体例雪で休みになる日とか。

##### 回答：学務課

学生の皆様からのご意見を学生課内で共有し、職員同士の連携、困り事を相談しやすい風通しの良い窓口対応、適切かつ出来る限り迅速な返答が行なえるよう、改善に努めます。

#### 15 学生からの意見の収集について

##### 学生からの意見

- 今回のような、大学に対する提案、要望を伝える機会を、年1回の調査においてだけでなく、通年で設けることで、より学生の考えを知ることにつながると思います。
- 設問が多すぎる。もっとシンプルなアンケートにしてほしい。

##### 回答：学務課

大学に対する提案、要望等がありましたら、窓口またはメール等で学務課までお伝えいただければと思います。また、本調査の設問数に関しましては、設問の見直しを今後検討していきます。

<b>16 看護学科棟について</b>
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 看護棟を綺麗にしてほしいです。</li> <li>● 看護棟が暗い。</li> <li>● 看護棟 1 階の設備が古い。</li> </ul>
回答：施設課
<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>2026 年、2027 年に国に対して看護学科校舎の改修工事の予算要求をする予定です（キャンパスマスタープラン 2022）。改修工事費の予算採択された場合は、頂いた意見を基に改修工事をいたします。</p>

<b>17 附属図書館について</b>
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 図書館の本をもっと充実させて欲しいです。</li> <li>● 図書館の自習スペースが少ない。</li> </ul>
回答：情報課
<p>図書館では、シラバス掲載資料、先生方からの推薦図書、学生のみなさんからのリクエストに基づいて、学習効果やご要望を考慮し、予算の範囲内で図書を購入しています。必要な本がありましたら、図書館カウンターでご相談ください。リクエストは Web（マイブラリ）でも受け付けています。また、図書館に置く本を自分で選べる選書ツアー（今年度は「ソコ選書」）も定期的を実施していますので、ぜひご参加ください。</p> <p>図書館の自習スペースは、テスト期間は混みあうことも多く、ご不便をおかけしております。放置荷物の撤去などにつとめていますが、目の届かないこともあるかと思えます。4 人掛けの机を 2 人で使用されているところなどにも声をかけていきますので、席が見つからない場合はカウンターまでお知らせください。コロナ以降、図書館では現在も感染対策として座席間のスペースを広めに配置しています。館内のスペースの活用・配分については、物理的な限界があることから自習スペースをすぐに拡張することは困難ですが、座席数を増やすことも含め、よりよいスペース配分について引き続き検討してまいります。</p>

<b>18 福利棟食堂、購買について</b>
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生協の食堂のメニューが少ない。購買で売っている食べ物が少ない。</li> <li>● 購買をもっと充実させてほしい。</li> <li>● 生協食堂がひどすぎます。いつまで人手不足を言い訳にしているのか、理解に苦しみます。適切な食堂運営ができていなくとも学生相手だから別に構わないと考えているのではないかと感じます。あまりに酷く、昼食を食べない習慣ができました。</li> <li>● 食堂の夜間実施をお願いしたいです。</li> </ul>
回答：生活協同組合
<p>食堂については 10 月からのホールリニューアルに伴う営業再開を機に、時給改定を前倒ししたことで昼営業のスタッフ採用が進んだことから、再スタートと位置づけメニュー提供・展開していきます。夕食は夕食時間帯だけで切り取ると採算は厳しかったのが実態です。どこかで再開させたいという目標は持っていますが、昼時間帯での営業が体制的にも経営的にも安定し、採算が厳しい部門も支えられる状況にまずは持つていくことが優先ですので、すぐに実施という見通し回答はできません。</p> <p>購買の食べ物の発注は学事日程を見ながら行っていますが、ちょっとしたことで登校や来店が左右され日によっては売り切らすこともあります。この点は引き続き学内の情報収集と過去の実績データの蓄積から、精度をあげていけるよう努力していきます。また「購買の充実」はどのような分野をご要望でしょうか。学び方の変化で必要とされるモノも変化していきます。学内の皆さんにとって不要な売れない商品在庫を抱えることは意味がありません。生協スタッフもアンテナを張り続けますが、学内の方の店舗ですので具体的な要望もお寄せいただければありがたいです。</p>

<b>19 交通手段について</b>
学生からの意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 瀬田駅からの交通手段を増やしてほしいです。帝産バスは昼間の本数が少なすぎるし朝は混み合いすぎて乗れずに遅刻する時すらあります。</li> <li>● 滋賀医科大学・龍谷大学・東大津高校の学生が多すぎて、朝の登校時間帯に瀬田駅前が人で溢れてしまう。公道を塞いでいる状態で車道にも人の列が出来ていて危ない。また、バスがいっぱいで人が乗り込みきれないことが、登校時・下校時共にある。学生以外の地域住民の方にも負担がかかっていると思う。</li> </ul> <p>各学校、バス会社、自治体、駅前の状況に関しては JR とも相談して良い解決策を見つけて欲しい。</p>
回答：総務企画課

<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>バスの増便等については、これまでもバス会社に要望しているところですが、今後も引き続き要望していく予定です。</p> <p>一方で、民間企業でもあるため、バスの利用者数等により一定の経営判断が行われることはご理解ください。</p>
---

<b>20 駐車場について</b>
<p>学生からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生用の駐車場が欲しい。</li> <li>● 西門前のY字路で詰まってしまい、大渋滞を引き起こしているのなんとかして欲しい。</li> </ul>
<p>回答：施設課</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>大学全体の駐車場が足りていません。学務課と必要性・規模・ルールなどをご議論いただければ、その内容を今後大学全体の駐車場整備を見直す中で参考とさせていただきます。</p> <p>Y字路の渋滞緩和対策として、西門に左折退場を促す看板を設置いたしました。また渋滞緩和対策の一環で、瀬田月輪交差点の青信号の点灯時間に関して所管警察署と協議をしております。引き続き対策を検討いたします。</p>

<b>21 工事期間等について</b>
<p>学生からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中庭・食堂の修繕工事ももう少し早く行なって欲しかった。</li> <li>● 学生が共同で使える場所等、例えば今回の食堂の改修工事などは、期間をよく考えて行って欲しい。</li> <li>● 今後食堂が使えないことに対する対策はもっと良くしてほしいです。</li> </ul>
<p>回答：施設課</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>滋賀医科大学生活協同組合と協力し、食堂厨房内で調理したお弁当の販売を実施させていただくことで、学生食堂と同じ質の食事を提供させていただきましたが、不十分であったようで、心よりお詫び申し上げます。また、工事の規模から、授業がある日と工事期間が重なり、ご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。</p> <p>なお、リニューアルされた学生食堂は、学生や学外の方などの意見を反映したことで洗練された空間となっていますので、今後の学生生活におかれましては、様々な機会をご利用いただければ幸いです。</p> <p>また、ご卒業されてからも本学に立ち寄っていただけるように同窓会スペースも設けておりますので、ぜひ、ご卒業後もリニューアルされた学生食堂や同窓会スペースにて</p>

在学生と交流いただくなど、末永く本学とのつながりを持っていただけることを願っています。

---

2024 年度 滋賀医科大学  
学修・学生生活実態調査報告書

発行年月：2024 年 12 月

編集発行：滋賀医科大学 医学・看護学教育センター  
〒520-2192 大津市瀬田月輪町

Tel 077-548-3597 (学務課)

